

令和元年度

授業改善のための学生アンケート報告書

－ 全体集計 －

第 I 部

令和2年3月

拓殖大学 FD委員会

はじめに

予測困難な時代の到来と言われる中、大学教育の責務として学士課程教育の質の保証が強く求められるようになり、教員の授業に対しては学生の興味を引き出すこと、生涯学ぶ習慣や主体的に考える力の育成、どんな状況にも対応できる力を育成することなどが包括的に求められています。

本学では「拓殖大学FD委員会」により、「教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること」を目的に「授業改善のための学生アンケート」を実施してきました。学生アンケートは教育課程の質的転換の始点であり、本学ではアンケート集計結果にもとづく分析、学生の意見や教員による授業の振り返りを通じて、教育方法の改善や学修支援環境の充実などにつなげ、学修成果の把握、学生の主体的な学びを促す効果的学修の推進、国際化・情報化などに積極的に取り組んでおります。

本報告書は、令和元年度に実施した「授業改善のための学生アンケート」を基に「全体集計」（第Ⅰ部）と「科目別集計」（第Ⅱ部）の2部構成にまとめました。

第Ⅰ部では、「全体集計」と「コース・分野・学科別集計」により、大学全体から各学部・学科まできめ細かな分析を試み、各学部における評価及び課題を明確にしております。本学ホームページにて学内外に公表いたします。

第Ⅱ部では「科目別集計（個表）」の形で授業評価に参加した全教員のデータとともに、学生の主な意見、ならびにこれに対する担当教員の所見を掲載し、学内イントラネット上で公表いたします。

本報告書を活用し、教員各位が今回のデータを過去のデータと比較検討し、他の教員や他学部の状況も参考にしながら、今後の改善に役立てて下さるようお願いいたします。

大学全体としては、教育の質の向上を図るための教学マネジメントの一環として、各学部における取組に対して適切な支援などを行っていきます。

令和2年3月

拓殖大学 学長

川 名 明 夫

目 次

はじめに

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針	3
2. 実施状況	3
3. 集計結果の概要	3
4. 今後の課題	4

II 実施状況

1. 実施期間	7
2. 実施教員数	7
3. 実施科目数	8
4. アンケート回答数（延べ人数）	8
5. 学科目別実施科目数	8

III 全体集計

1. 学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差値	11
2. 教員所属別（講義等科目）平均値・標準偏差値	
(1) 専任教員所属別	12
(2) 講師(非常勤)所属別	13
3. 履修登録者数別比較表	14
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）	
(1) 学科目別平均値	
①商学部専門科目	15
②政経学部専門科目	16
③外国語学部専門科目	17
④工学部専門科目（講義等科目、実験・実習科目別）	18
⑤国際学部専門科目	20
⑥教養教育科目	21
⑦外国語科目	22
⑧スポーツ・トレーニング科目	23
⑨教職・社教・日語科目	24
⑩ゼミ・外書講読科目	25
⑪全体（講義等科目）	26
(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義等科目）	
①学年別	27
②学科別	28
(3) 満足度平均値	
①学科目別	30

②所属別	-----	31
③身分別	-----	32
④年齢別	-----	33
5. 学科目別 回答の分析	-----	34
6. 学部設問項目 平均値・標準偏差	-----	38
7. 政経学部 学部別設問項目 教員別回答別表・グラフ	-----	39

IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目 (コース別)	-----	43
2. 政経学部専門科目 (分野別)	-----	44
3. 外国語学部専門科目 (学科別)	-----	45
4. 工学部専門科目		
(1) 実験・実習科目 (学科別)	-----	46
(2) 学科・学科目別 (講義等科目)	-----	47
5. 国際学部科目		
(1) 英語群	-----	48
(2) 地域言語群	-----	49
(3) 基礎科目群	-----	50
(4) 専門共通科目	-----	51
(5) 専門コース科目	-----	52
6. 教養教育等科目		
(1) 講義等科目 (群別)	-----	53
(2) 外国語科目 (1 2 カ国語)	-----	54
(3) スポーツ・トレーニング科目	-----	55
(4) 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	-----	56

V 評価及び課題

1. 商学部	-----	59
2. 政経学部	-----	64
3. 外国語学部	-----	71
4. 工学部	-----	78
5. 国際学部	-----	87
6. 教養教育 (教養教育科目)	-----	95
(外国語科目)	-----	100
(スポーツ・トレーニング科目)	-----	106
7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目	-----	116

参考資料

実施要領	-----	127
アンケート様式	-----	129

I 学生アンケートの実施について

1. 経緯と実施方針

拓殖大学における教育内容と方法の改善を目的とした組織的な取り組みは、1992年（平成4年）の拓殖大学自己点検評価委員会の設置から始まり、各学部到自己点検評価委員会が設置され、検証と評価を繰り返しながら教育の改革・改善に取り組んできました。2012年（平成24年）4月から拓殖大学FD委員会による取組として現在に至っております。

具体的には、1994年（平成6年）から始まった「学生による授業評価（現・授業改善のための学生アンケート）」の実施、全学的なFDワークショップ及び各学部独自のFDワークショップ開催、教育・研究等業績報告書の作成、新任教員研修会の実施、教員相互の授業参観の実施などです。このうち「授業改善のための学生アンケート」は、これら一連の教育改革の柱となるものであり、次のような特色を持っています。

- (1) 大学（5学部）全体の取り組みとして実施していること。
- (2) 全教員が参加していること。ちなみに、令和元年度は講師（非常勤）を含め100.0%の実施率。
- (3) 授業科目ごとの集計表には、統計処理したデータだけでなく学生からの要望・担当教員の所見及び改善に向けた取り組み方針を記載し、改善に向けて取り組んでいること。
- (4) 集計・分析結果のみならず、授業科目毎の集計及び担当教員による所見を公開し、全教員が参照できるようにしていること。

2. 実施状況

令和元年度「授業改善のための学生アンケート」は、対象となる全教員〔専任教員238名、講師（非常勤）361名〕が実施出来ました。

実施科目数は専任教員で468科目（前年度478科目）、講師（非常勤）で519科目（前年度524科目）、合計987科目（前年度1,002科目）と前年度と比べ15科目減少しましたが、学生からの述べ回答数は34,971人（前年度32,140人）と、前年度を2,831人上回りました。

3. 集計結果の概要

学生アンケートを実施した全授業科目の「満足度」の平均は3.95となり、昨年度と比べ0.06ポイント下がりましたが、その数値は、学部別、学問分野別で大きく異なります。たとえば専任教員の学部別では、外国語学部の4.23が最も高く、国際学部4.21、政経学部3.95、商学部3.91、工学部3.81と続いています。

区別の満足度は、ゼミ・外書講読（4.46）が最も高く、次いで教職・社教・日本語科目（4.25）、以下、国際学部専門科目（4.19）、外国語学部専門科目（4.09）、国際学部

を除く各学部の外国語科目（4.07）、教養・総合教育科目（3.97）、政経学部専門科目（3.91）、商学部専門科目（3.85）、工学部専門科目〔講義科目〕（3.72）と続いています。

こうした評価の差は、学問分野に加え、授業規模や授業方法の違いによっても異なっており、講義科目の履修登録者数別比較表（講義科目）によれば、履修者数100人以下の満足度3.99に対して、200～300人以上が3.90と、0.09ポイント低くなっています。

学生の学年別「満足度」では、高学年になればなるほど高い傾向であり、また教員の身分別では特別非常勤講師（4.19/22人）が最も高く、以下、助教（4.08/10人）、准教授（3.99/58人）、教授（3.95/148人）、講師（非常勤）（3.92/361人）の結果となりました。

教員の年齢別では、最も高い数値は40歳未満（4.11）であり、逆に最も低い数値は60歳代で（3.91）となりました。

「満足度」以外の項目については、今後の課題も含め学部別あるいは学科目別に詳細に分析されているので、本報告書「V評価と課題」をご覧ください。

4. 今後の課題

（1）客観性が担保できる学生アンケートの実施

平成26年度から始めた現行の学生アンケート実施方法、すなわち教員がアンケート用紙の配布と回収にかかわらない方法を引き続き堅持していく。

（2）学生アンケートの実施目的と設問などの見直し及び対象科目の見直し

- ・ 学生アンケートの活用方法、実施目的及び設問の見直し
- ・ 従前、対象外としていた授業科目の見直し（SPIなどの委託授業科目など）
- ・ 全学部の全授業科目のアンケート実施に向けた計画の策定

少子高齢化と文部科学省による定員管理の厳格化から、大学を取り巻く環境が厳しくなっている折り、本学においても持続可能な社会の担い手を育むため、教育の質と学生満足度の向上に向けた取り組みを一層追求する必要があります。

国際的な視野を持ち、タフな人間力を身につけた『拓殖人材』を育むためには、学修者本位の教育の質の向上は当然の責務であり、本委員会では『授業改善のための学生アンケート』を大学教学マネジメントの柱の一つと位置づけ、積極的に学士教育課程の編成・実施に係る組織的な取り組みを行っていくことといたします。

令和2年3月

拓殖大学FD委員会
委員長 鈴木 昭一

Ⅱ 実施状況

1. 実施期間

令和元年6月17日（月）～7月12日（金）

予備日：7月15日（月）～19日（金）

2. 実施教員数

1) 専任教員

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
商 学 部	46	46	0	100.0%
政 経 学 部	54	54	0	100.0%
外国語学部	42	42	0	100.0%
工 学 部	49	49	0	100.0%
国 際 学 部	36	36	0	100.0%
兼 担	11	11	0	100.0%
合 計	238	238	0	100.0%

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

2) 講師（非常勤）

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
商 学 部	112	112	0	100.0%
政 経 学 部	108	108	0	100.0%
外国語学部	43	43	0	100.0%
工 学 部	47	47	0	100.0%
国 際 学 部	45	45	0	100.0%
兼 担	6	6	0	100.0%
合 計	361	361	0	100.0%

（注）講師（非常勤）：客員教授を含む

3) 全体

所 属	実施対象教員数	実 施 者 数	未 実 施 者 数	実施率（％）
専 任 教 員	238	238	0	100.0%
講 師（非常勤）	361	361	0	100.0%
合 計	599	599	0	100.0%

3. 実施科目数

所 属	専任教員	非常勤講師	合 計
商 学 部	91	168	259
政 経 学 部	115	146	261
外 国 語 学 部	76	68	144
工 学 部	95	63	158
国 際 学 部	74	66	140
兼 担	17	8	25
合 計	468	519	987

4. アンケート回答数（延べ人数）

回答者の所属	1 年	2 年	3 年	4 年	無回答	合 計
商 学 部	3,333	2,704	2,532	1,255	17	9,841
政 経 学 部	2,980	2,593	3,117	1,118	31	9,839
外 国 語 学 部	992	889	552	147	39	2,619
工 学 部	2,070	1,941	1,539	174	92	5,816
国 際 学 部	1,776	1,392	668	280	61	4,177
無 回 答	70	95	102	34	2,378	2,679
合 計	11,221	9,614	8,510	3,008	2,618	34,971

(注) 「無回答」は、「所属学科」「学年」についての未記入を示す

5. 学科目別実施科目数

所 属	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼 担	合 計
商学部 専門科目	127	2					129
政経学部 専門科目	4	124	1		1	6	136
外国語学部 専門科目			96				96
工学部 講義				87			87
工学部 実験実習				28			28
国際学部 専門科目	2	1			51	4	58
教養科目・総合教育科目	23	37	12	8	18	4	102
外国語科目	90	77	24	24	59	11	285
スポーツ・トレーニング科目	2	4		7			13
教職・社教・日語科目	5	9	5	4	6		29
ゼミ・外書講読	6	7	6		5		24
その他							0
合 計	259	261	144	158	140	25	987

(注) 教養科目・総合教育科目：国際学部基礎科目を含む

外国語科目：英語、第2外国語、選択外国語、地域言語、留学生用の日本語

Ⅲ 全体集計

1. 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

設問項目	区分	商学部 専門科目	政経学 部専門 科目	外国語 学部 専門科 目	工学部 専門科 目（講 義）	国際学 部専門 科目	教養科 目・総 合教育 科目	外国語 科目	教職・ 社教・ 日語科 目	ゼミ・ 外書講 読	キャリ ア科目	全体
		科目数： (129)	科目数： (136)	科目数： (96)	科目数： (87)	科目数： (58)	科目数： (102)	科目数： (285)	科目数： (29)	科目数： (24)	科目数： (0)	科目数： (946)
I-1	平均値	4.62	4.59	4.69	4.68	4.57	4.64	4.73	4.68	4.76		4.64
	標準偏差	0.70	0.72	0.63	0.61	0.70	0.70	0.58	0.61	0.52		0.67
I-2	平均値	4.07	4.04	3.98	3.74	3.91	3.81	4.14	4.14	3.93		3.98
	標準偏差	1.12	1.13	1.09	1.20	1.19	1.26	1.04	1.04	1.20		1.15
I-3	平均値	1.75	1.72	2.01	1.94	1.83	1.60	1.96	1.68	2.26		1.80
	標準偏差	1.08	1.06	1.09	1.09	1.18	1.05	1.04	0.94	1.34		1.08
I-5	平均値	1.60	1.48	1.55	1.74	1.66	1.51	1.59	1.47	2.10		1.58
	標準偏差	1.11	1.01	1.05	1.13	1.18	1.05	1.09	0.98	1.31		1.09
II-1	平均値	3.93	4.02	4.10	3.89	4.19	3.96	4.10	4.29	4.40		4.01
	標準偏差	1.03	0.99	0.99	0.98	0.97	1.06	0.96	0.91	0.83		1.00
II-3	平均値	4.01	4.08	4.21	4.01	4.23	4.07	4.15	4.41	4.31		4.09
	標準偏差	0.91	0.90	0.89	0.88	0.91	0.93	0.89	0.78	0.85		0.91
II-5	平均値	3.97	3.99	4.19	3.93	4.19	4.03	4.13	4.32	4.41		4.04
	標準偏差	1.05	1.07	0.97	1.04	0.96	1.06	1.00	0.95	0.84		1.04
II-6	平均値	3.94	4.01	4.12	3.88	4.25	4.00	4.09	4.30	4.37		4.03
	標準偏差	1.03	1.01	0.98	1.00	0.94	1.05	0.98	0.93	0.84		1.01
II-7	平均値	3.95	4.08	4.21	3.90	4.26	4.00	4.26	4.52	4.53		4.08
	標準偏差	1.02	0.99	0.90	0.96	0.92	1.01	0.88	0.73	0.77		0.98
II-8	平均値	3.71	3.77	4.06	3.83	3.81	3.68	4.02	4.11	4.18		3.82
	標準偏差	1.05	1.04	0.98	0.99	1.11	1.11	0.96	1.01	0.96		1.05
II-9	平均値	3.68	3.69	3.99	3.51	4.06	3.74	3.96	4.00	4.30		3.77
	標準偏差	1.03	1.00	0.97	1.04	0.97	1.06	0.97	0.97	0.84		1.02
II-10	平均値	3.69	3.76	3.89	3.50	4.13	3.83	3.78	4.16	4.37		3.78
	標準偏差	1.04	1.01	1.04	1.05	0.96	1.05	1.04	0.92	0.87		1.04
III	平均値	3.85	3.91	4.09	3.72	4.19	3.97	4.07	4.25	4.46		3.95
	標準偏差	1.02	1.00	0.99	1.01	0.96	1.01	0.98	0.90	0.84		1.01

○回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.51	3.53	3.42	3.58	3.33	3.39	3.40	3.37	3.33		3.46
	標準偏差	0.75	0.74	0.75	0.77	0.72	0.74	0.79	0.64	0.67		0.75
II-4	平均値	3.31	3.29	3.24	3.33	3.20	3.20	3.22	3.14	3.17		3.26
	標準偏差	0.66	0.66	0.64	0.66	0.61	0.60	0.65	0.52	0.52		0.64

(注) I-4は、複数回答項目のため、「5. 回答の分布」を参照

2. 教員所属別（講義等科目）

（1）専任教員所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	専任教員全体	講師全体	全体
		科目数： (91)	科目数： (115)	科目数： (76)	科目数： (67)	科目数： (74)	科目数： (17)	科目数： (440)	科目数： (506)	科目数： (946)
I-1	平均値	4.66	4.59	4.74	4.68	4.64	4.59	4.64	4.65	4.64
	標準偏差	0.66	0.73	0.57	0.61	0.67	0.70	0.67	0.67	0.67
I-2	平均値	4.15	4.13	4.08	3.87	3.97	3.91	4.06	3.87	3.98
	標準偏差	1.06	1.07	1.07	1.15	1.16	1.16	1.10	1.20	1.15
I-3	平均値	1.77	1.73	2.14	1.97	1.93	1.66	1.83	1.75	1.80
	標準偏差	1.09	1.07	1.15	1.09	1.20	1.07	1.11	1.05	1.08
I-5	平均値	1.59	1.51	1.66	1.77	1.76	1.49	1.61	1.53	1.58
	標準偏差	1.09	1.03	1.15	1.16	1.24	1.02	1.11	1.05	1.09
II-1	平均値	3.98	4.04	4.24	3.97	4.23	4.17	4.06	3.95	4.01
	標準偏差	1.02	0.99	0.93	0.93	0.95	0.95	0.98	1.03	1.00
II-3	平均値	4.05	4.08	4.31	4.05	4.27	4.23	4.12	4.06	4.09
	標準偏差	0.90	0.91	0.86	0.86	0.89	0.84	0.90	0.92	0.91
II-5	平均値	4.03	4.01	4.27	4.05	4.22	4.22	4.08	3.99	4.04
	標準偏差	1.02	1.07	0.92	0.96	0.96	0.93	1.01	1.07	1.04
II-6	平均値	4.00	4.04	4.25	3.97	4.30	4.14	4.08	3.96	4.03
	標準偏差	1.00	1.01	0.90	0.96	0.91	0.95	0.98	1.04	1.01
II-7	平均値	4.01	4.08	4.31	4.02	4.31	4.15	4.10	4.06	4.08
	標準偏差	1.00	1.01	0.84	0.90	0.90	0.97	0.97	0.98	0.98
II-8	平均値	3.75	3.79	4.14	3.91	3.87	3.75	3.83	3.80	3.82
	標準偏差	1.04	1.04	0.96	0.94	1.10	1.07	1.03	1.06	1.05
II-9	平均値	3.71	3.74	4.12	3.59	4.10	3.96	3.80	3.74	3.77
	標準偏差	1.03	0.99	0.91	1.01	0.98	0.91	1.01	1.04	1.02
II-10	平均値	3.75	3.80	4.03	3.55	4.15	4.04	3.83	3.71	3.78
	標準偏差	1.03	1.00	0.99	1.02	0.96	0.93	1.02	1.06	1.04
III	平均値	3.91	3.95	4.23	3.81	4.21	4.21	3.99	3.91	3.95
	標準偏差	1.01	0.99	0.92	0.96	0.96	0.88	0.99	1.03	1.01

○回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.50	3.49	3.39	3.56	3.34	3.31	3.47	3.46	3.46
	標準偏差	0.74	0.74	0.73	0.75	0.73	0.70	0.74	0.77	0.75
II-4	平均値	3.30	3.28	3.24	3.32	3.20	3.21	3.27	3.24	3.26
	標準偏差	0.65	0.65	0.62	0.64	0.61	0.57	0.64	0.65	0.64

（注）専任教員：教授、准教授、助教、特別非常勤講師

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

(2) 講師（非常勤）所属別

設問項目	区分	商学部	政経学部	外国語学部	工学部	国際学部	兼任教員	講師全体	専任教員全体	全体
		科目数: (166)	科目数: (142)	科目数: (68)	科目数: (56)	科目数: (66)	科目数: (8)	科目数: (506)	科目数: (440)	科目数: (946)
I-1	平均値	4.65	4.64	4.64	4.67	4.67	4.59	4.65	4.64	4.64
	標準偏差	0.68	0.68	0.67	0.63	0.63	0.66	0.67	0.67	0.67
I-2	平均値	3.93	3.90	3.93	3.51	4.02	3.79	3.87	4.06	3.98
	標準偏差	1.18	1.21	1.13	1.29	1.15	1.29	1.20	1.10	1.15
I-3	平均値	1.81	1.68	1.65	1.77	1.87	2.03	1.75	1.83	1.80
	標準偏差	1.07	1.02	1.01	1.05	1.05	1.26	1.05	1.11	1.08
I-5	平均値	1.61	1.46	1.41	1.58	1.59	1.99	1.53	1.61	1.58
	標準偏差	1.11	1.00	0.93	1.05	1.12	1.36	1.05	1.11	1.09
II-1	平均値	3.99	3.97	3.98	3.68	4.10	4.03	3.95	4.06	4.01
	標準偏差	1.00	1.02	1.02	1.08	1.01	1.04	1.03	0.98	1.00
II-3	平均値	4.06	4.08	4.08	3.89	4.15	4.16	4.06	4.12	4.09
	標準偏差	0.91	0.91	0.92	0.93	0.93	0.89	0.92	0.90	0.91
II-5	平均値	4.03	4.01	4.06	3.65	4.16	3.99	3.99	4.08	4.04
	標準偏差	1.02	1.07	1.03	1.17	1.01	1.07	1.07	1.01	1.04
II-6	平均値	3.96	3.99	4.02	3.74	4.11	3.95	3.96	4.08	4.03
	標準偏差	1.03	1.04	1.04	1.07	1.02	1.08	1.04	0.98	1.01
II-7	平均値	4.05	4.15	4.05	3.76	4.24	4.00	4.06	4.10	4.08
	標準偏差	0.97	0.95	0.97	1.07	0.92	0.98	0.98	0.97	0.98
II-8	平均値	3.86	3.75	3.86	3.60	3.94	3.78	3.80	3.83	3.82
	標準偏差	1.02	1.07	1.04	1.09	1.06	1.20	1.06	1.03	1.05
II-9	平均値	3.79	3.70	3.83	3.44	4.04	3.78	3.74	3.80	3.77
	標準偏差	1.01	1.04	1.03	1.09	0.97	1.15	1.04	1.01	1.02
II-10	平均値	3.71	3.75	3.76	3.46	3.89	3.81	3.71	3.83	3.78
	標準偏差	1.04	1.04	1.08	1.12	1.06	1.09	1.06	1.02	1.04
III	平均値	3.92	3.93	3.97	3.62	4.15	3.94	3.91	3.99	3.95
	標準偏差	1.00	1.01	1.02	1.10	1.00	1.02	1.03	0.99	1.01

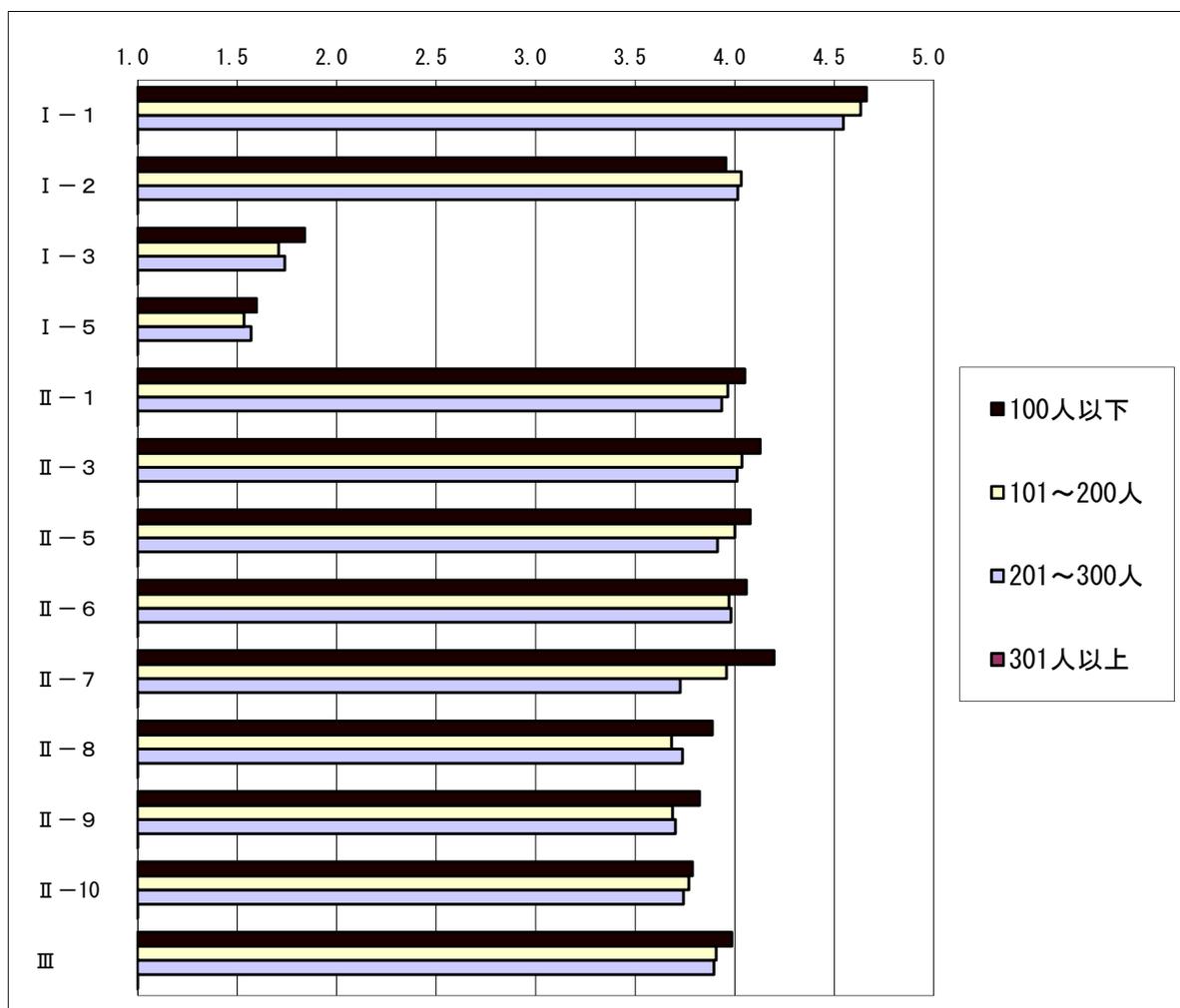
○回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.47	3.49	3.39	3.56	3.26	3.42	3.46	3.47	3.46
	標準偏差	0.77	0.76	0.74	0.82	0.80	0.72	0.77	0.74	0.75
II-4	平均値	3.29	3.23	3.18	3.27	3.15	3.19	3.24	3.27	3.26
	標準偏差	0.67	0.62	0.61	0.68	0.67	0.56	0.65	0.64	0.64

(注) 講師（非常勤）：客員教授を含む

I-4は、複数回答項目のため、「5. 学科目別 回答の分布」を参照

3. 履修登録者数別比較表（講義科目）



(注) I-4受講動機(複数回答)、II-2難易度、II-4進度(回答「3.0」が適切)は回答の基準が異なるため、掲載していない。

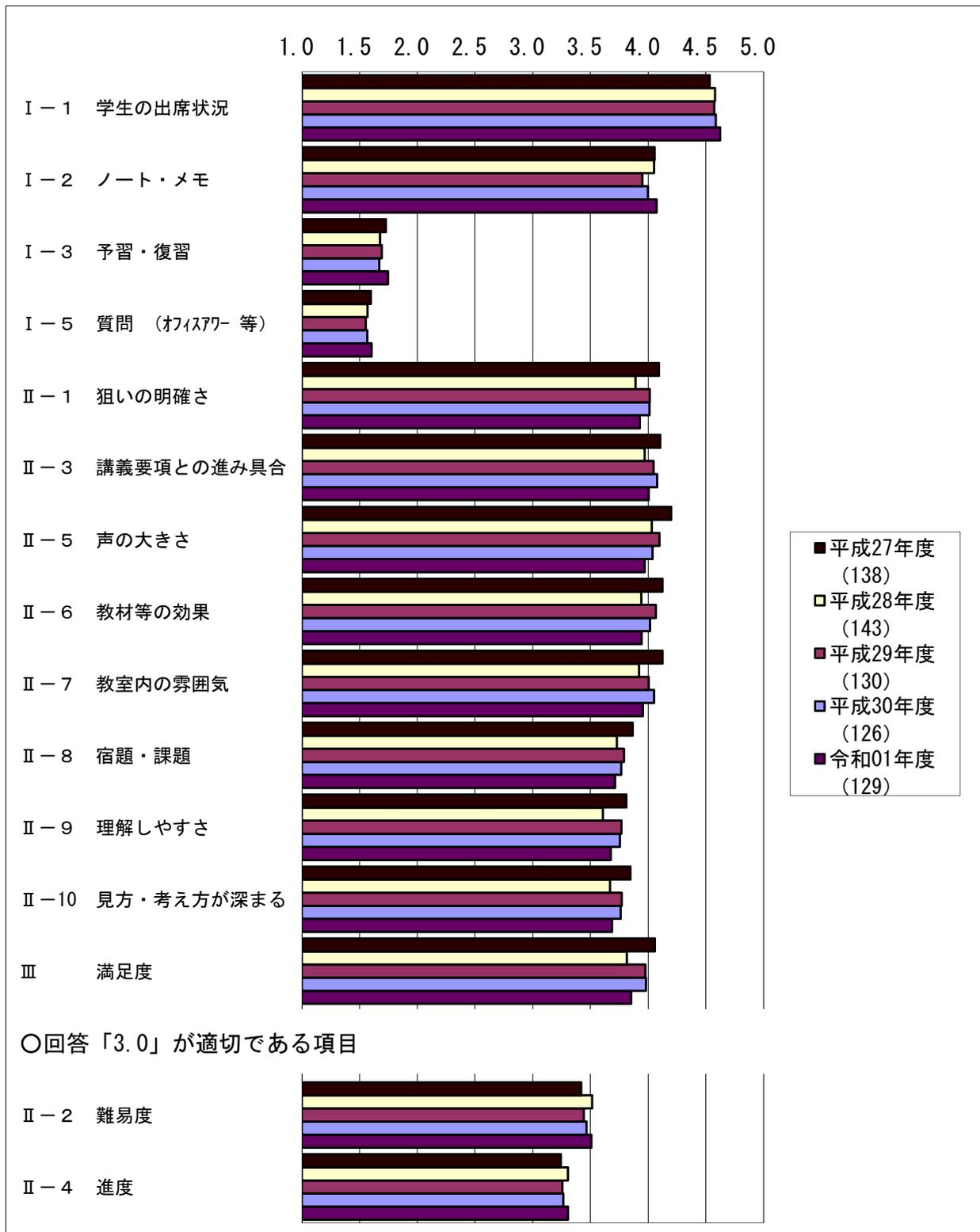
○ 平均値

区分		100人以下	101~200人	201~300人	301人以上
科目数		824	99	23	
I-1	学生の出席状況	4.66	4.63	4.54	
I-2	ノート・メモ	3.95	4.03	4.01	
I-3	予習・復習	1.84	1.71	1.74	
I-5	質問(オフィスアワー等)	1.60	1.53	1.57	
II-1	狙いの明確さ	4.05	3.96	3.93	
II-3	講義要項との進み具合	4.13	4.04	4.01	
II-5	声の大きさ	4.08	4.00	3.91	
II-6	教材等の効果	4.06	3.97	3.98	
II-7	教室内の雰囲気	4.20	3.96	3.73	
II-8	宿題・課題	3.89	3.68	3.74	
II-9	理解しやすさ	3.82	3.69	3.70	
II-10	見方・考え方が深まる	3.79	3.77	3.74	
III	満足度	3.99	3.91	3.90	

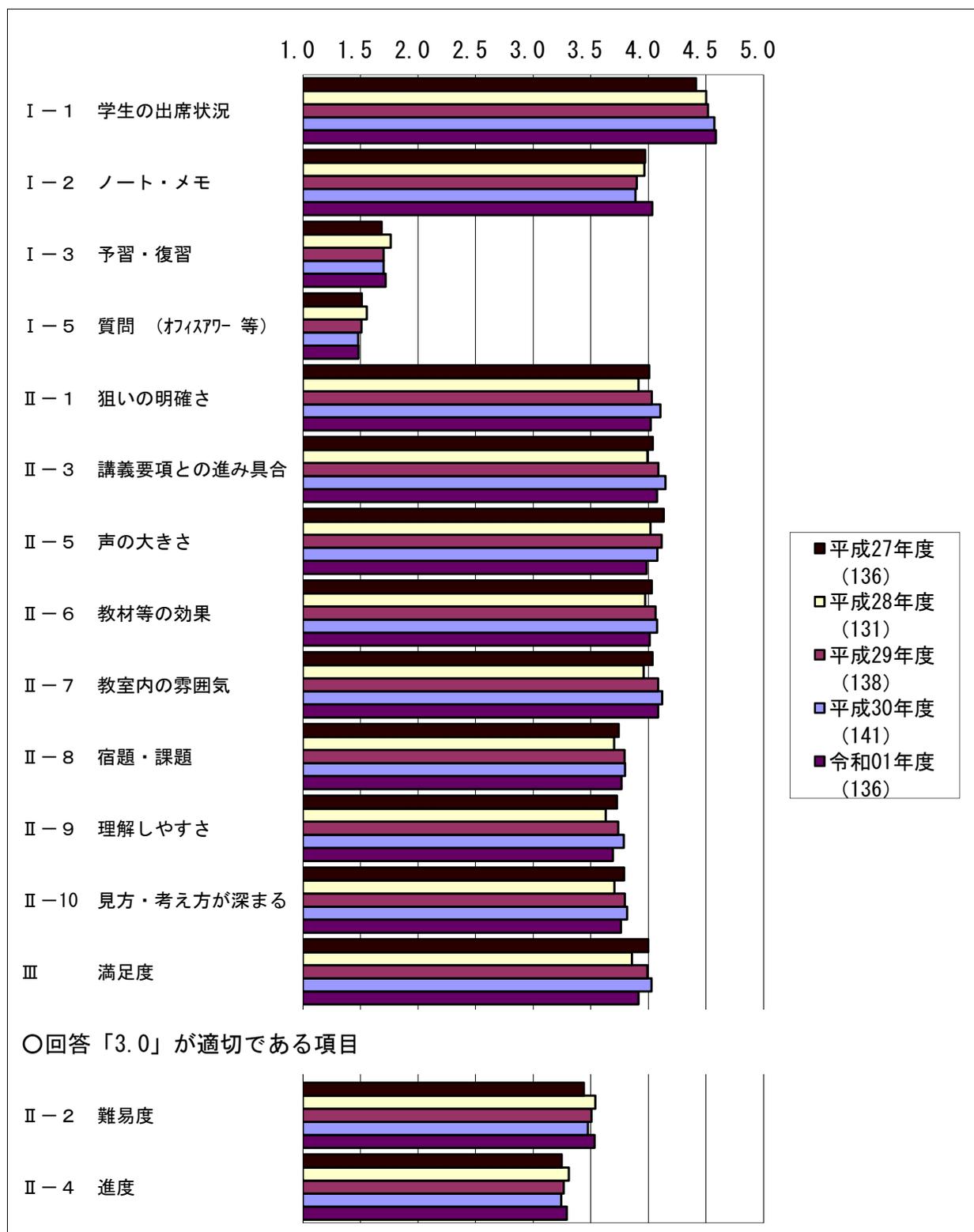
4. 設問項目ごとの集計結果（年度比較）

（1）学科目別平均値

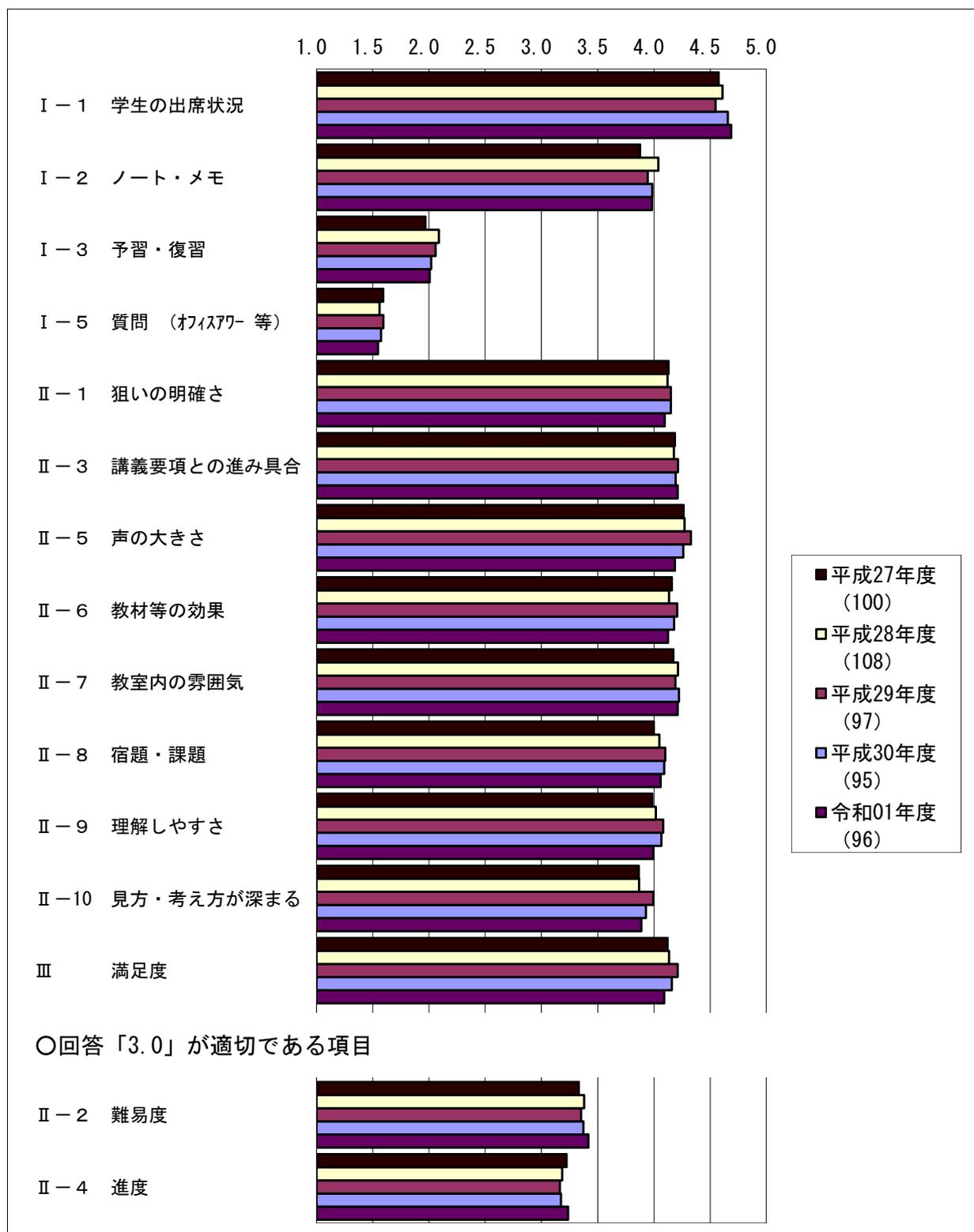
① 商学部専門科目



② 政経学部専門科目

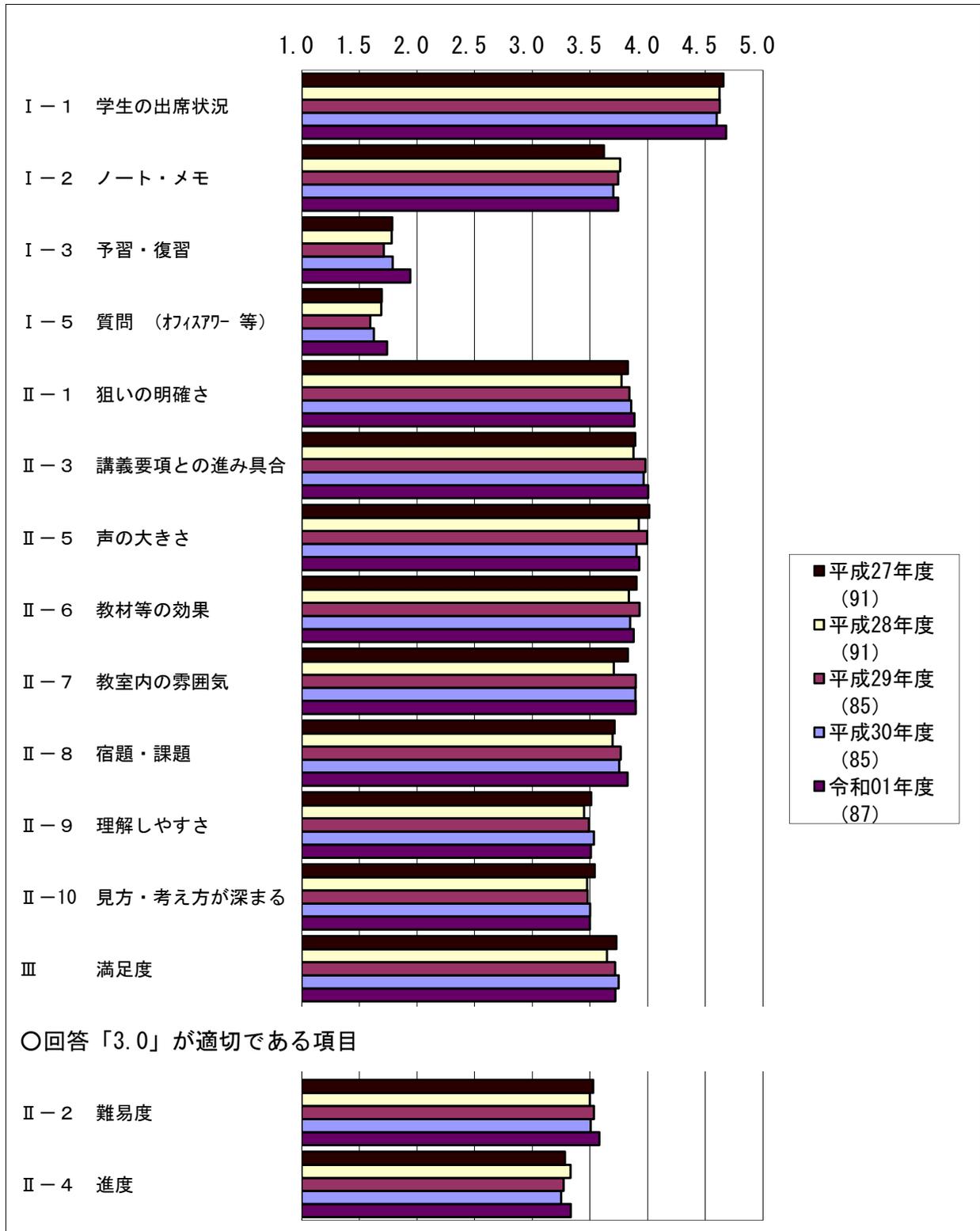


③ 外国語学部専門科目

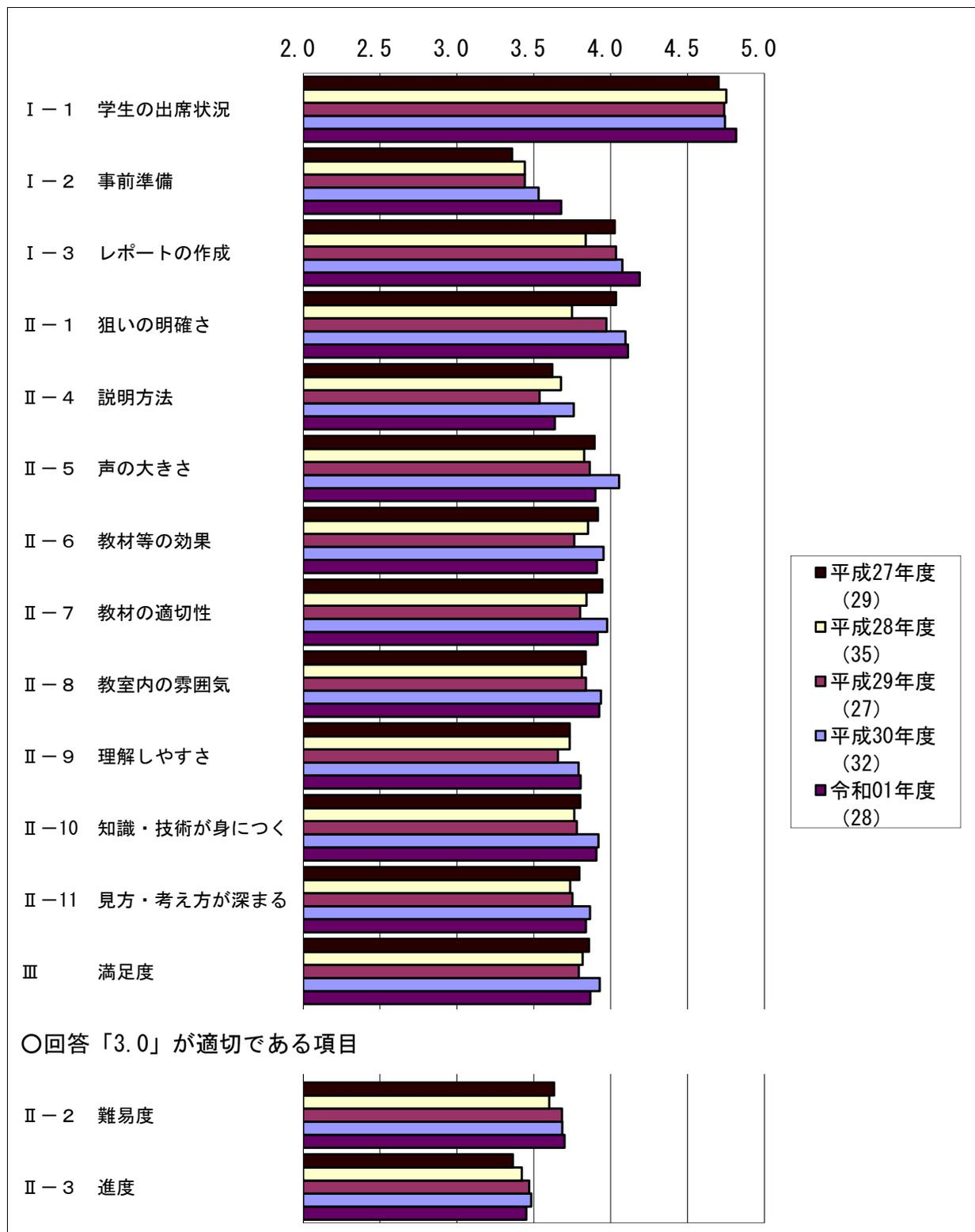


④ 工学部専門科目

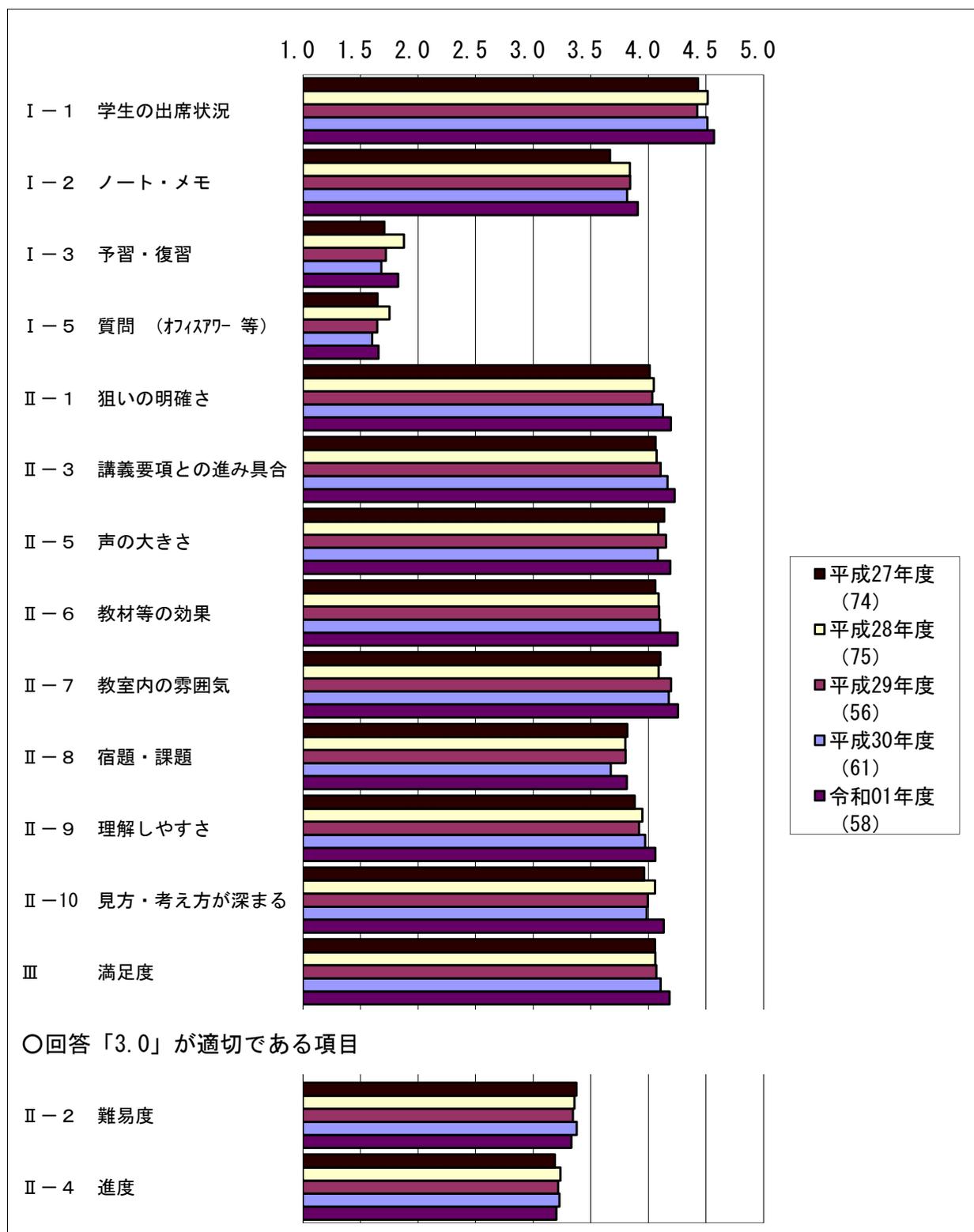
・講義等科目



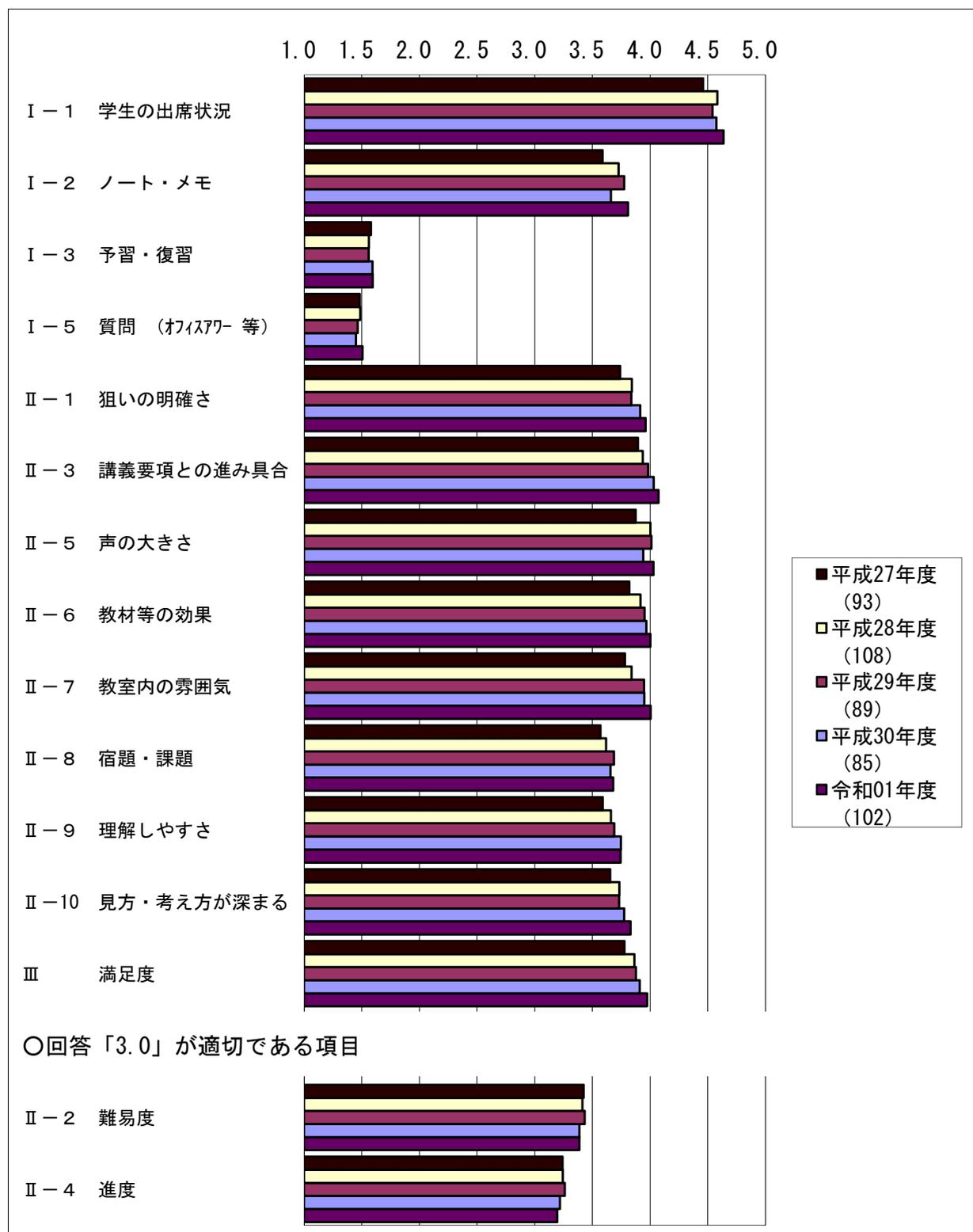
・工学部 実験・実習科目



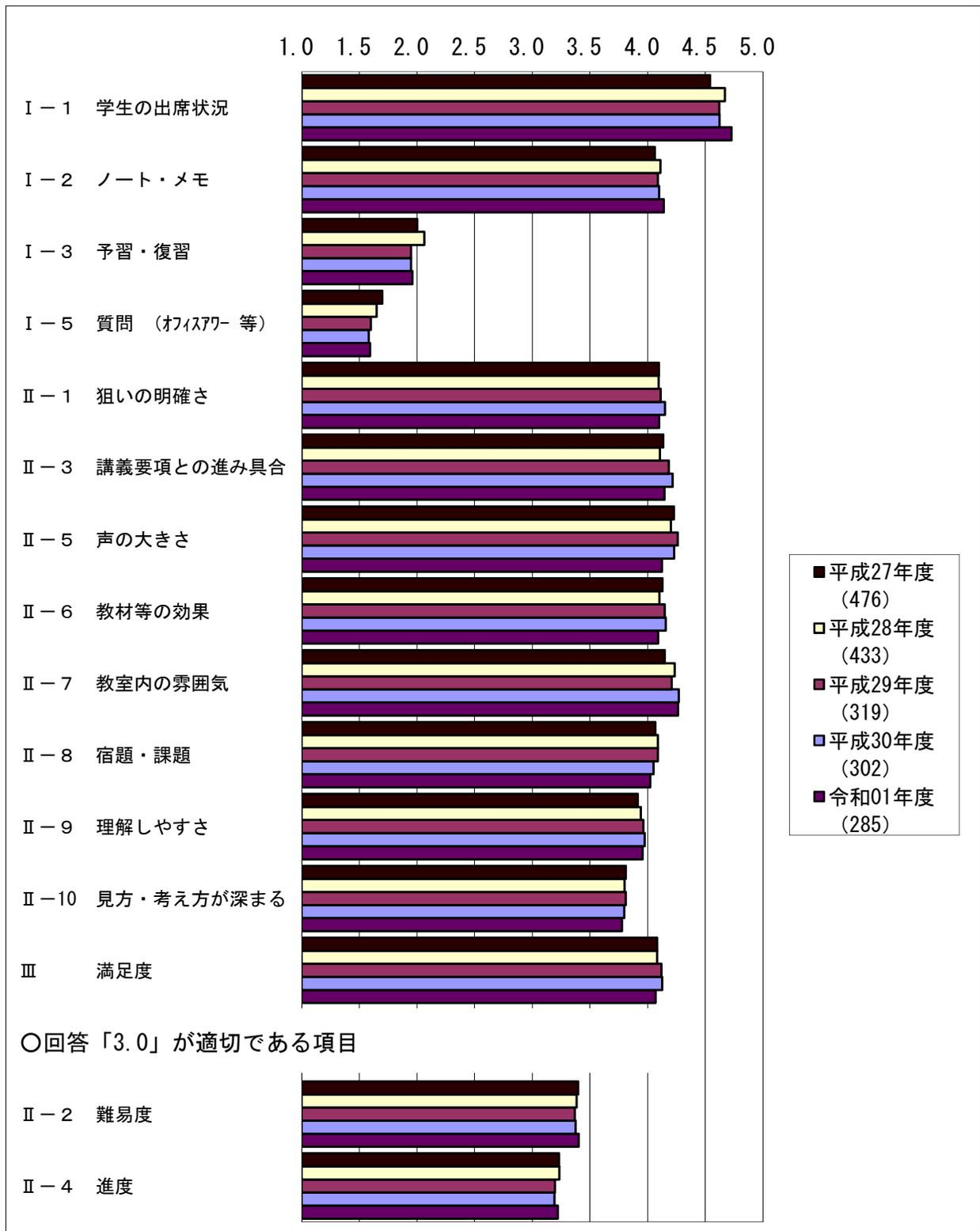
⑤ 国際学部専門科目



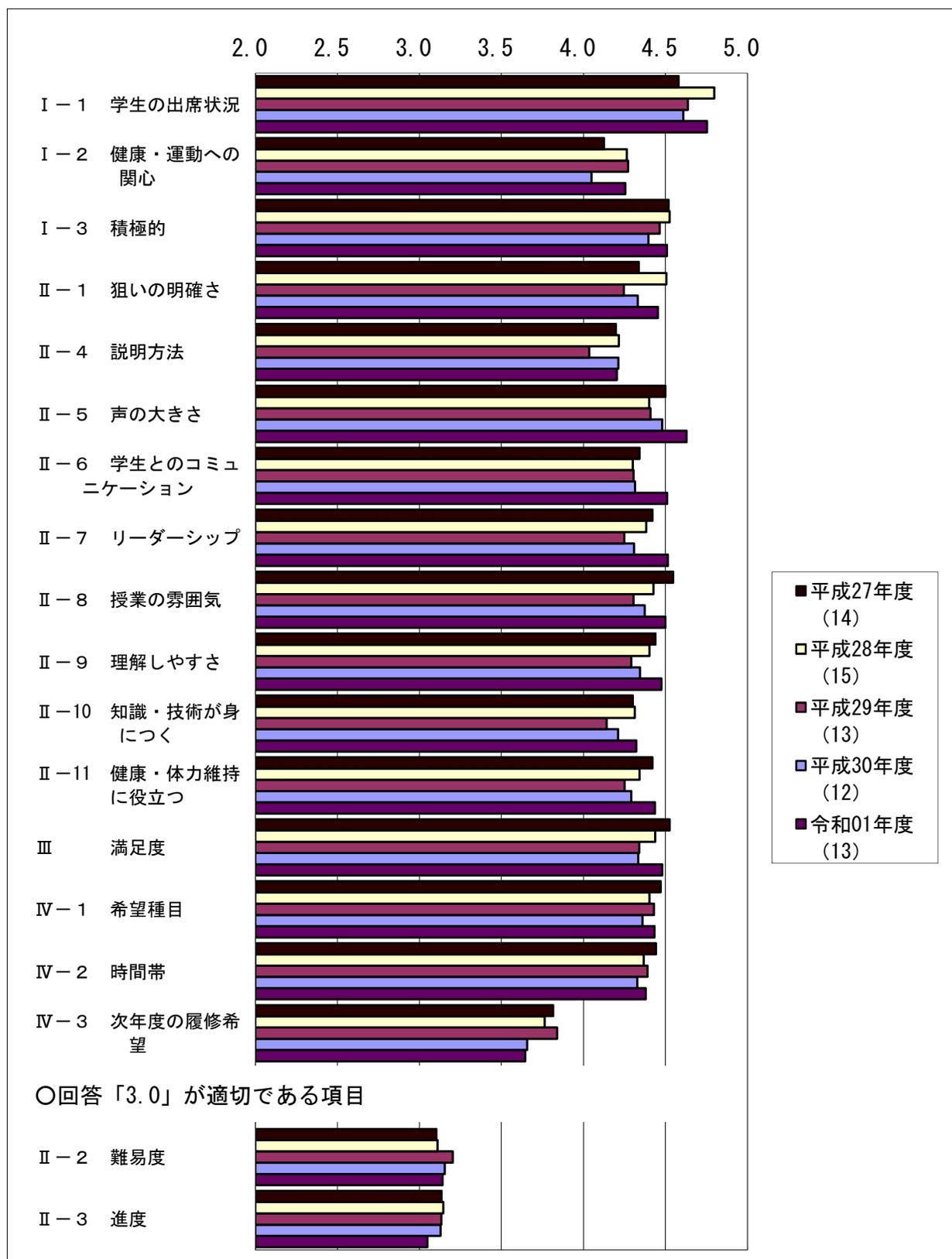
⑥ 教養教育科目



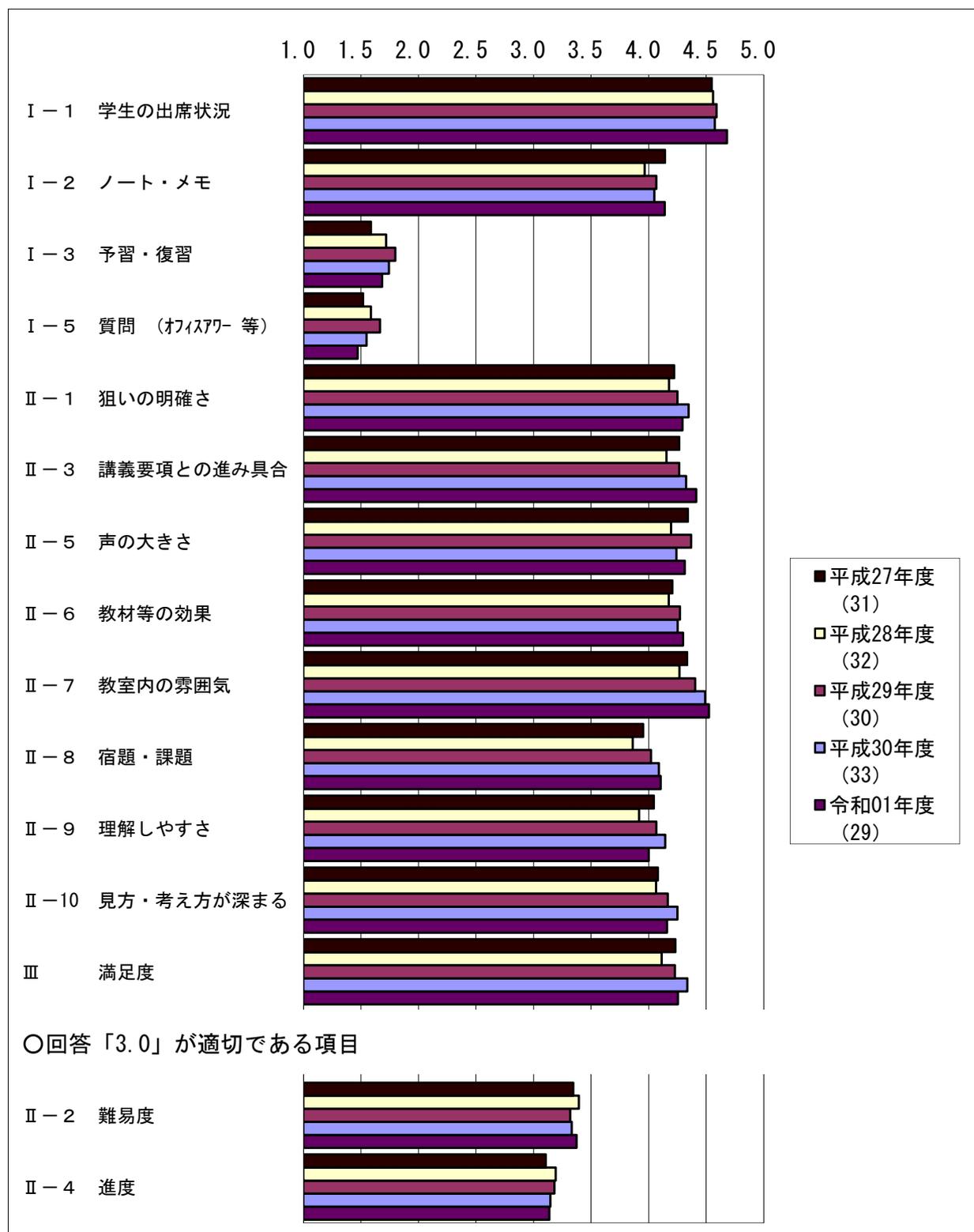
⑦ 外国語科目



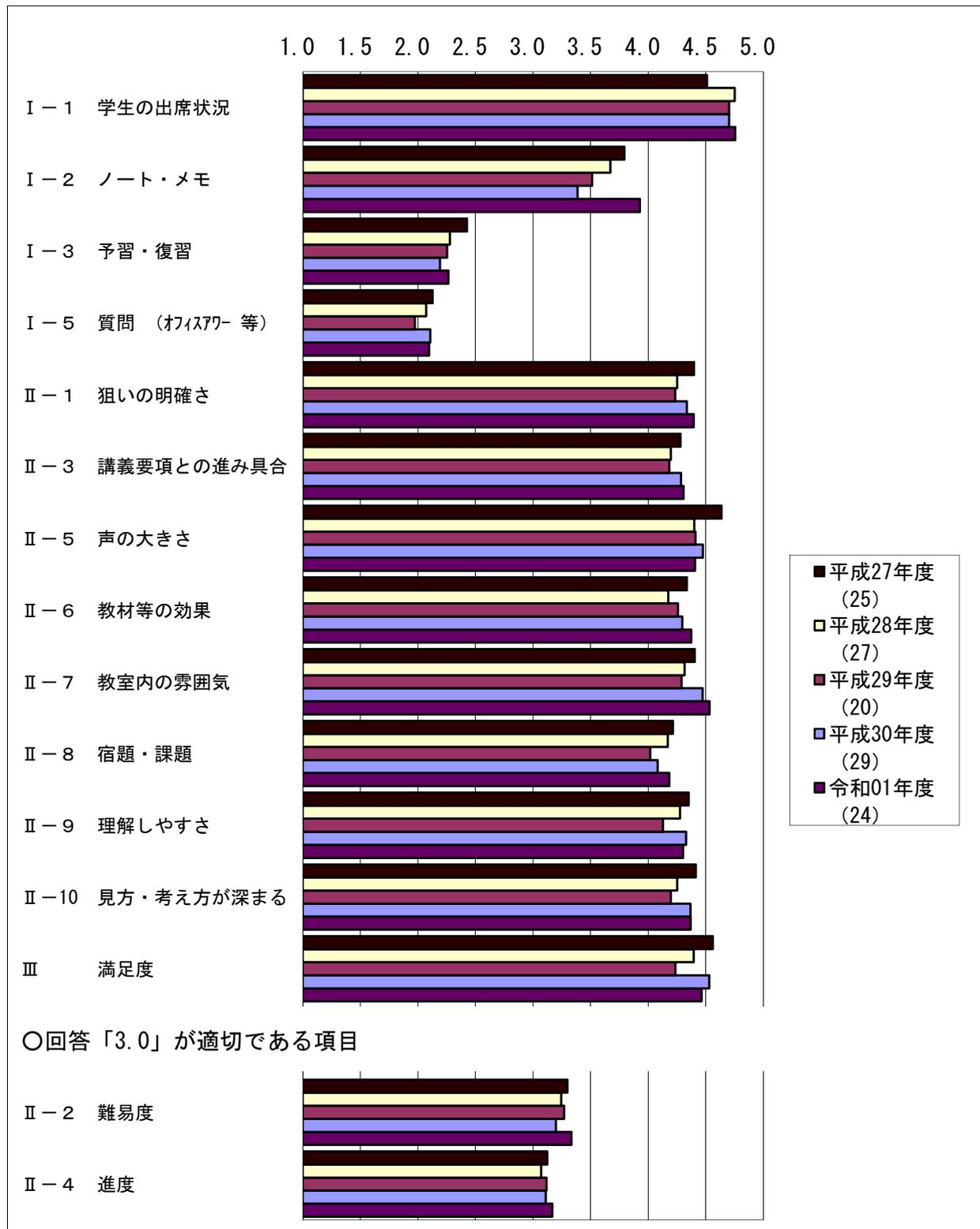
⑧ スポーツ・トレーニング科目



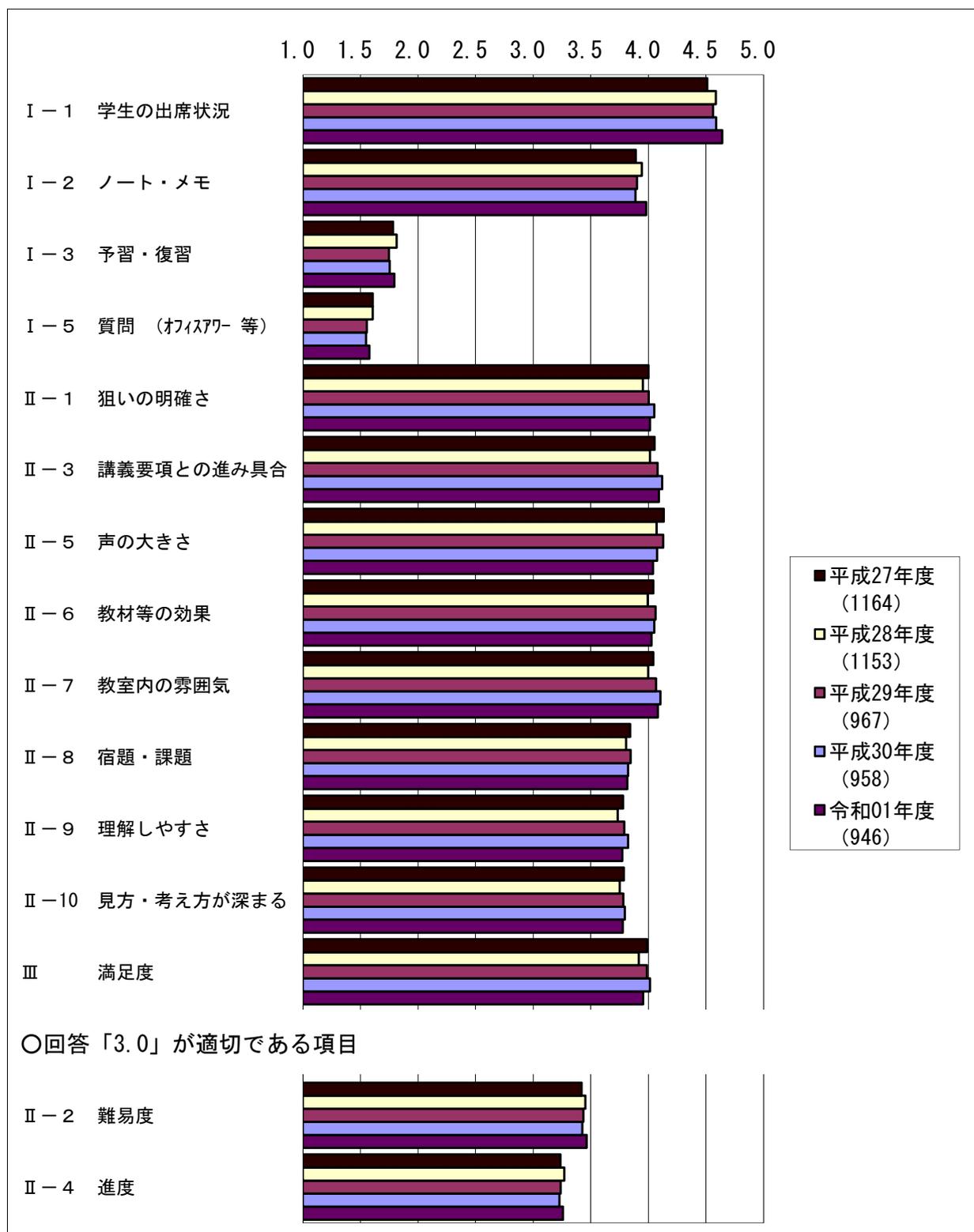
⑨ 教職・社教・日語科目



⑩ ゼミ・外書講読科目



⑪ 全体（講義等科目）



(2) 学生所属別平均値・標準偏差（講義科目）

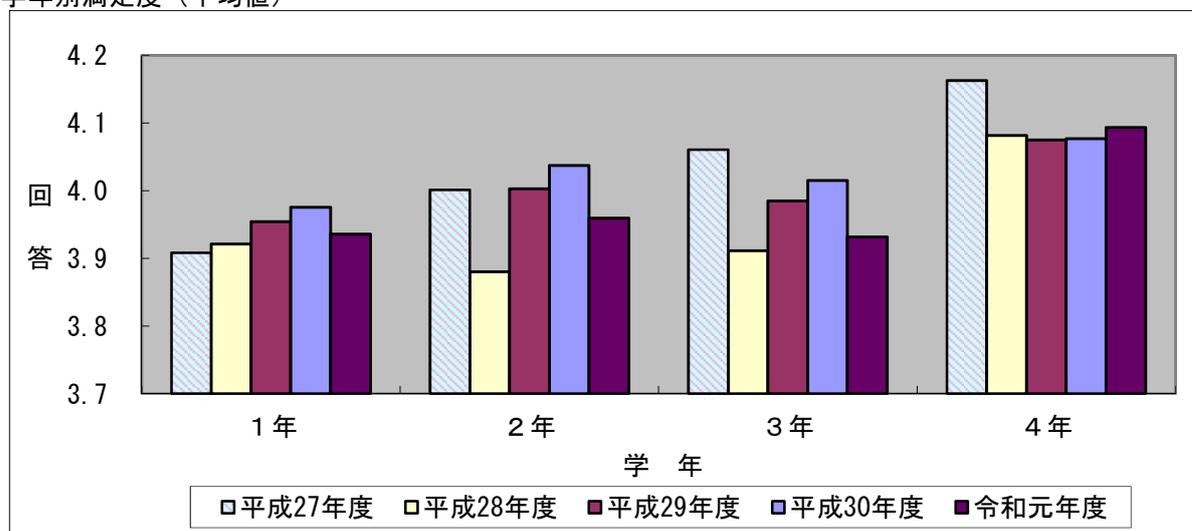
① 学年別

設問項目	区分	1年	2年	3年	4年
		回答件数：(10631)	回答件数：(9204)	回答件数：(8245)	回答件数：(2986)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.80	4.64	4.59	4.26
	標準偏差	0.53	0.65	0.69	0.87
I-2 ノート・メモ	平均値	3.97	4.01	3.99	3.94
	標準偏差	1.19	1.14	1.12	1.13
I-3 予習・復習	平均値	1.77	1.80	1.77	1.75
	標準偏差	1.03	1.10	1.10	1.03
I-5 質問(オフィスワ-等)	平均値	1.52	1.57	1.60	1.56
	標準偏差	1.03	1.08	1.10	1.04
II-1 狙いの明確さ	平均値	4.00	4.02	4.00	4.10
	標準偏差	1.01	1.01	0.99	0.96
II-3 講義要項との進み具合	平均値	4.09	4.10	4.06	4.16
	標準偏差	0.90	0.92	0.90	0.87
II-5 声の大きさ	平均値	4.01	4.05	4.03	4.16
	標準偏差	1.05	1.04	1.02	0.97
II-6 教材等の効果	平均値	4.01	4.03	4.03	4.12
	標準偏差	1.02	1.01	1.00	0.96
II-7 教室内の雰囲気	平均値	4.08	4.10	4.08	4.11
	標準偏差	0.97	0.97	0.98	0.98
II-8 宿題・課題	平均値	3.79	3.84	3.80	3.87
	標準偏差	1.05	1.05	1.03	1.02
II-9 理解しやすさ	平均値	3.77	3.78	3.73	3.89
	標準偏差	1.03	1.04	1.00	0.96
II-10 見方・考え方が深まる	平均値	3.72	3.78	3.78	3.93
	標準偏差	1.05	1.06	1.01	0.97
III 満足度	平均値	3.94	3.96	3.93	4.09
	標準偏差	1.02	1.02	0.99	0.92

○回答「3.0」が適切である項目

II-2 難易度	平均値	3.42	3.50	3.50	3.38
	標準偏差	0.77	0.76	0.72	0.70
II-4 進度	平均値	3.25	3.27	3.26	3.20
	標準偏差	0.65	0.66	0.62	0.57

○学年別満足度（平均値）



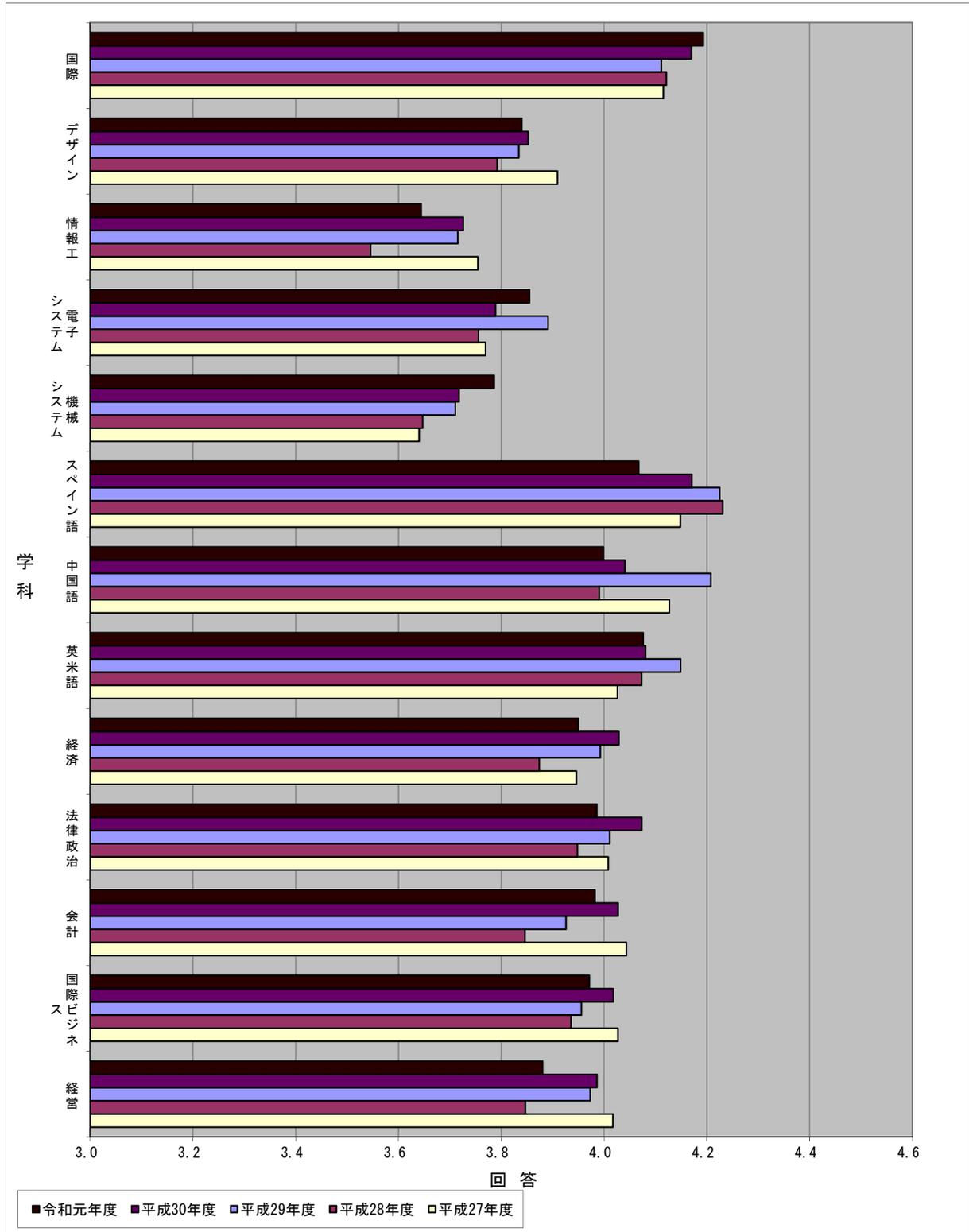
② 学科別

設問項目	区分	商学部			政経学部		外国語学部			工学部				国際学部
		経営	国際ビジネス	会計	法律政治	経済	英米語	中国語	スペイン語	機械システム	電子システム	情報工	デザイン	国際
		回答件数 : (6295)	回答件数 : (2351)	回答件数 : (1193)	回答件数 : (3910)	回答件数 : (5925)	回答件数 : (1279)	回答件数 : (718)	回答件数 : (599)	回答件数 : (1364)	回答件数 : (1020)	回答件数 : (1268)	回答件数 : (908)	回答件数 : (4168)
I-1 学生の出席状況	平均値	4.66	4.60	4.67	4.64	4.60	4.73	4.65	4.66	4.76	4.73	4.64	4.63	4.64
	標準偏差	0.67	0.70	0.67	0.67	0.71	0.55	0.70	0.65	0.56	0.58	0.62	0.63	0.67
I-2 ノート・メモ	平均値	4.06	4.04	3.97	4.08	4.04	3.97	4.07	3.98	3.79	3.94	3.49	3.58	3.98
	標準偏差	1.12	1.13	1.17	1.12	1.11	1.11	1.13	1.16	1.20	1.12	1.29	1.24	1.17
I-3 予習・復習	平均値	1.73	1.82	1.67	1.69	1.73	1.82	2.05	1.83	1.73	2.26	1.69	1.83	1.87
	標準偏差	1.07	1.10	1.04	1.02	1.05	1.00	1.27	1.02	0.99	1.14	0.97	1.10	1.12
I-5 質問(ホワイト等)	平均値	1.55	1.67	1.47	1.43	1.50	1.31	1.73	1.59	1.62	1.93	1.50	1.63	1.66
	標準偏差	1.08	1.14	0.99	0.97	1.03	0.80	1.24	1.06	1.06	1.22	0.97	1.10	1.16
II-1 狙いの明確さ	平均値	3.93	4.02	4.06	4.06	4.04	4.10	4.00	4.04	3.91	3.98	3.74	3.82	4.21
	標準偏差	1.03	1.05	0.95	0.95	0.99	1.00	1.11	1.02	0.95	0.98	0.99	1.04	0.95
II-3 講義要項との進み具合	平均値	4.01	4.09	4.13	4.14	4.09	4.23	4.17	4.16	4.00	4.06	3.88	3.97	4.25
	標準偏差	0.92	0.93	0.85	0.86	0.91	0.88	0.96	0.90	0.88	0.90	0.88	0.91	0.89
II-5 声の大きさ	平均値	3.96	4.05	4.11	4.07	4.01	4.22	4.08	4.09	3.91	4.07	3.84	3.91	4.24
	標準偏差	1.05	1.04	0.99	1.02	1.08	0.97	1.07	1.04	1.04	0.97	1.03	1.10	0.94
II-6 教材等の効果	平均値	3.96	4.02	4.05	4.06	4.02	4.17	4.00	4.09	3.92	3.93	3.84	3.86	4.25
	標準偏差	1.03	1.04	0.96	0.99	1.01	0.99	1.08	0.99	1.00	0.98	1.00	1.04	0.95
II-7 教室内の雰囲気	平均値	3.98	4.10	4.11	4.17	4.11	4.21	4.12	4.07	3.99	4.03	3.81	3.83	4.29
	標準偏差	1.00	1.01	0.93	0.97	0.96	0.94	0.99	1.01	0.97	0.90	0.94	1.02	0.89
II-8 宿題・課題	平均値	3.74	3.80	3.76	3.71	3.86	4.08	3.87	3.98	3.83	3.88	3.72	3.77	3.91
	標準偏差	1.03	1.08	1.04	1.05	1.04	0.99	1.13	0.99	1.00	0.99	1.00	1.01	1.07
II-9 理解しやすさ	平均値	3.69	3.83	3.78	3.77	3.72	3.95	3.87	3.99	3.57	3.67	3.42	3.67	4.06
	標準偏差	1.01	1.06	1.00	0.97	1.02	1.00	1.14	0.97	1.02	1.03	1.00	1.03	0.97
II-10 見方・考え方が深まる	平均値	3.70	3.81	3.75	3.82	3.77	3.91	3.76	3.83	3.50	3.65	3.34	3.75	4.07
	標準偏差	1.03	1.06	1.01	0.98	1.02	1.04	1.17	1.07	1.03	1.02	1.04	1.05	0.99
III 満足度	平均値	3.88	3.97	3.98	3.99	3.95	4.08	4.00	4.07	3.79	3.85	3.64	3.84	4.19
	標準偏差	1.00	1.05	0.97	0.96	1.00	1.01	1.10	1.01	0.99	0.97	1.02	1.07	0.95

○回答「3.0」が適切である項目

II-2 難易度	平均値	3.50	3.41	3.44	3.49	3.51	3.38	3.55	3.34	3.47	3.50	3.52	3.47	3.33
	標準偏差	0.75	0.76	0.72	0.72	0.75	0.68	0.84	0.77	0.78	0.79	0.79	0.77	0.73
II-4 進度	平均値	3.30	3.22	3.20	3.26	3.28	3.17	3.39	3.19	3.25	3.30	3.26	3.31	3.20
	標準偏差	0.66	0.61	0.59	0.64	0.64	0.59	0.76	0.64	0.64	0.67	0.63	0.67	0.61

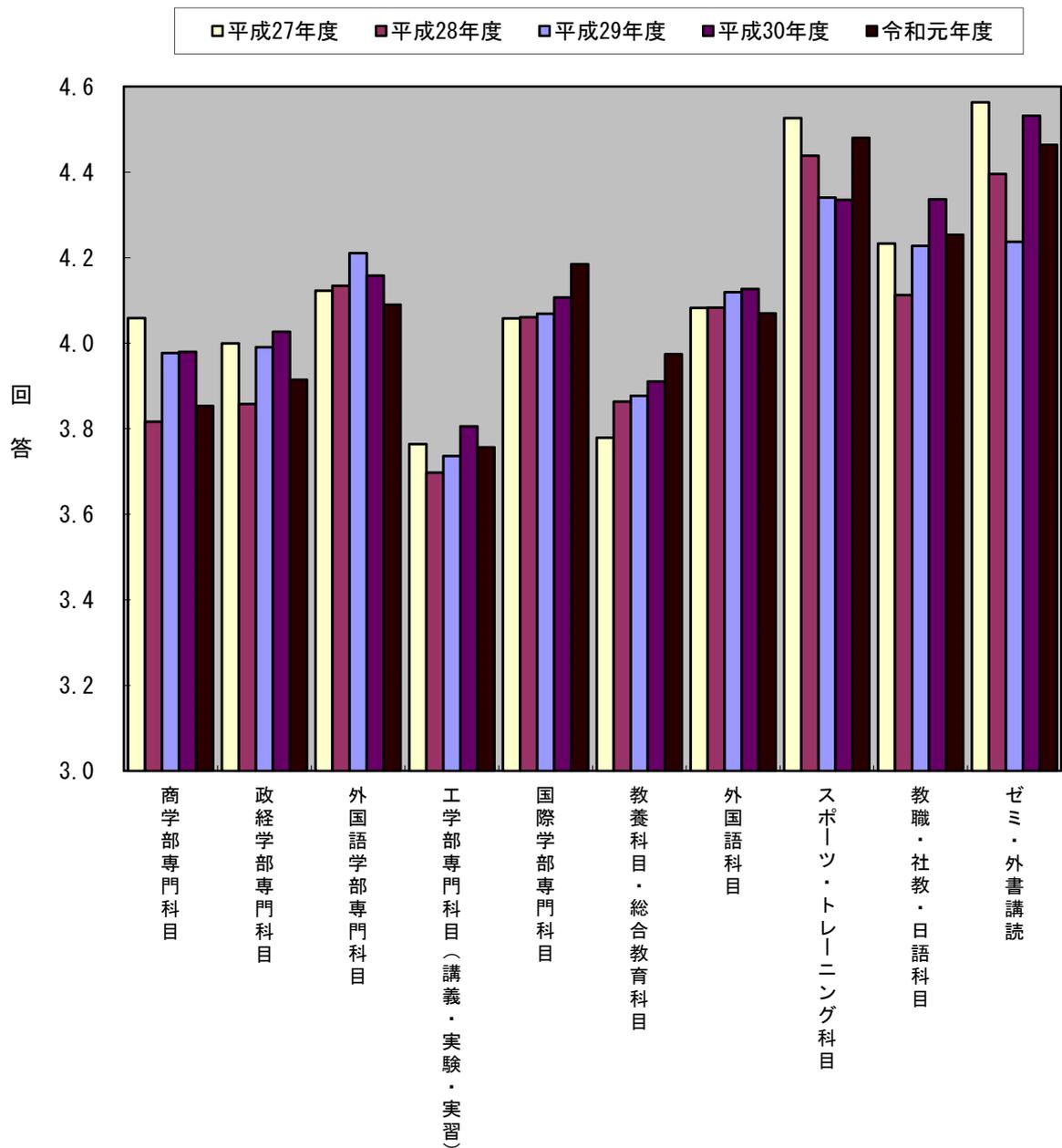
○学科別（満足度）



	経営	国際ビジネス	会計	法律政治	経済	英米語	中国語	スペイン語	機械システム	電子システム	情報工	デザイン	国際
平成27年度	4.02	4.03	4.04	4.01	3.95	4.03	4.13	4.15	3.64	3.77	3.75	3.91	4.12
平成28年度	3.85	3.94	3.85	3.95	3.87	4.07	3.99	4.23	3.65	3.76	3.55	3.79	4.12
平成29年度	3.97	3.96	3.93	4.01	3.99	4.15	4.21	4.23	3.71	3.89	3.72	3.83	4.11
平成30年度	3.99	4.02	4.03	4.07	4.03	4.08	4.04	4.17	3.72	3.79	3.73	3.85	4.17
令和元年度	3.88	3.97	3.98	3.99	3.95	4.08	4.00	4.07	3.79	3.85	3.64	3.84	4.19

(3) 満足度 平均値

① 学科目別

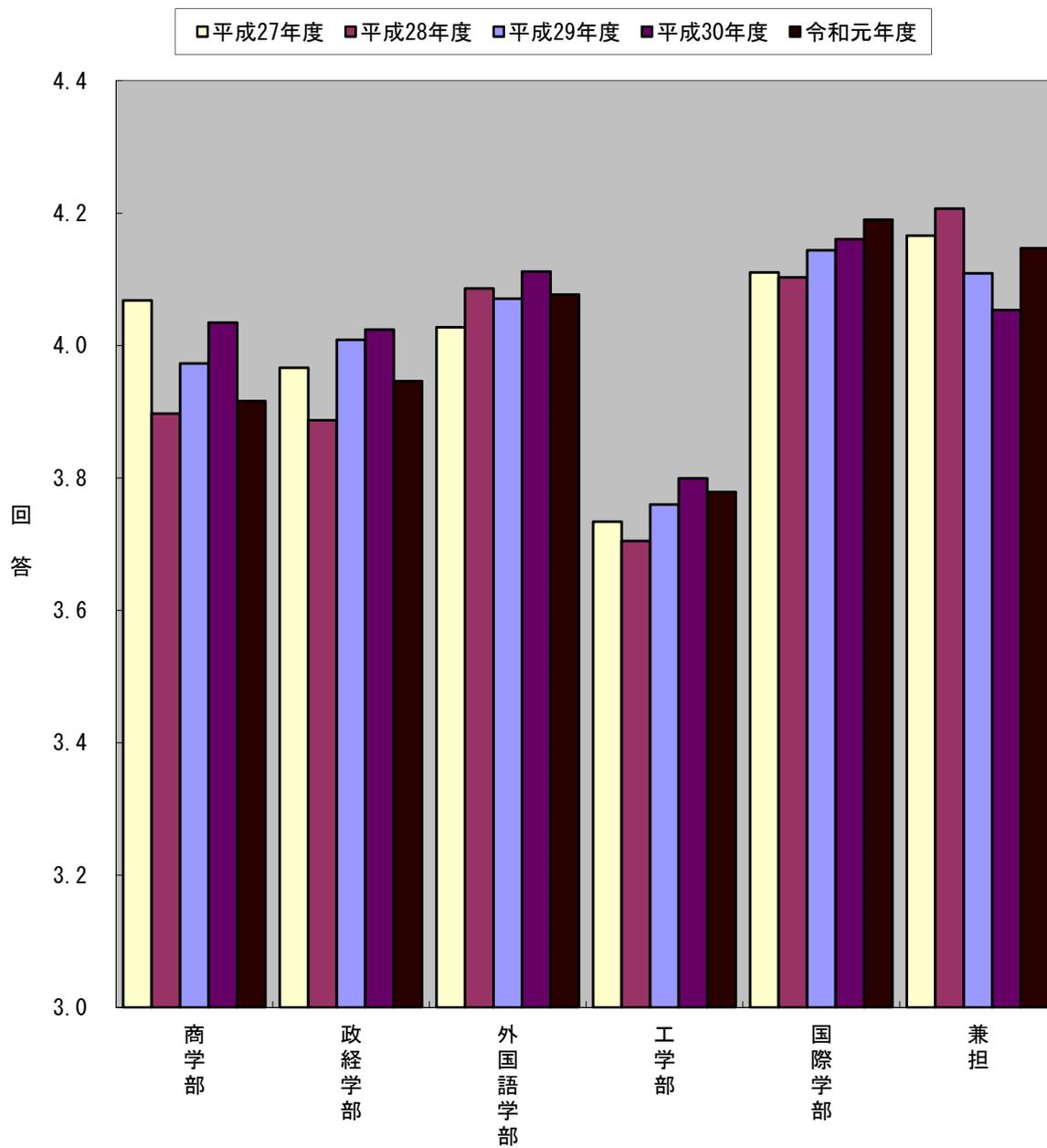


○科目数

平成27年度	138	136	100	120	74	93	476	14	31	25
平成28年度	143	131	108	126	75	108	433	15	32	27
平成29年度	130	138	97	112	56	89	319	13	30	20
平成30年度	126	141	95	117	61	85	302	12	33	29
令和元年度	129	136	96	115	58	102	285	13	29	24

学科目

② 所属別



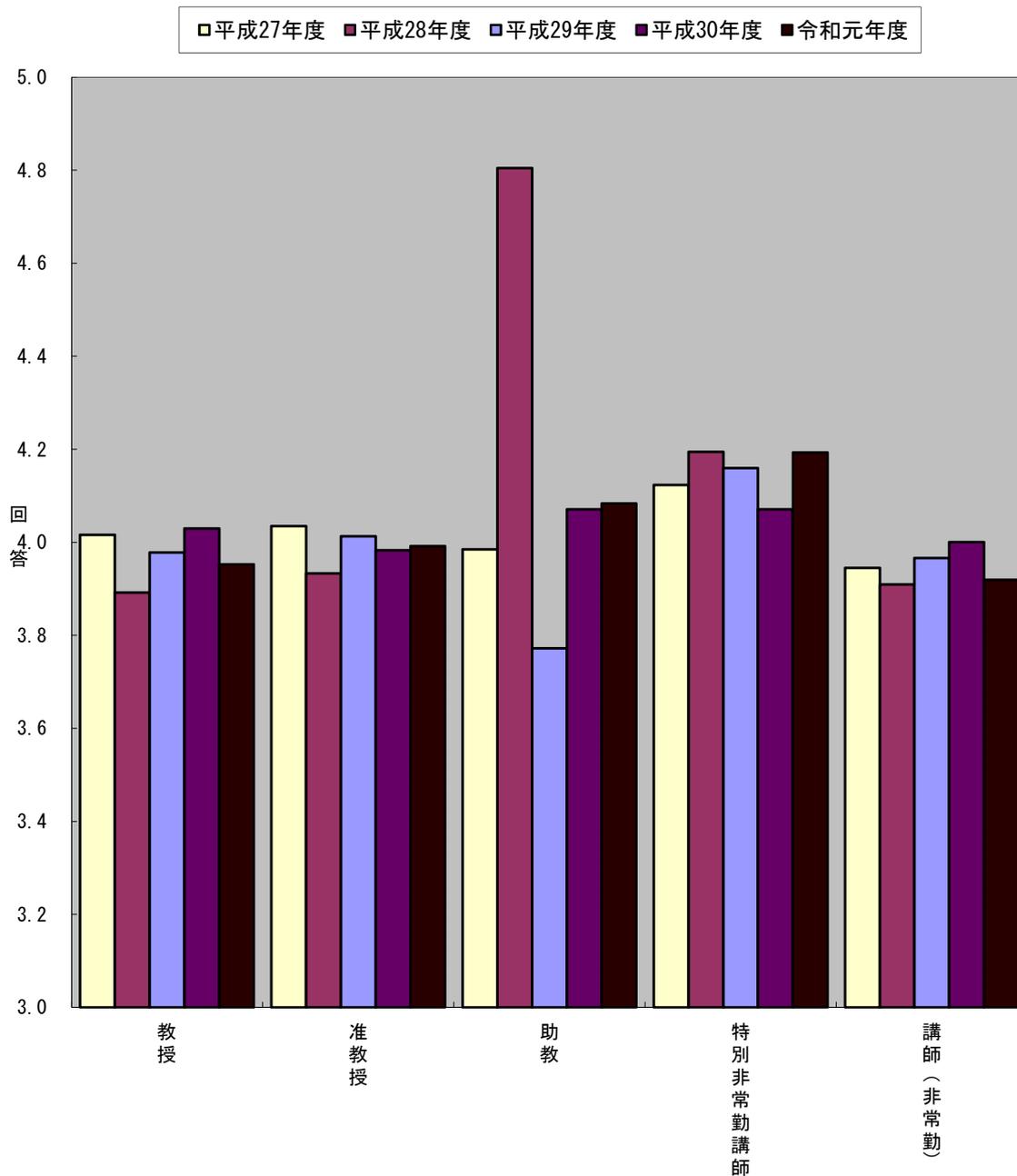
○人数

平成27年度	169	162	80	104	84	18
平成28年度	171	167	80	103	81	16
平成29年度	158	167	81	100	83	19
平成30年度	158	168	84	96	78	18
令和元年度	158	162	85	96	81	17

※講師（非常勤）を含む

学部

③ 身分別

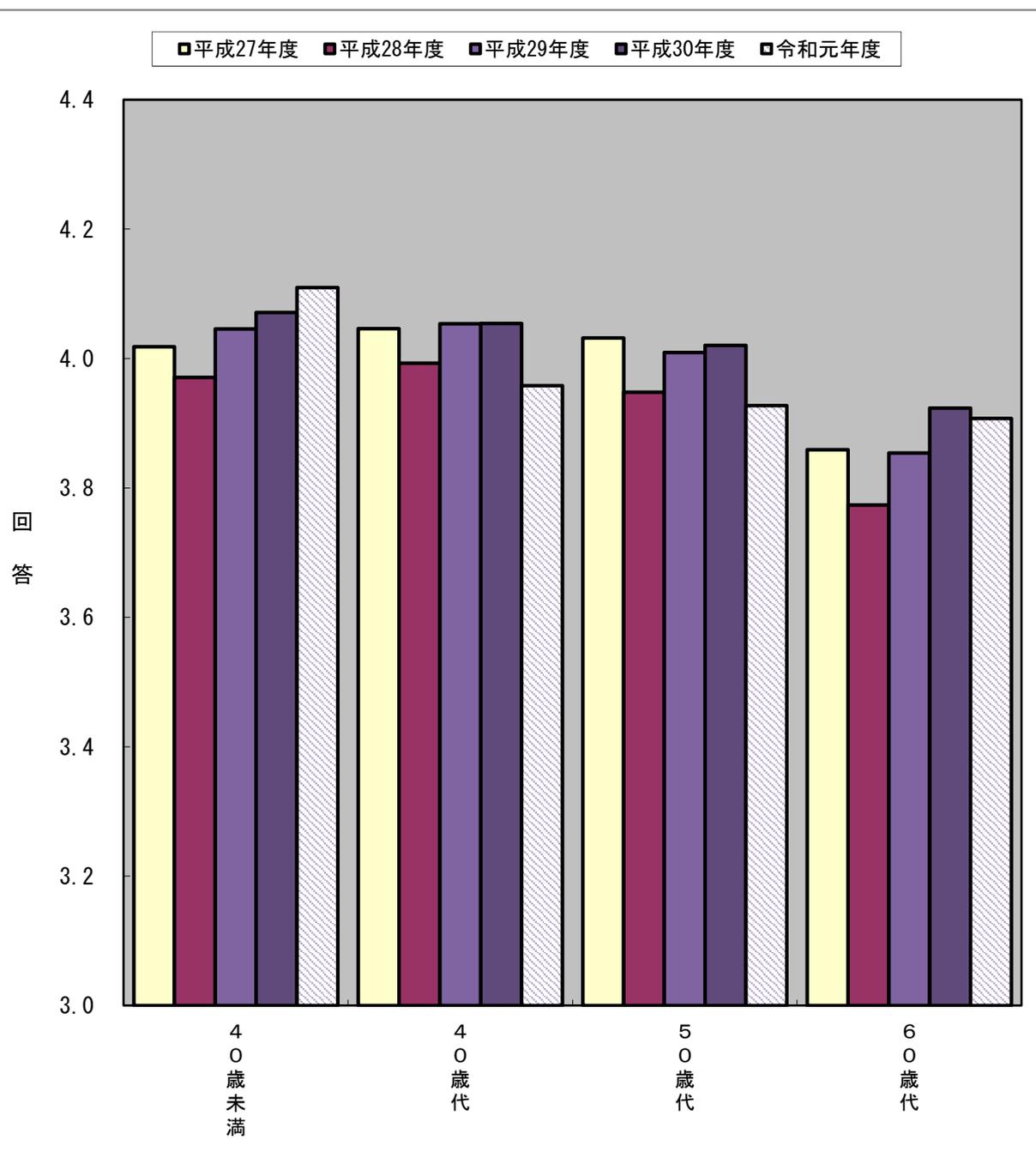


○人数

平成27年度	142	67	2	22	384
平成28年度	145	65	1	22	385
平成29年度	156	63	2	21	366
平成30年度	148	62	7	24	361
令和元年度	148	58	10	22	361

身分

④ 年齢別



○人数

平成27年度	86	166	184	182
平成28年度	80	155	203	180
平成29年度	78	150	205	175
平成30年度	82	148	203	169
令和元年度	66	144	191	198

年齢

5. 学科目別 回答の分析

(1) 商学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.55%	0.61%	7.42%	18.65%	72.77%
I-2	4.82%	4.44%	16.79%	26.35%	47.60%
I-3	59.15%	18.94%	13.89%	4.27%	3.75%
I-4	13.52%	2.31%	48.78%	9.87%	25.53%
I-5	72.17%	8.22%	10.92%	4.49%	4.20%
II-1	3.15%	4.70%	24.28%	31.97%	35.89%
II-2	0.74%	2.41%	52.92%	33.12%	10.81%
II-3	1.28%	1.73%	28.65%	31.80%	36.54%
II-4	0.77%	2.51%	68.69%	21.50%	6.53%
II-5	2.64%	5.48%	24.35%	27.37%	40.16%
II-6	2.66%	5.02%	25.01%	29.84%	37.47%
II-7	2.12%	5.51%	24.65%	30.24%	37.48%
II-8	3.67%	4.68%	37.17%	25.59%	28.90%
II-9	3.85%	6.90%	31.09%	34.04%	24.12%
II-10	4.07%	5.75%	32.82%	32.10%	25.26%
III	3.06%	4.72%	27.49%	33.28%	31.45%

(2) 政経学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.56%	0.74%	7.98%	20.94%	69.78%
I-2	5.03%	4.77%	17.22%	27.63%	45.35%
I-3	59.59%	19.99%	12.98%	3.88%	3.55%
I-4	19.42%	3.43%	36.10%	11.29%	29.77%
I-5	77.33%	7.02%	8.80%	3.72%	3.13%
II-1	2.37%	3.80%	21.97%	33.09%	38.77%
II-2	0.59%	2.20%	51.67%	34.55%	11.00%
II-3	1.04%	1.97%	25.23%	31.76%	39.99%
II-4	0.64%	2.97%	69.42%	20.57%	6.40%
II-5	2.97%	5.78%	22.59%	27.06%	41.61%
II-6	2.43%	4.44%	22.98%	29.81%	40.33%
II-7	2.05%	4.02%	20.85%	29.59%	43.49%
II-8	3.62%	4.07%	34.72%	27.08%	30.50%
II-9	3.19%	6.61%	31.25%	35.69%	23.26%
II-10	3.43%	4.81%	30.63%	34.40%	26.73%
III	2.78%	4.29%	24.63%	35.25%	33.05%

(3) 外国語学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.38%	0.59%	4.95%	18.17%	75.91%
I-2	3.98%	6.14%	18.26%	30.86%	40.76%
I-3	42.37%	27.92%	20.11%	5.82%	3.77%
I-4	9.54%	2.06%	58.52%	7.74%	22.15%
I-5	73.27%	9.95%	9.09%	4.09%	3.60%
II-1	1.77%	5.04%	19.14%	29.97%	44.08%
II-2	1.18%	3.91%	55.23%	31.31%	8.36%
II-3	0.76%	1.78%	21.14%	28.27%	48.05%
II-4	0.70%	3.38%	73.19%	17.05%	5.68%
II-5	1.19%	4.37%	18.95%	25.59%	49.89%
II-6	1.77%	4.08%	19.82%	28.57%	45.76%
II-7	0.91%	2.79%	18.36%	30.06%	47.88%
II-8	2.05%	3.08%	24.03%	28.46%	42.39%
II-9	1.78%	4.90%	21.97%	34.84%	36.51%
II-10	3.24%	4.91%	26.55%	30.49%	34.81%
III	2.11%	4.65%	18.53%	31.55%	43.17%

(4) 工学部専門科目 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.08%	0.20%	6.69%	17.59%	75.44%
I-2	7.06%	6.89%	24.57%	27.55%	33.93%
I-3	46.37%	25.22%	19.57%	5.40%	3.43%
I-4	8.53%	2.33%	65.28%	7.10%	16.77%
I-5	62.67%	14.02%	14.10%	4.87%	4.34%
II-1	2.19%	4.85%	26.37%	35.47%	31.13%
II-2	0.62%	2.77%	47.35%	36.37%	12.89%
II-3	0.85%	1.68%	28.14%	34.68%	34.65%
II-4	0.34%	2.66%	67.47%	22.34%	7.19%
II-5	2.53%	5.57%	25.64%	29.05%	37.21%
II-6	2.35%	4.65%	28.85%	30.95%	33.19%
II-7	1.85%	4.15%	28.49%	33.37%	32.14%
II-8	2.58%	3.91%	31.58%	32.20%	29.73%
II-9	4.32%	9.71%	35.29%	32.12%	18.57%
II-10	4.89%	8.46%	37.82%	29.50%	19.33%
III	3.07%	5.88%	32.43%	33.16%	25.45%

(5) 工学部専門科目 (実験・実習科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.09%	0.09%	3.93%	9.82%	86.08%
I-2	9.80%	6.99%	21.48%	28.90%	32.82%
I-3	3.36%	2.33%	17.05%	26.61%	50.65%
I-4	0.60%	1.96%	24.72%	35.55%	37.17%
II-1	2.13%	4.26%	16.11%	35.21%	42.28%
II-2	0.94%	2.73%	37.34%	43.31%	15.69%
II-3	2.21%	3.41%	52.73%	30.32%	11.33%
II-4	3.93%	10.33%	26.99%	35.53%	23.23%
II-5	3.00%	5.49%	23.76%	33.96%	33.79%
II-6	2.39%	5.12%	24.47%	35.12%	32.91%
II-7	2.30%	5.03%	24.53%	35.01%	33.13%
II-8	1.46%	4.97%	24.79%	37.05%	31.73%
II-9	3.08%	5.48%	26.03%	38.61%	26.80%
II-10	1.88%	4.70%	22.72%	42.27%	28.44%
II-11	2.56%	5.04%	27.01%	36.58%	28.80%
III	3.59%	4.87%	24.10%	35.98%	31.45%

(6) 国際学部専門科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.50%	0.54%	7.90%	23.48%	67.58%
I-2	6.61%	5.21%	20.46%	26.22%	41.50%
I-3	57.91%	17.13%	15.00%	4.19%	5.78%
I-4	10.42%	3.18%	34.12%	14.61%	37.67%
I-5	70.79%	8.63%	10.44%	4.29%	5.84%
II-1	1.97%	3.01%	17.93%	27.81%	49.29%
II-2	1.27%	3.09%	64.44%	23.56%	7.64%
II-3	0.90%	1.91%	21.09%	25.55%	50.55%
II-4	0.77%	2.90%	77.22%	13.59%	5.52%
II-5	1.09%	3.84%	20.69%	23.64%	50.74%
II-6	1.43%	2.82%	17.60%	25.24%	52.91%
II-7	1.08%	2.85%	18.06%	25.39%	52.62%
II-8	3.95%	4.72%	34.44%	19.93%	36.96%
II-9	1.51%	4.21%	22.61%	30.07%	41.59%
II-10	1.74%	3.02%	20.97%	28.67%	45.61%
III	1.70%	3.10%	18.93%	27.53%	48.74%

(7) 教養科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.54%	0.82%	6.94%	17.92%	73.78%
I-2	8.16%	7.22%	19.66%	25.42%	39.54%
I-3	68.55%	14.40%	10.07%	2.90%	4.08%
I-4	20.50%	6.35%	35.23%	6.30%	31.63%
I-5	76.83%	6.97%	8.89%	3.26%	4.04%
II-1	3.31%	5.22%	22.52%	29.98%	38.97%
II-2	1.28%	3.19%	59.78%	27.01%	8.74%
II-3	1.22%	1.86%	26.73%	28.68%	41.51%
II-4	0.84%	2.97%	76.84%	14.49%	4.86%
II-5	2.89%	5.10%	22.41%	25.26%	44.33%
II-6	2.98%	4.38%	23.82%	26.95%	41.87%
II-7	2.05%	4.84%	24.32%	28.18%	40.61%
II-8	4.79%	5.54%	37.28%	21.66%	30.73%
II-9	3.62%	7.40%	28.18%	32.49%	28.31%
II-10	3.73%	4.96%	27.62%	31.83%	31.85%
III	2.69%	4.20%	24.00%	31.22%	37.90%

(8) 外国語科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.06%	0.38%	5.19%	15.62%	78.76%
I-2	3.63%	3.89%	14.34%	31.04%	47.09%
I-3	41.87%	31.53%	18.69%	4.56%	3.34%
I-4	2.87%	2.58%	61.49%	9.42%	23.64%
I-5	71.65%	9.87%	9.97%	4.42%	4.08%
II-1	1.82%	3.83%	19.02%	33.11%	42.22%
II-2	1.80%	4.92%	53.36%	31.07%	8.84%
II-3	0.94%	1.73%	22.93%	30.47%	43.93%
II-4	1.18%	3.76%	71.95%	18.10%	5.03%
II-5	1.68%	4.81%	19.92%	26.48%	47.12%
II-6	1.99%	3.17%	22.07%	29.31%	43.46%
II-7	0.91%	2.33%	16.18%	30.61%	49.97%
II-8	1.82%	2.94%	25.12%	31.25%	38.86%
II-9	1.80%	5.13%	22.63%	36.43%	34.01%
II-10	3.39%	5.56%	30.51%	30.87%	29.66%
III	2.18%	4.01%	19.70%	32.86%	41.25%

(9) スポーツ・トレーニング科目

設問／回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.00%	0.00%	5.29%	14.10%	80.62%
I-2	0.88%	3.52%	14.54%	31.28%	49.78%
I-3	0.00%	1.33%	9.73%	25.66%	63.27%
I-4	9.18%	2.04%	55.61%	7.14%	26.02%
II-1	0.00%	0.88%	10.57%	30.84%	57.71%
II-2	1.32%	2.20%	82.82%	8.37%	5.29%
II-3	0.44%	0.88%	94.71%	1.32%	2.64%
II-4	0.44%	3.10%	20.80%	26.99%	48.67%
II-5	0.00%	0.44%	8.41%	19.03%	72.12%
II-6	0.00%	0.44%	11.45%	24.67%	63.44%
II-7	0.44%	0.44%	11.01%	23.35%	64.76%
II-8	0.00%	0.44%	11.06%	26.55%	61.95%
II-9	0.00%	0.88%	11.89%	25.99%	61.23%
II-10	0.44%	0.44%	15.86%	33.04%	50.22%
II-11	0.00%	1.76%	11.45%	28.19%	58.59%
III	0.44%	0.89%	10.67%	26.22%	61.78%

(10) 教職・社教・日語科目

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.00%	0.67%	6.03%	17.86%	75.45%
I-2	2.27%	5.44%	18.59%	23.36%	50.34%
I-3	56.57%	24.28%	15.59%	1.34%	2.23%
I-4	6.61%	0.60%	68.54%	8.22%	16.03%
I-5	76.51%	8.72%	8.95%	2.68%	3.13%
II-1	1.12%	3.35%	14.29%	27.46%	53.79%
II-2	0.22%	2.67%	61.92%	29.84%	5.35%
II-3	0.00%	0.90%	15.32%	25.23%	58.56%
II-4	0.45%	3.57%	80.80%	12.28%	2.90%
II-5	1.57%	3.58%	14.09%	23.27%	57.49%
II-6	1.34%	3.13%	14.99%	25.28%	55.26%
II-7	0.45%	0.45%	9.82%	24.78%	64.51%
II-8	2.01%	3.80%	22.82%	24.38%	46.98%
II-9	1.57%	5.37%	21.70%	34.23%	37.14%
II-10	1.35%	2.69%	19.06%	32.51%	44.39%
III	1.80%	2.02%	14.16%	33.03%	48.99%

(11) ゼミ・外書講読

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.00%	0.00%	4.56%	15.21%	80.23%
I-2	8.37%	2.66%	17.49%	30.80%	40.68%
I-3	42.53%	19.16%	14.94%	16.09%	7.28%
I-4	2.75%	1.72%	28.87%	26.46%	40.21%
I-5	50.77%	13.08%	18.46%	11.15%	6.54%
II-1	0.76%	2.28%	11.03%	28.52%	57.41%
II-2	1.14%	1.52%	66.16%	25.10%	6.08%
II-3	0.39%	1.93%	17.37%	27.03%	53.28%
II-4	0.76%	1.53%	80.53%	14.50%	2.67%
II-5	0.77%	1.15%	15.38%	21.92%	60.77%
II-6	0.38%	1.91%	15.65%	24.05%	58.02%
II-7	0.38%	1.90%	9.13%	21.29%	67.30%
II-8	1.53%	3.07%	20.31%	25.67%	49.43%
II-9	0.76%	1.52%	15.21%	31.56%	50.95%
II-10	1.53%	1.15%	13.74%	25.95%	57.63%
III	1.52%	1.14%	9.89%	24.33%	63.12%

(12) 全体 (講義科目)

設問/回答	①	②	③	④	⑤
I-1	0.40%	0.58%	6.90%	18.75%	73.37%
I-2	5.52%	5.28%	18.17%	27.59%	43.43%
I-3	55.42%	21.56%	14.93%	4.27%	3.82%
I-4	13.90%	3.35%	45.73%	9.68%	27.34%
I-5	72.78%	8.81%	10.22%	4.15%	4.04%
II-1	2.48%	4.31%	21.88%	31.94%	39.40%
II-2	1.01%	3.05%	54.44%	31.55%	9.95%
II-3	1.03%	1.81%	25.37%	30.60%	41.19%
II-4	0.76%	2.98%	71.67%	18.72%	5.87%
II-5	2.36%	5.14%	22.31%	26.53%	43.67%
II-6	2.34%	4.19%	23.26%	28.89%	41.33%
II-7	1.69%	3.98%	21.66%	29.64%	43.04%
II-8	3.32%	4.21%	32.89%	26.61%	32.97%
II-9	3.04%	6.55%	28.37%	34.05%	27.98%
II-10	3.58%	5.34%	30.10%	31.69%	29.29%
III	2.62%	4.36%	24.14%	32.70%	36.19%

6. 学部設問項目 平均値・標準偏差

(1) 商学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	あなたはこの授業へのあなた自身の取り組みを振り返って満足していますか	専任教員	91	3.81	0.99
		講師(非常勤)	166	3.80	0.99
		計	257	3.81	0.99

(2) 政経学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	前期はじめから講義されたこの授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか	専任教員	115	3.05	1.58
		講師(非常勤)	142	3.02	1.51
		計	257	3.04	1.56
IV-2	この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか	専任教員	115	3.36	1.37
		講師(非常勤)	142	3.40	1.37
		計	257	3.38	1.37
IV-3	あなたが望む先生への質問方法は何ですか	専任教員	115	3.20	1.34
		講師(非常勤)	142	3.12	1.42
		計	257	3.17	1.38
IV-4	留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか (留学生10名以上の科目のみ実施)	専任教員	25	3.22	1.49
		講師(非常勤)	9	3.13	1.48
		計	34	3.21	1.49

(3) 外国語学部

設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか	専任教員	76	4.44	0.83
		講師(非常勤)	68	4.29	0.90
		計	144	4.36	0.87
IV-2	このクラスの学生数は適切ですか	専任教員	76	4.42	0.84
		講師(非常勤)	68	4.20	0.94
		計	144	4.29	0.91

(4) 工学部

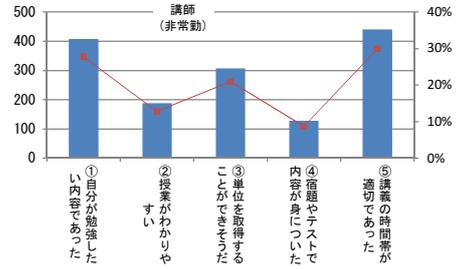
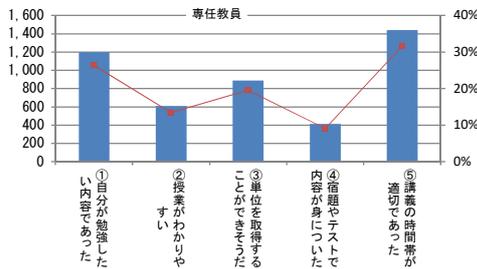
設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	宿題や課題にどれくらい取り組んでいますか	専任教員	67	3.85	1.08
		講師(非常勤)	56	3.49	1.21
		計	123	3.70	1.15
IV-2	この授業の内容について、どのくらい質問していますか	専任教員	67	2.41	1.25
		講師(非常勤)	56	2.27	1.26
		計	123	2.36	1.26
IV-3	この授業で設定している到達目標について、知識や技術が身につきましたか	専任教員	67	3.51	0.97
		講師(非常勤)	56	3.32	1.07
		計	123	3.43	1.02

(5) 国際学部

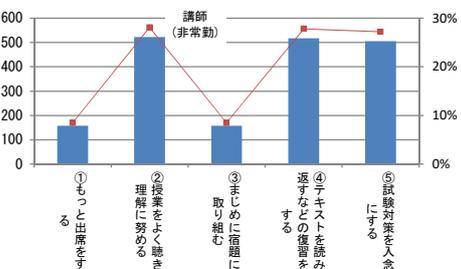
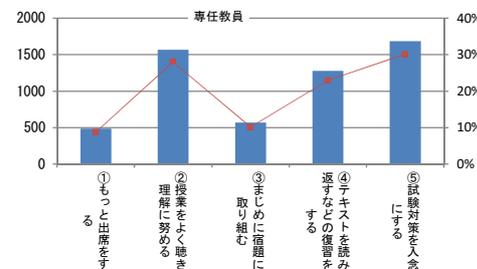
設問項目		教員別	科目数	平均値	標準偏差
IV-1	授業の開始時間、終了時間は守られている	専任教員	74	4.60	0.74
		講師(非常勤)	66	4.48	0.90
		計	140	4.57	0.80
IV-2	出欠はきちんととられている	専任教員	74	4.50	0.95
		講師(非常勤)	66	4.69	0.66
		計	140	4.56	0.88
IV-3	授業中、学生同士の私語はない	専任教員	74	4.10	1.05
		講師(非常勤)	66	3.98	1.03
		計	140	4.06	1.05
IV-4	この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか	専任教員	74	4.50	0.80
		講師(非常勤)	66	4.51	0.79
		計	140	4.50	0.80
IV-5	学生がいきいきと学べる環境づくりに教員が努めている	専任教員	74	4.41	0.86
		講師(非常勤)	66	4.39	0.87
		計	140	4.40	0.86

7. 政経学部 学部別設問項目 教員別回答別表・グラフ

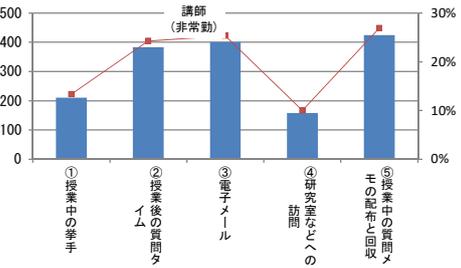
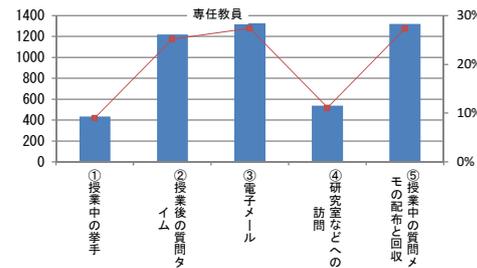
IV-1	後期はじめから講義されたこの授業の満足度として、あなたが考える一番大きなものは何ですか	専任教員	回答	①自分が勉強したい内容であった	②授業がわかりやすい	③単位を取得することができそう	④宿題やテストで内容が身についた	⑤講義の時間帯が適切であった
			割合	1,198	608	889	414	1,439
講師(非常勤)	回答	408	188	307	128	440		
	割合	27.7%	12.8%	20.9%	8.7%	29.9%		
計	回答	1,606	796	1,196	542	1,879		
	割合	26.7%	13.2%	19.9%	9.0%	31.2%		



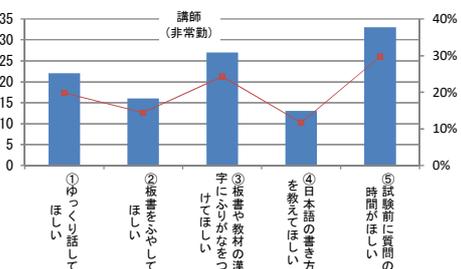
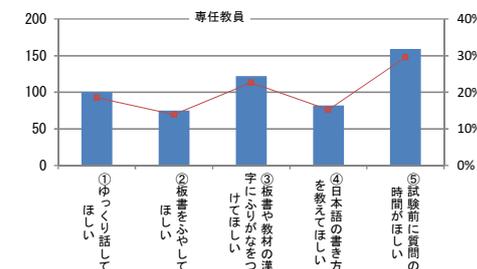
IV-2	この授業を習得するために、あなたが取り組むべきことは何ですか	専任教員	回答	①もっと出席をする	②授業をよく聴き理解に努める	③まじめに宿題に取り組む	④テキストを読み返すなどの復習をする	⑤試験対策を入念にする
			割合	487	1566	568	1279	1683
講師(非常勤)	回答	158	522	158	517	505		
	割合	8.5%	28.1%	8.5%	27.8%	27.2%		
計	回答	645	2088	726	1796	2188		
	割合	8.7%	28.1%	9.8%	24.1%	29.4%		



IV-3	あなたが望む先生への質問方法は何ですか	専任教員	回答	①授業中の挙手	②授業後の質問タイム	③電子メール	④研究室などへの訪問	⑤授業中の質問メモの配布と回収
			割合	433	1218	1325	537	1321
講師(非常勤)	回答	211	383	400	158	425		
	割合	13.4%	24.3%	25.4%	10.0%	26.9%		
計	回答	644	1601	1725	695	1746		
	割合	10.0%	25.0%	26.9%	10.8%	27.2%		



IV-4	留学生だけに質問します。留学生からみて、この授業に必要なことは何ですか (留学生10名以上の科目のみ実施)	専任教員	回答	①ゆっくり話してほしい	②板書をふやしてほしい	③板書や教材の漢字にふりがなをつけてほしい	④日本語の書き方を教えてほしい	⑤試験前に質問の時間がほしい
			割合	100	75	122	82	159
講師(非常勤)	回答	22	16	27	13	33		
	割合	19.8%	14.4%	24.3%	11.7%	29.7%		
計	回答	122	91	149	95	192		
	割合	18.8%	14.0%	23.0%	14.6%	29.6%		



IV コース・分野・学科別集計

1. 商学部専門科目（コース別）

区 分	学 科	経 営			国際ビジネス	会 計	全 体
		経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス		
項 目	コ ー ス						
	科 目 数	32	19	12	27	39	129
I-1	平 均 値	4.62	4.64	4.71	4.53	4.66	4.62
	標準偏差	0.73	0.68	0.63	0.74	0.65	0.70
I-2	平 均 値	4.21	3.43	4.20	4.04	4.12	4.07
	標準偏差	1.07	1.36	0.98	1.11	1.07	1.12
I-3	平 均 値	1.68	1.76	1.74	1.80	1.77	1.75
	標準偏差	1.08	1.07	1.09	1.12	1.05	1.08
I-5	平 均 値	1.60	1.65	1.52	1.71	1.55	1.60
	標準偏差	1.12	1.15	1.07	1.18	1.03	1.11
II-1	平 均 値	3.98	3.74	3.99	3.91	3.91	3.93
	標準偏差	1.03	1.08	0.97	1.04	1.05	1.03
II-3	平 均 値	4.00	3.90	4.04	4.00	4.05	4.01
	標準偏差	0.93	0.97	0.88	0.91	0.90	0.91
II-5	平 均 値	3.94	3.86	4.02	3.98	4.00	3.97
	標準偏差	1.08	1.11	1.00	1.03	1.04	1.05
II-6	平 均 値	4.00	3.94	4.01	3.96	3.80	3.94
	標準偏差	1.00	1.03	0.99	1.01	1.11	1.03
II-7	平 均 値	3.92	3.89	3.85	3.98	4.10	3.95
	標準偏差	1.03	1.10	1.03	1.00	0.93	1.02
II-8	平 均 値	3.72	3.78	3.67	3.75	3.67	3.71
	標準偏差	1.05	1.06	1.00	1.06	1.06	1.05
II-9	平 均 値	3.72	3.55	3.72	3.75	3.56	3.68
	標準偏差	0.99	1.10	0.94	1.05	1.10	1.03
II-10	平 均 値	3.73	3.51	3.74	3.80	3.54	3.69
	標準偏差	0.99	1.11	0.98	1.04	1.08	1.04
III	平 均 値	3.91	3.70	3.86	3.92	3.77	3.85
	標準偏差	0.99	1.05	0.95	1.03	1.06	1.02

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平 均 値	3.44	3.55	3.52	3.48	3.60	3.51
	標準偏差	0.73	0.83	0.72	0.73	0.76	0.75
II-4	平 均 値	3.29	3.31	3.40	3.26	3.29	3.31
	標準偏差	0.66	0.76	0.67	0.60	0.66	0.66

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / コース	経 営	経営情報	流 通	国際ビジネス	会 計	全 体
1. 講義への興味	25.6	24.5	27.9	27.2	21.4	25.5
2. 教員にひかれて	11.0	9.2	9.6	9.2	9.5	9.9
3. 単位が必要	45.8	50.5	49.1	48.7	52.2	48.8
4. 単位取得が楽	2.7	2.4	1.5	3.3	1.4	2.3
5. 時間帯が空いている	14.9	13.4	11.9	11.7	15.4	13.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

2. 政経学部専門科目（分野別）

区分	分野	法律	政治	行政	経済	情報科目ほか	全体
設問	科目数	26	30	12	53	15	136
I-1	平均値	4.63	4.53	4.61	4.55	4.76	4.59
	標準偏差	0.67	0.73	0.70	0.75	0.51	0.72
I-2	平均値	4.09	4.06	4.10	4.07	3.23	4.04
	標準偏差	1.08	1.15	1.16	1.07	1.38	1.13
I-3	平均値	1.69	1.62	1.72	1.75	1.72	1.72
	標準偏差	1.03	1.01	1.08	1.08	1.06	1.06
I-5	平均値	1.49	1.45	1.48	1.49	1.48	1.48
	標準偏差	1.02	0.95	1.04	1.02	0.97	1.01
II-1	平均値	4.05	3.96	4.02	4.01	4.12	4.02
	標準偏差	0.95	1.04	1.01	0.98	1.00	0.99
II-3	平均値	4.03	4.15	4.08	4.07	4.17	4.08
	標準偏差	0.88	0.88	0.89	0.92	0.91	0.90
II-5	平均値	4.00	4.03	3.99	3.96	4.04	3.99
	標準偏差	1.03	1.06	1.08	1.09	1.01	1.07
II-6	平均値	3.98	4.00	4.08	4.00	4.07	4.01
	標準偏差	1.01	1.09	0.95	1.02	0.95	1.01
II-7	平均値	4.16	4.32	3.87	4.02	4.20	4.08
	標準偏差	0.96	0.86	1.10	0.99	0.96	0.99
II-8	平均値	3.70	3.60	3.73	3.85	3.84	3.77
	標準偏差	1.00	1.11	1.05	1.03	1.10	1.04
II-9	平均値	3.76	3.69	3.70	3.63	3.95	3.69
	標準偏差	0.93	1.03	0.98	1.03	0.95	1.00
II-10	平均値	3.87	3.78	3.75	3.71	3.70	3.76
	標準偏差	0.94	1.04	1.00	1.03	1.05	1.01
III	平均値	3.98	3.92	3.87	3.90	3.88	3.91
	標準偏差	0.95	1.01	1.02	1.00	1.04	1.00

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.53	3.51	3.51	3.55	3.46	3.53
	標準偏差	0.69	0.71	0.74	0.77	0.78	0.74
II-4	平均値	3.23	3.33	3.32	3.30	3.32	3.29
	標準偏差	0.62	0.67	0.69	0.65	0.79	0.66

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回答 / 分野	法律	政治	行政	経済	情報科目ほか	全体
1. 講義への興味	31.6	34.5	27.8	27.9	33.2	29.8
2. 教員にひかれて	12.6	11.8	11.0	10.9	7.1	11.3
3. 単位が必要	33.8	32.0	37.3	37.3	45.0	36.1
4. 単位取得が楽	1.8	1.9	3.5	4.5	5.0	3.4
5. 時間帯が空いている	20.1	19.8	20.4	19.5	9.7	19.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

3. 外国語学部専門科目（学科別）

区 分	学 科	英米語	中国語	スペイン語	自由科目	全 体
設 問	科目数	42	26	23	5	96
I-1	平均値	4.74	4.66	4.62	4.70	4.69
	標準偏差	0.57	0.70	0.66	0.52	0.63
I-2	平均値	3.85	4.17	4.11	3.65	3.98
	標準偏差	1.11	1.02	1.05	1.21	1.09
I-3	平均値	1.98	2.21	1.96	1.43	2.01
	標準偏差	1.01	1.25	1.03	0.98	1.09
I-5	平均値	1.32	1.82	1.73	1.32	1.55
	標準偏差	0.79	1.26	1.15	0.91	1.05
II-1	平均値	4.08	4.08	4.19	3.87	4.10
	標準偏差	0.98	1.03	0.93	1.07	0.99
II-3	平均値	4.21	4.22	4.25	3.98	4.21
	標準偏差	0.86	0.93	0.84	1.00	0.89
II-5	平均値	4.24	4.15	4.20	3.86	4.19
	標準偏差	0.93	0.99	0.97	1.05	0.97
II-6	平均値	4.22	4.01	4.14	3.82	4.12
	標準偏差	0.93	1.06	0.92	1.08	0.98
II-7	平均値	4.25	4.20	4.22	3.92	4.21
	標準偏差	0.89	0.91	0.88	0.98	0.90
II-8	平均値	4.15	3.98	4.10	3.58	4.06
	標準偏差	0.92	1.07	0.88	1.24	0.98
II-9	平均値	3.96	4.05	4.06	3.69	3.99
	標準偏差	0.94	1.01	0.93	1.11	0.97
II-10	平均値	3.90	3.86	3.98	3.58	3.89
	標準偏差	1.02	1.09	0.98	1.20	1.04
III	平均値	4.07	4.09	4.21	3.75	4.09
	標準偏差	0.99	1.04	0.89	1.07	0.99

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.38	3.52	3.39	3.35	3.42
	標準偏差	0.69	0.83	0.72	0.89	0.75
II-4	平均値	3.15	3.39	3.23	3.21	3.24
	標準偏差	0.55	0.74	0.60	0.71	0.64

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 学 科	英米語	中国語	スペイン語	自由科目	全 体
1. 講義への興味	24.3	18.4	22.1	22.1	22.1
2. 教員にひかれて	7.9	7.7	8.8	3.5	7.7
3. 単位が必要	57.0	65.1	55.2	54.0	58.5
4. 単位取得が楽	1.9	1.4	2.5	3.5	2.1
5. 時間帯が空いている	8.8	7.4	11.3	16.8	9.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

4. 工学部専門科目

(1) 実験・実習科目 (学科別)

区分	学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	専門基礎科目ほか	全 体
設 問	科目数	3	6	3	11	5	28
I-1	平均値	4.82	4.89	4.87	4.75	4.84	4.82
	標準偏差	0.45	0.40	0.42	0.54	0.55	0.49
I-2	平均値	2.91	3.30	3.60	3.94	4.10	3.68
	標準偏差	1.42	1.33	1.36	1.02	1.33	1.27
I-3	平均値	4.27	3.95	4.52	4.18	4.30	4.19
	標準偏差	1.09	1.20	0.72	0.91	1.12	1.02
I-4	平均値	3.70	4.06	4.15	4.03	4.37	4.07
	標準偏差	0.96	0.93	0.84	0.80	0.81	0.86
II-1	平均値	4.16	4.05	4.01	4.11	4.41	4.11
	標準偏差	0.89	1.07	0.99	0.93	0.76	0.97
II-4	平均値	3.82	3.70	3.30	3.67	3.73	3.64
	標準偏差	0.99	1.11	1.07	1.03	1.04	1.07
II-5	平均値	4.13	3.84	3.55	4.00	4.05	3.90
	標準偏差	0.86	1.08	1.12	0.96	0.96	1.03
II-6	平均値	4.07	3.78	3.73	3.98	4.13	3.91
	標準偏差	0.92	1.06	1.11	0.90	0.92	0.99
II-7	平均値	4.10	3.81	3.75	3.98	4.09	3.92
	標準偏差	0.88	1.07	1.03	0.93	0.93	0.99
II-8	平均値	4.03	3.79	3.77	3.96	4.30	3.93
	標準偏差	0.87	1.07	0.90	0.89	0.79	0.94
II-9	平均値	3.42	3.79	3.72	3.87	3.93	3.81
	標準偏差	1.08	1.10	0.93	0.95	0.84	0.99
II-10	平均値	3.60	3.79	3.91	3.99	4.00	3.91
	標準偏差	0.96	1.03	0.83	0.89	0.84	0.93
II-11	平均値	3.51	3.70	3.65	4.01	3.96	3.84
	標準偏差	0.97	1.07	1.02	0.91	0.85	0.98
III	平均値	3.75	3.83	3.69	3.94	3.99	3.87
	標準偏差	0.94	1.09	1.00	1.02	0.96	1.03

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.91	3.42	3.49	3.92	3.68	3.70
	標準偏差	0.73	0.83	0.84	0.72	0.68	0.80
II-3	平均値	3.37	3.23	3.27	3.73	3.14	3.45
	標準偏差	0.79	0.88	0.81	0.75	0.59	0.82

(注) : 「実験・実習用アンケート」で実施した演習等科目を含む。

(2) 学科・学科目別(講義科目)

区分	学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	専門基礎科目 ほか	全 体
設 問	科目数	15	17	22	9	24	87
I-1	平均値	4.70	4.70	4.60	4.67	4.76	4.68
	標準偏差	0.61	0.60	0.64	0.60	0.58	0.61
I-2	平均値	3.94	3.90	3.43	3.66	3.89	3.74
	標準偏差	1.05	1.05	1.26	1.22	1.23	1.20
I-3	平均値	1.78	2.35	1.77	1.95	1.94	1.94
	標準偏差	0.96	1.14	1.01	1.17	1.07	1.09
I-5	平均値	1.64	1.99	1.61	1.77	1.76	1.74
	標準偏差	1.05	1.19	1.04	1.21	1.17	1.13
II-1	平均値	3.92	4.03	3.72	4.03	3.83	3.89
	標準偏差	0.93	0.89	0.95	0.97	1.08	0.98
II-3	平均値	4.02	4.09	3.89	4.09	4.01	4.01
	標準偏差	0.86	0.88	0.86	0.86	0.91	0.88
II-5	平均値	4.03	4.09	3.79	3.98	3.84	3.93
	標準偏差	0.99	0.93	1.02	1.07	1.11	1.04
II-6	平均値	3.95	3.98	3.82	3.99	3.73	3.88
	標準偏差	1.00	0.94	0.98	0.98	1.07	1.00
II-7	平均値	4.05	4.02	3.75	3.84	3.90	3.90
	標準偏差	0.93	0.87	0.93	1.05	1.01	0.96
II-8	平均値	3.91	3.88	3.72	3.79	3.86	3.83
	標準偏差	0.95	0.95	0.96	1.00	1.05	0.99
II-9	平均値	3.42	3.65	3.30	3.83	3.48	3.51
	標準偏差	1.03	1.01	0.98	0.92	1.13	1.04
II-10	平均値	3.41	3.67	3.29	3.94	3.37	3.50
	標準偏差	1.01	0.99	1.01	0.99	1.10	1.05
III	平均値	3.73	3.87	3.56	3.96	3.61	3.72
	標準偏差	0.97	0.90	0.96	0.97	1.12	1.01

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.58	3.55	3.66	3.49	3.58	3.58
	標準偏差	0.74	0.78	0.76	0.72	0.83	0.77
II-4	平均値	3.25	3.28	3.32	3.38	3.43	3.33
	標準偏差	0.61	0.63	0.64	0.69	0.72	0.66

※I-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答/学科	機 械	電子システム	情 報	デザイン	専門基礎科目 ほか	全 体
1. 講義への興味	14.0	19.1	14.3	28.1	12.0	16.8
2. 教員にひかれて	8.5	6.1	6.8	10.6	4.2	7.1
3. 単位が必要	65.3	64.4	67.8	50.8	74.0	65.3
4. 単位取得が楽	3.0	3.4	1.2	2.8	1.8	2.3
5. 時間帯が空いている	9.3	7.0	9.9	7.6	7.9	8.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

5. 国際学部科目

(1) 英語群（配当学年、回答者の学年で分類）

区 分	回答者学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	1・2年配当 (1・2年)	1・2年配当 (3・4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科目数	11	0	3	0	6	2	0	20
I-1	平均値	4.83		4.88		4.67	4.00		4.78
	標準偏差	0.42		0.52		0.57	1.00		0.50
I-2	平均値	4.09		4.18		3.96	4.00		4.08
	標準偏差	1.11		1.04		1.07	0.00		1.10
I-3	平均値	2.10		2.04		1.96	2.50		2.13
	標準偏差	0.93		0.99		1.20	0.50		1.07
I-5	平均値	1.57		1.75		1.56	2.50		1.66
	標準偏差	1.01		1.03		1.09	0.50		1.10
II-1	平均値	4.15		4.24		4.17	4.00		4.17
	標準偏差	1.03		0.67		1.07	0.00		1.01
II-3	平均値	4.20		4.27		4.22	4.50		4.21
	標準偏差	0.95		0.72		1.02	0.50		0.94
II-5	平均値	4.34		4.39		4.26	3.50		4.33
	標準偏差	0.89		0.77		1.01	0.50		0.92
II-6	平均値	4.17		4.31		4.28	4.50		4.23
	標準偏差	1.03		0.73		0.92	0.50		0.96
II-7	平均値	4.36		4.35		4.19	5.00		4.31
	標準偏差	0.90		0.79		1.02	0.00		0.92
II-8	平均値	4.20		4.00		4.18	4.50		4.16
	標準偏差	0.95		0.93		1.04	0.50		0.99
II-9	平均値	4.39		4.24		4.15	4.50		4.31
	標準偏差	0.78		0.76		0.95	0.50		0.82
II-10	平均値	3.93		3.88		3.95	4.50		3.94
	標準偏差	1.03		0.90		1.14	0.50		1.04
III	平均値	4.28		4.20		4.16	4.50		4.23
	標準偏差	1.00		0.77		0.97	0.50		0.97

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	2.90		3.25		3.28	3.00		3.08
	標準偏差	0.75		0.68		0.91	0.00		0.82
II-4	平均値	2.96		2.98		3.17	3.00		3.04
	標準偏差	0.55		0.75		0.79	0.00		0.68

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (2年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	12.5		38.3		22.7	0.0		22.4
2. 教員にひかれて	10.2		8.3		9.1	0.0		9.6
3. 単位が必要	74.2		48.3		63.6	100.0		63.8
4. 単位取得が楽	1.6		0.0		1.1	0.0		1.3
5. 時間帯が空いている	1.6		5.0		3.4	0.0		2.9
合 計	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0

(2) 地域言語群 (配当学年、回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
設 問	科目数	18	8	18	7	3	39
I-1	平均値	4.87	4.75	4.60	4.21	5.00	4.72
	標準偏差	0.41	0.43	0.68	0.94	0.00	0.60
I-2	平均値	4.56	4.88	4.57	3.93	4.00	4.55
	標準偏差	0.65	0.33	0.64	1.03	1.41	0.68
I-3	平均値	2.06	2.75	2.06	2.50	2.00	2.09
	標準偏差	0.94	0.97	1.06	1.30	0.82	1.02
I-5	平均値	1.76	2.13	1.67	2.43	1.67	1.77
	標準偏差	1.24	1.69	1.14	1.40	1.49	1.24
II-1	平均値	4.41	4.25	4.31	3.93	4.83	4.35
	標準偏差	0.77	0.83	0.84	1.22	0.37	0.82
II-3	平均値	4.38	4.50	4.41	3.86	4.33	4.37
	標準偏差	0.76	0.50	0.78	1.19	0.94	0.79
II-5	平均値	4.49	4.75	4.39	4.21	4.40	4.43
	標準偏差	0.77	0.43	0.82	1.15	0.80	0.82
II-6	平均値	4.42	4.50	4.35	3.71	5.00	4.37
	標準偏差	0.82	1.00	0.85	1.28	0.00	0.86
II-7	平均値	4.52	4.50	4.51	4.14	5.00	4.50
	標準偏差	0.67	0.71	0.67	0.83	0.00	0.70
II-8	平均値	4.26	4.13	4.20	4.07	4.17	4.22
	標準偏差	0.80	0.78	0.93	0.96	0.90	0.87
II-9	平均値	4.26	4.38	4.06	3.79	4.50	4.15
	標準偏差	0.87	0.70	0.96	1.01	0.76	0.92
II-10	平均値	4.21	4.38	4.07	3.86	4.67	4.14
	標準偏差	0.84	0.48	0.98	0.99	0.47	0.92
III	平均値	4.47	4.00	4.39	4.00	4.83	4.41
	標準偏差	0.74	0.71	0.82	1.13	0.37	0.82

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.23	3.00	3.68	3.69	3.33	3.46
	標準偏差	0.64	1.00	0.70	0.72	0.47	0.71
II-4	平均値	3.20	2.88	3.43	3.43	3.00	3.30
	標準偏差	0.51	0.33	0.69	0.98	0.00	0.62

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年配当 (1年)	1年配当 (2～4年)	2年配当 (2年)	2年配当 (3・4年)	3・4年配当 (3・4年)	全 体
1. 講義への興味	41.7	50.0	38.6	46.2	45.5	40.4
2. 教員にひかれて	24.5	16.7	15.9	15.4	45.5	21.1
3. 単位が必要	29.7	8.3	42.9	38.5	0.0	34.5
4. 単位取得が楽	3.6	0.0	0.5	0.0	0.0	2.0
5. 時間帯が空いている	0.5	25.0	2.1	0.0	9.1	2.0
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(3) 基礎科目群 (回答者の学年で分類)

区 分	回答者の学年	1年	2年	3・4年	全 体
設 問	科目数	23	10	9	24
I-1	平均値	4.85	4.48	4.32	4.76
	標準偏差	0.46	0.76	0.88	0.58
I-2	平均値	3.73	3.85	3.88	3.76
	標準偏差	1.31	1.24	1.21	1.29
I-3	平均値	1.76	1.61	1.73	1.74
	標準偏差	1.07	0.99	1.09	1.07
I-5	平均値	1.69	1.41	1.83	1.68
	標準偏差	1.16	0.92	1.26	1.16
II-1	平均値	4.14	4.16	4.10	4.14
	標準偏差	0.97	0.98	1.12	0.99
II-3	平均値	4.21	4.20	4.10	4.19
	標準偏差	0.89	0.90	0.98	0.90
II-5	平均値	4.15	4.31	4.32	4.18
	標準偏差	1.00	0.99	0.97	0.99
II-6	平均値	4.10	4.22	4.07	4.11
	標準偏差	1.02	1.17	1.06	1.04
II-7	平均値	4.22	4.00	4.27	4.21
	標準偏差	0.92	1.12	0.98	0.95
II-8	平均値	3.79	3.85	3.93	3.81
	標準偏差	1.11	1.12	1.09	1.11
II-9	平均値	3.90	3.92	3.99	3.91
	標準偏差	1.02	1.00	0.99	1.02
II-10	平均値	3.82	3.94	4.10	3.86
	標準偏差	1.05	1.11	0.90	1.04
III	平均値	3.99	4.08	4.23	4.02
	標準偏差	1.01	1.13	0.99	1.02

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.40	3.37	3.36	3.39
	標準偏差	0.75	0.80	0.78	0.76
II-4	平均値	3.23	3.08	3.21	3.22
	標準偏差	0.62	0.49	0.65	0.62

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回 答 / 学 科	1年	2年	3・4年	全 体
1. 講義への興味	21.0	24.1	25.3	22.0
2. 教員にひかれて	6.2	19.0	16.9	9.4
3. 単位が必要	59.9	34.5	43.4	54.4
4. 単位取得が楽	3.8	8.6	1.2	3.9
5. 時間帯が空いている	9.1	13.8	13.3	10.3
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 専門共通科目 (回答者の学年で分類)

区分	科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
設問	科目数	14	21	22	23
I-1	平均値	4.84	4.58	4.36	4.69
	標準偏差	0.44	0.65	0.84	0.62
I-2	平均値	3.89	3.82	3.80	3.86
	標準偏差	1.20	1.28	1.23	1.22
I-3	平均値	1.77	1.94	1.70	1.79
	標準偏差	1.11	1.35	1.07	1.15
I-5	平均値	1.53	1.73	1.56	1.57
	標準偏差	1.03	1.31	1.06	1.09
II-1	平均値	4.13	4.31	4.24	4.18
	標準偏差	0.96	0.92	0.97	0.96
II-3	平均値	4.20	4.31	4.31	4.24
	標準偏差	0.90	0.87	0.88	0.90
II-5	平均値	4.11	4.29	4.35	4.19
	標準偏差	1.01	0.88	0.88	0.97
II-6	平均値	4.23	4.27	4.32	4.26
	標準偏差	0.91	0.93	0.90	0.91
II-7	平均値	4.20	4.25	4.43	4.26
	標準偏差	0.90	0.95	0.88	0.91
II-8	平均値	3.67	4.05	3.91	3.79
	標準偏差	1.16	0.98	1.08	1.12
II-9	平均値	3.94	4.10	4.19	4.02
	標準偏差	1.06	0.92	0.90	1.01
II-10	平均値	4.11	4.18	4.23	4.15
	標準偏差	0.99	0.94	0.84	0.95
III	平均値	4.13	4.20	4.32	4.18
	標準偏差	0.99	0.95	0.91	0.97

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.32	3.44	3.31	3.34
	標準偏差	0.72	0.74	0.67	0.72
II-4	平均値	3.19	3.23	3.21	3.20
	標準偏差	0.57	0.71	0.57	0.60

※I-4「受講動機」回答の分布(複数回答可)

単位：%

回答 / 科目区分	専門(1年)	専門(2年)	専門(3・4年)	全体
1. 講義への興味	52.1	34.1	26.3	43.2
2. 教員にひかれて	10.0	16.8	15.6	12.4
3. 単位が必要	26.0	31.5	40.0	30.0
4. 単位取得が楽	2.7	2.2	3.7	2.8
5. 時間帯が空いている	9.3	15.5	14.4	11.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 専門コース科目 (分野・細目で分類)

区分	科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		国際スポーツ		専門コース科目	
	科目数	12		12		10		6		7		11		8		36	
設問	学生所属	全体	主専攻	全体	主専攻	全体	主専攻										
I-1	平均値	4.41	4.22	4.42	4.38	4.46	4.42	4.47	4.65	4.52	4.69	4.42	4.51	4.43	4.48	4.46	4.46
	標準偏差	0.76	0.79	0.80	0.84	0.74	0.77	0.76	0.62	0.75	0.62	0.76	0.66	0.75	0.65	0.76	0.76
I-2	平均値	3.70	3.33	3.88	4.04	3.82	4.01	3.84	4.36	4.04	4.74	3.69	3.96	3.59	3.30	3.92	3.92
	標準偏差	1.16	0.94	1.13	1.06	1.14	1.00	1.24	0.82	1.23	0.64	1.21	1.29	1.33	1.38	1.18	1.18
I-3	平均値	1.79	2.06	1.91	1.98	1.70	1.72	1.83	2.78	1.65	1.82	1.76	1.65	1.55	1.61	1.83	1.83
	標準偏差	1.17	1.00	1.24	1.26	1.10	1.03	1.22	1.43	1.05	1.12	1.13	1.01	0.98	0.99	1.18	1.18
I-5	平均値	1.72	1.82	1.82	1.90	1.60	1.62	1.52	1.76	1.54	1.71	1.70	1.55	1.49	1.60	1.69	1.69
	標準偏差	1.28	1.15	1.34	1.38	1.17	1.12	1.09	1.30	1.04	1.09	1.23	0.91	1.02	1.04	1.20	1.20
II-1	平均値	4.14	4.18	4.02	4.02	4.28	4.60	4.08	4.59	4.00	4.37	4.25	4.47	4.02	4.29	4.18	4.18
	標準偏差	0.99	0.86	1.01	0.99	0.93	0.68	1.02	0.81	1.02	0.89	0.95	0.88	1.00	0.89	0.97	0.97
II-3	平均値	4.13	4.24	4.08	4.13	4.26	4.58	4.16	4.53	4.13	4.42	4.18	4.37	4.08	4.18	4.22	4.22
	標準偏差	0.95	0.73	0.97	0.96	0.92	0.68	0.92	0.77	0.94	0.84	0.90	0.80	0.92	0.84	0.91	0.91
II-5	平均値	4.14	4.47	4.02	4.04	4.28	4.58	4.15	4.33	4.07	4.23	4.23	4.51	4.14	4.28	4.19	4.19
	標準偏差	0.97	0.70	1.00	0.99	0.93	0.74	0.96	0.95	0.96	0.92	0.93	0.78	0.94	0.88	0.95	0.95
II-6	平均値	4.19	4.65	4.04	4.01	4.37	4.70	4.22	4.53	4.12	4.28	4.28	4.59	4.14	4.19	4.23	4.23
	標準偏差	0.95	0.48	1.01	1.04	0.87	0.58	0.96	0.87	1.00	1.02	0.92	0.74	0.95	0.92	0.96	0.96
II-7	平均値	4.15	4.41	4.07	4.13	4.36	4.67	4.16	4.40	4.15	4.43	4.26	4.67	4.16	4.34	4.26	4.26
	標準偏差	0.99	0.84	1.01	0.98	0.87	0.59	0.92	0.85	0.94	0.90	0.95	0.64	0.90	0.81	0.93	0.93
II-8	平均値	3.70	3.76	3.77	3.91	3.80	4.01	3.81	4.13	3.71	3.82	3.77	3.97	3.74	3.84	3.83	3.83
	標準偏差	1.08	1.26	1.07	1.02	1.10	1.04	1.11	1.05	1.12	1.09	1.08	1.11	1.10	1.06	1.08	1.08
II-9	平均値	3.89	3.94	3.85	3.89	4.13	4.53	4.03	4.51	4.01	4.36	3.95	4.20	3.98	4.27	4.06	4.06
	標準偏差	0.97	0.70	0.99	0.96	0.92	0.67	0.97	0.74	0.98	0.82	0.97	0.96	0.97	0.87	0.95	0.95
II-10	平均値	3.96	3.71	3.88	3.91	4.18	4.61	4.07	4.53	3.99	4.30	4.11	4.46	4.00	4.23	4.10	4.10
	標準偏差	1.00	0.82	1.01	1.01	0.97	0.70	1.00	0.79	1.01	0.93	0.94	0.78	0.99	0.90	0.98	0.98
III	平均値	3.97	3.88	3.96	4.04	4.21	4.64	4.12	4.60	4.11	4.47	4.11	4.45	4.05	4.29	4.17	4.17
	標準偏差	0.98	0.90	0.99	0.97	0.95	0.66	0.93	0.78	0.94	0.85	0.97	0.90	0.95	0.98	0.95	0.95

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.45	3.41	3.47	3.46	3.32	3.18	3.25	3.06	3.27	3.19	3.42	3.35	3.28	3.22	3.34	3.34
	標準偏差	0.73	0.60	0.77	0.77	0.68	0.58	0.70	0.67	0.71	0.68	0.71	0.56	0.68	0.64	0.71	0.71
II-4	平均値	3.24	3.00	3.28	3.28	3.17	3.09	3.15	3.14	3.17	3.21	3.25	3.20	3.13	3.09	3.20	3.20
	標準偏差	0.66	0.47	0.70	0.71	0.58	0.46	0.57	0.55	0.61	0.63	0.62	0.47	0.55	0.48	0.62	0.62

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 / 科目区分	国際協力		国際経済		国際政治		国際文化		国際観光		農業総合		国際スポーツ		専門コース科目	
1. 講義への興味	32.3	52.6	29.9	29.8	30.9	35.9	28.3	38.4	31.7	47.9	33.1	37.1	25.3	24.1	32.1	32.1
2. 教員にひかれて	11.5	0.0	13.6	17.6	16.9	26.9	14.7	18.6	12.4	15.4	16.3	24.8	15.8	22.2	16.5	16.5
3. 単位が必要	44.2	42.1	43.5	39.9	40.6	26.9	40.2	32.6	38.3	25.6	38.5	29.5	40.7	36.1	38.1	38.1
4. 単位取得が楽	2.3	0.0	2.2	2.3	2.5	3.0	5.8	3.5	5.6	2.6	1.9	0.0	6.2	5.6	3.3	3.3
5. 時間帯が空いている	9.7	5.3	10.8	10.4	9.1	7.2	11.0	7.0	12.0	8.5	10.3	8.6	12.0	12.0	10.1	10.1
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

6. 教養教育科目

(1) 講義科目 (群別)

項目	群	A系列	B系列	C系列	D系列	E系列	全体
	科目数	26	23	13	13	2	77
I-1	平均値	4.62	4.64	4.57	4.71	4.54	4.62
	標準偏差	0.73	0.68	0.75	0.61	0.78	0.71
I-2	平均値	3.92	3.71	3.82	3.79	3.60	3.82
	標準偏差	1.21	1.32	1.21	1.27	1.20	1.25
I-3	平均値	1.55	1.49	1.54	1.74	1.69	1.56
	標準偏差	1.05	0.94	0.98	1.14	1.19	1.04
I-5	平均値	1.46	1.45	1.45	1.59	1.51	1.47
	標準偏差	1.03	0.97	0.99	1.12	1.03	1.02
II-1	平均値	4.05	3.81	3.43	4.31	4.05	3.94
	標準偏差	0.98	1.12	1.17	0.91	0.98	1.06
II-3	平均値	4.12	3.98	3.74	4.30	4.12	4.06
	標準偏差	0.89	0.97	0.98	0.84	0.88	0.93
II-5	平均値	4.18	3.91	3.28	4.32	4.01	4.00
	標準偏差	0.94	1.14	1.24	0.90	0.94	1.07
II-6	平均値	4.08	3.92	3.59	4.14	4.15	3.99
	標準偏差	1.00	1.12	1.14	0.96	0.87	1.05
II-7	平均値	3.99	3.97	3.77	4.20	3.84	3.97
	標準偏差	1.00	1.05	1.10	0.91	1.01	1.02
II-8	平均値	3.68	3.59	3.42	3.99	3.69	3.66
	標準偏差	1.08	1.13	1.18	1.03	1.03	1.11
II-9	平均値	3.79	3.64	3.12	4.18	3.95	3.72
	標準偏差	1.02	1.06	1.14	0.86	0.91	1.06
II-10	平均値	3.92	3.76	3.29	4.13	4.01	3.83
	標準偏差	1.00	1.06	1.15	0.89	0.91	1.05
III	平均値	4.06	3.91	3.38	4.36	4.09	3.97
	標準偏差	0.94	1.05	1.15	0.79	0.85	1.01

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.35	3.37	3.75	3.24	3.15	3.38
	標準偏差	0.71	0.71	0.84	0.68	0.65	0.74
II-4	平均値	3.18	3.16	3.30	3.18	3.21	3.19
	標準偏差	0.59	0.57	0.74	0.52	0.62	0.60

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

回答 / 群	A系列	B系列	C系列	D系列	E系列	全体
1. 講義への興味	34.8	32.5	26.5	34.5	24.6	32.5
2. 教員にひかれて	5.4	4.9	5.1	12.2	5.0	5.9
3. 単位が必要	31.1	32.7	42.9	28.7	39.2	33.2
4. 単位取得が楽	7.8	4.7	3.9	8.0	9.6	6.7
5. 時間帯が空いている	20.9	25.1	21.6	16.7	21.6	21.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 外国語科目 (商・政経・外国語・工学部、12カ国語)

項目	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
	科目数	118	1		18	15	14	10	6	2	2	18	22	226
I-1	平均値	4.73	4.00		4.66	4.76	4.70	4.65	4.68	4.80	4.69	4.69	4.81	4.72
	標準偏差	0.57	0.82		0.66	0.56	0.59	0.64	0.63	0.40	0.58	0.60	0.46	0.58
I-2	平均値	3.90	4.67		4.27	4.45	4.25	4.32	4.43	3.80	4.34	4.34	4.40	4.10
	標準偏差	1.15	0.47		0.93	0.73	0.85	0.92	0.71	0.98	0.85	0.74	0.97	1.06
I-3	平均値	1.85	2.00		1.96	1.82	1.72	2.01	1.86	1.60	1.38	1.88	2.67	1.93
	標準偏差	1.01	0.82		1.04	0.94	0.90	0.93	0.97	0.49	0.60	0.92	1.26	1.04
I-5	平均値	1.49	1.00		1.49	1.48	1.49	1.61	1.22	1.20	1.31	1.39	2.52	1.57
	標準偏差	1.00	0.00		1.02	1.00	0.99	1.02	0.59	0.40	0.77	0.84	1.44	1.07
II-1	平均値	3.95	5.00		4.10	4.09	4.11	4.39	4.00	4.40	4.00	4.19	4.44	4.06
	標準偏差	1.01	0.00		0.93	0.92	0.89	0.76	0.88	0.80	1.06	0.85	0.81	0.96
II-3	平均値	4.02	4.33		4.17	4.15	4.09	4.31	4.18	3.00	3.84	4.30	4.40	4.11
	標準偏差	0.94	0.94		0.85	0.82	0.85	0.80	0.82	0.63	0.94	0.78	0.82	0.90
II-5	平均値	3.99	4.33		3.96	4.08	3.99	4.44	4.25	3.80	3.66	4.21	4.51	4.07
	標準偏差	1.04	0.94		1.08	0.97	1.01	0.85	0.95	0.75	1.34	0.93	0.75	1.02
II-6	平均値	3.98	3.67		3.91	4.10	4.02	4.30	4.20	4.00	3.75	4.23	4.38	4.04
	標準偏差	1.00	0.94		1.02	0.88	0.95	0.85	1.02	0.63	1.20	0.88	0.89	0.98
II-7	平均値	4.21	4.67		3.93	4.32	4.26	4.31	4.59	4.40	4.50	4.47	4.35	4.23
	標準偏差	0.88	0.47		1.02	0.83	0.79	0.90	0.55	0.49	0.79	0.72	0.87	0.89
II-8	平均値	3.92	5.00		3.94	3.99	4.03	4.11	3.67	3.80	3.44	4.20	4.32	3.99
	標準偏差	0.98	0.00		0.94	0.96	0.92	0.92	1.10	0.40	0.90	0.85	0.85	0.96
II-9	平均値	3.89	5.00		3.82	3.69	3.64	4.10	3.49	4.20	3.47	3.83	4.48	3.90
	標準偏差	0.97	0.00		0.95	0.99	0.99	0.91	1.14	0.40	1.09	0.94	0.71	0.97
II-10	平均値	3.63	5.00		3.59	3.72	3.63	4.04	3.71	4.60	3.53	3.77	4.32	3.72
	標準偏差	1.07	0.00		1.08	0.94	0.99	0.87	0.95	0.49	1.09	0.95	0.82	1.04
III	平均値	3.92	5.00		3.95	4.08	3.91	4.29	3.86	5.00	3.75	4.21	4.46	4.01
	標準偏差	1.03	0.00		0.98	0.92	1.00	0.84	1.05	0.00	0.94	0.86	0.75	0.99

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.33	3.33		3.56	3.69	3.75	3.42	3.88	3.20	3.50	3.61	3.21	3.43
	標準偏差	0.82	0.47		0.73	0.71	0.71	0.71	0.83	0.40	0.56	0.71	0.69	0.79
II-4	平均値	3.16	3.00		3.36	3.35	3.35	3.24	3.55	3.00	3.03	3.34	3.15	3.23
	標準偏差	0.64	0.00		0.71	0.62	0.65	0.62	0.67	0.00	0.47	0.62	0.51	0.64

※I-4「受講動機」回答の分布 (複数回答可)

単位：%

回答 /	外国語	英語	A語	B・P語	C語	F語	G語	K語	I・M語	I・P語	R語	S語	日本語	全体
1. 講義への興味	13.5	100.0			20.1	26.2	29.0	39.7	53.3	0.0	54.5	38.2	29.4	21.3
2. 教員にひかれて	6.1	0.0			7.1	9.9	6.2	6.6	4.4	0.0	0.0	5.9	17.6	7.7
3. 単位が必要	75.4	0.0			65.5	62.8	61.7	50.3	42.2	100.0	40.9	51.5	38.7	65.2
4. 単位取得が楽	2.1	0.0			2.9	0.0	2.5	1.3	0.0	0.0	0.0	2.9	8.2	2.8
5. 時間帯が空いている	2.8	0.0			4.4	1.2	0.6	2.0	0.0	0.0	4.5	1.5	6.0	3.0
合計	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注1. A語：アラビア語、B・P語：ブラジル・ポルトガル語、C語：中国語、F語：フランス語、
G語：ドイツ語、K語：韓国語、I・M語：インドネシア・マレーシア語、
I・P語：インド・パキスタン語 (実施科目なし)、R語：ロシア語、S語：スペイン語

(3) スポーツ・トレーニング科目

設 問	科 目 数	13
I-1	平均値	4.75
	標準偏差	0.54
I-2	平均値	4.26
	標準偏差	0.89
I-3	平均値	4.51
	標準偏差	0.72
II-1	平均値	4.45
	標準偏差	0.72
II-4	平均値	4.20
	標準偏差	0.90
II-5	平均値	4.63
	標準偏差	0.65
II-6	平均値	4.51
	標準偏差	0.71
II-7	平均値	4.52
	標準偏差	0.74
II-8	平均値	4.50
	標準偏差	0.71
II-9	平均値	4.48
	標準偏差	0.73
II-10	平均値	4.32
	標準偏差	0.78
II-11	平均値	4.44
	標準偏差	0.76
III	平均値	4.48
	標準偏差	0.75
IV-1	平均値	4.43
	標準偏差	0.83
IV-2	平均値	4.38
	標準偏差	0.92
IV-3	平均値	3.64
	標準偏差	1.27

※回答「3.0」が適切である項目

設 問	科 目 数	13
II-2	平均値	3.14
	標準偏差	0.59
II-3	平均値	3.05
	標準偏差	0.38

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

回 答	
1. 講義への興味	26.0
2. 教員にひかれて	7.1
3. 単位が必要	55.6
4. 単位取得が楽	2.0
5. 時間帯が空いている	9.2
合 計	100.0

(4) 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

区分	課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
設 問	科目数	25	7	4	29
I-1	平均値	4.67	4.79	4.72	4.67
	標準偏差	0.62	0.51	0.49	0.62
I-2	平均値	4.12	4.34	4.19	4.14
	標準偏差	1.05	0.84	0.98	1.04
I-3	平均値	1.66	1.66	2.04	1.69
	標準偏差	0.93	0.86	1.09	0.94
I-5	平均値	1.48	1.29	1.91	1.48
	標準偏差	0.99	0.69	1.44	0.98
II-1	平均値	4.33	4.21	4.55	4.25
	標準偏差	0.89	0.88	0.68	0.94
II-3	平均値	4.42	4.43	4.47	4.34
	標準偏差	0.77	0.72	0.74	0.80
II-5	平均値	4.33	4.39	4.62	4.33
	標準偏差	0.95	0.81	0.60	0.91
II-6	平均値	4.34	4.20	4.64	4.25
	標準偏差	0.90	0.91	0.63	0.94
II-7	平均値	4.53	4.53	4.64	4.41
	標準偏差	0.73	0.64	0.52	0.80
II-8	平均値	4.13	3.89	4.43	4.03
	標準偏差	0.99	1.05	0.84	1.02
II-9	平均値	4.04	3.80	4.30	3.92
	標準偏差	0.96	0.98	0.77	1.00
II-10	平均値	4.18	4.02	4.40	4.07
	標準偏差	0.91	0.87	0.64	0.94
III	平均値	4.30	4.11	4.57	4.19
	標準偏差	0.87	0.93	0.61	0.93

※回答「3.0」が適切である項目

II-2	平均値	3.36	3.44	3.17	3.43
	標準偏差	0.63	0.64	0.48	0.66
II-4	平均値	3.12	3.14	3.06	3.19
	標準偏差	0.51	0.47	0.38	0.55

※I-4「受講動機」回答の分布（複数回答可）

単位：%

回 答 / 課程・講座	教 職	社 教	日 語	全 体
1. 講義への興味	6.7	15.8	46.2	8.3
2. 教員にひかれて	0.6	11.4	6.2	0.9
3. 単位が必要	68.2	61.4	30.8	64.9
4. 単位取得が楽	8.3	0.9	3.1	8.1
5. 時間帯が空いている	16.2	10.5	13.8	17.8
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 「社教（社会教育主事講座）」7科目は、「教職（教職課程）」と重複する科目となる。

V 評価及び課題

1. 商学部

本学において「授業改善のための学生アンケート」を実施する目的は、今年度までは「教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること」とされている。来年度からは目的が改定され、「学修者本位の教育の質の向上を図るため、各教員が授業に対する学生の評価・意見を直接聞き、授業内容及び教育方法改善に反映させ、さらに学部・学科全体として、授業科目・教育課程の編成・実施に関する改善策の検討に役立てること」となる。

そこで、以下では2019(令和元)年度商学部「授業改善のための学生アンケート」(実施期間は2019(令和元)年6月17日～7月12日)に関して、教員の授業の改善に役立てること、本学の教育の質の向上を図ること、学部・学科全体として授業科目・教育課程の編成・実施に関する改善策の検討に役立てること、の3つの観点から評価し、課題等を洗い出してそれらを指摘していくことにする。

(1) 実施教員数・科目数・アンケート回答数等

商学部のアンケート実施対象となった専任教員数は46名、講師(非常勤)は112名であり、実施した専任教員は46名、講師(非常勤)は112名であり、実施率はどちらも100%であった。

商学部の実施科目数は専任教員91科目、講師(非常勤)168科目、合計259科目であった。アンケート回答数(延べ人数)は、商学部1年生3,333名、2年生2,704名、3年生2,532名、4年生1,255名、無回答17名、延べ9,841名であった。

学科目別実施科目数をみると、商学部専門科目127科目(合計129科目)、政経学部専門科目4科目(合計136科目)、国際学部専門科目2科目(合計58科目)、教養科目・総合教育科目23科目(合計102科目)、外国語科目90科目(合計285科目)、スポーツ・トレーニング科目2科目(合計13科目)、教職・社教・日語科目5科目(合計29科目)、ゼミ・外書講読6科目(合計24科目)であった。

以下では、商学部専門科目129科目に関して評価する。

(2) 学科目別、教員所属別(講義等科目)の平均値と標準偏差

表1は、商学部専門科目(129科目)、専任教員が担当している科目(91科目)、講師(非常勤)が担当している科目(166科目)に関して、平均値と標準偏差を整理したものである。なお、講師(非常勤)の実施科目は168科目だが、スポーツ・トレーニング科目(2科目)を除いているため集計では166科目となっている。

I-1 学生の出席状況(5の回答が適切)の平均値をみると、商学部専門科目4.62、専任教員が担当している科目4.66、講師(非常勤)が担当している科目4.65であり、非常に高い数値(好ましい数値)となっている。3つの平均値にほとんど差はない。ここ5年間の平

均値を時系列で比較すると、2015（平成 27）年度の 4.53 から微増傾向にある。

表 1 商学部専門科目、専任教員担当科目、講師（非常勤）担当科目の比較

	商学部専門科目 (129 科目)	商学部専任教員 (91 科目)	商学部講師(非常勤) (166 科目)
I-1 学生の出席状況 (5 の回答が適切)	平均 4.62 標準偏差 0.70	平均 4.66 標準偏差 0.66	平均 4.65 標準偏差 0.68
I-2 ノート・メモ (5 の回答が適切)	4.07 1.12	4.15 1.06	3.93 1.18
I-3 予習・復習 (5 の回答が適切)	1.75 1.08	1.77 1.09	1.81 1.07
I-5 質問 (5 の回答が適切)	1.60 1.11	1.59 1.09	1.61 1.11
II-1 狙いの明確さ (5 の回答が適切)	3.93 1.03	3.98 1.02	3.99 1.00
II-2 難易度 (3 の回答が適切)	3.51 0.75	3.50 0.74	3.47 0.77
II-3 講義要項との進み具合 (5 の回答が適切)	4.01 0.91	4.05 0.90	4.06 0.91
II-4 進度 (3 の回答が適切)	3.31 0.66	3.30 0.65	3.29 0.67
II-5 声の大きさ (5 の回答が適切)	3.97 1.05	4.03 1.02	4.03 1.02
II-6 教材等の効果 (5 の回答が適切)	3.94 1.03	4.00 1.00	3.96 1.03
II-7 教室内の雰囲気 (5 の回答が適切)	3.95 1.02	4.01 1.00	4.05 0.97
II-8 宿題・課題 (5 の回答が適切)	3.71 1.05	3.75 1.04	3.86 1.02
II-9 理解しやすさ (5 の回答が適切)	3.68 1.03	3.71 1.03	3.79 1.01
II-10 見方・考え方が深まる (5 の回答が適切)	3.69 1.04	3.75 1.03	3.71 1.04
III 満足度 (5 の回答が適切)	3.85 1.02	3.91 1.01	3.92 1.00

表2 商学部専門科目に関する平均値の時系列比較

	2019年度 (129科目)	2018年度 (126科目)	2017年度 (130科目)	2016年度 (143科目)	2015年度 (138科目)
I-1 学生の出席状況	平均 4.62	平均 4.59	平均 4.57	平均 4.58	平均 4.53
I-2 ノート・メモ	4.07	4.00	3.95	4.05	4.06
I-3 予習・復習	1.75	1.67	1.69	1.68	1.73
I-5 質問	1.60	1.57	1.55	1.57	1.60
II-1 狙いの明確さ	3.93	4.01	4.01	3.89	4.10
II-2 難易度	3.51	3.47	3.44	3.52	3.42
II-3 講義要項との進み具合	4.01	4.08	4.05	3.97	4.11
II-4 進度	3.31	3.26	3.26	3.31	3.24
II-5 声の大きさ	3.97	4.04	4.10	4.03	4.20
II-6 教材等の効果	3.94	4.02	4.07	3.94	4.13
II-7 教室内の雰囲気	3.95	4.05	4.01	3.92	4.13
II-8 宿題・課題	3.71	3.77	3.79	3.73	3.87
II-9 理解しやすさ	3.68	3.76	3.77	3.61	3.81
II-10 見方・考え方が深まる	3.69	3.76	3.77	3.67	3.85
III 満足度	3.85	3.98	3.98	3.82	4.06

表2は、商学部専門科目に関する5年間の平均値をまとめたものである。

I-2 ノート・メモ（5の回答が適切）の平均値をみると、それぞれ4.07、4.15、3.93である。やや講師（非常勤）が担当している科目の平均値が低いようである。ここ5年間の平均値は3.95から4.07で推移している。ただし、ノート・メモの紙媒体からパソコン、視聴覚機材といった媒体への変化が考えられる。従来型の「板書⇒ノート書き取りパターン」の学修スタイルが変わってきており、アンケート項目の見直しが必要となるのかもしれない。

I-3 予習・復習（5の回答が適切）の平均値をみると、1.75、1.77、1.81であり、かなり低い結果となっている。ここ5年間の平均値は1.67から1.75で推移しており、改善が見られていない。学生に予習・復習を促すことが、今後の商学部の教育に関する重要な課題である。至急、予習・復習を推進・徹底するような授業内容と教育方法の改善が必要である。

I-5 質問（5の回答が適切）の平均値をみると、1.60、1.59、1.61であり、低い結果となっている。ここ5年間の平均値も1.55から1.60で推移している。上の予習・復習の推進・徹底と同様、この項目も商学部の教育に関する重要な課題である。オフィスアワーのあり方を含んだ制度的な改革と、学生に質問の習慣を付けさせるようなアクティブラーニングを喚起する授業内容と教育方法の改善が必要となっている。

II-1 狙いの明確さ（5の回答が適切）の平均値をみると、3.93、3.98、3.99という結果になっている。ここ5年間の平均値は3.89から4.10で推移している。ただし、2019年度はやや

数値が悪化している。現在、「講義要項」の入力項目の見直しと同僚によるチェック体制の構築という改革で対応している。

Ⅱ-2難易度（3の回答が適切）の平均値をみると、3.51、3.50、3.47という結果になっている。ここ5年間の平均値は3.42から3.51で推移しており、おおむね適切であるという評価になっている。

Ⅱ-3講義要項との進み具合（5の回答が適切）の平均値をみると、4.01、4.05、4.06であり、ここ5年間の平均値は3.97から4.11で推移している。2019年度は数値がやや悪化している。この状況を専任教員と講師（非常勤）に公表し、個人レベルでの対応を求めていく。

Ⅱ-4進度（3の回答が適切）の平均値をみると、3.31、3.30、3.29という結果になっている。ここ5年間の平均値は3.24から3.31で推移しており、おおむね適切であるという評価になっている。

Ⅱ-5声の大きさ（5の回答が適切）の平均値をみると、3.97、4.03、4.03であり、ここ5年間の平均値は3.97から4.20で推移している。

Ⅱ-6教材等の効果（5の回答が適切）の平均値をみると、3.94、4.00、3.96であり、ここ5年間の平均値は3.94から4.13で推移している。2019年度は数値がやや悪化した。後述するように、やや経営学科で数値が低いようである。大規模教室での講義の数値が低いとも考えられる。この情報に関しても、教員に公表することにより個人レベルで対応を求めていく。

Ⅱ-7教室内の雰囲気（5の回答が適切）の平均値をみると、3.95、4.01、4.05であり、ここ5年間の平均値は3.92から4.13で推移している。2019年度は数値がやや悪化した。この情報に関しても、教員に公表することにより、死語の注意の徹底を図る等の個人レベルでの対応を求めていく。

Ⅱ-8宿題・課題（5の回答が適切）の平均値をみると、3.71、3.75、3.86であり、ここ5年間の平均値は3.71から3.87で推移している。2019年度は数値がやや悪化した。予習・復習はしないが、課題や宿題が出されれば提出するという傾向があるのか。この情報に関しても、教員に公表することにより個人レベルで対応を求めていく。

Ⅱ-9理解しやすさ（5の回答が適切）の平均値をみると、3.68、3.71、3.79であり、ここ5年間の平均値は3.61から3.81で推移している。2019年度は数値がやや悪化した。この情報に関しても、教員に公表することにより個人レベルで対応を求めていく。

Ⅱ-10見方・考え方が深まる（5の回答が適切）の平均値をみると、3.69、3.75、3.71であり、ここ5年間の平均値は3.67から3.85で推移している。2019年度は数値がやや悪化した。今年度は、組織的に、統性や順次性の再検討によるカリキュラム改革と履修モデルの見直しを行い、対応した。この情報に関しても、教員に公表して個人レベルでの対応を求めていく。

Ⅲ満足度（5の回答が適切）の平均値をみると、3.85、3.91、3.92であり、ここ5年間の平均値は3.82から4.06で推移している。2019年度は数値がやや悪化した。Ⅱ-10同様、組織的にはカリキュラム改革を実施して対応した。この情報に関しても、教員に公表して個人レベルでの対応を求めていく。

(3) 学科別の平均値

表3 学科別の平均値比較 2019年度

	経営学科 (回答件数 6, 295)	国際ビジネス学科 (回答件数 2, 351)	会計学科 (回答件数 1, 193)
I-1 学生の出席状況	平均 4.66	平均 4.60	平均 4.67
I-2 ノート・メモ	4.06	4.04	3.97
I-3 予習・復習	1.73	1.82	1.67
I-5 質問	1.55	1.67	1.47
II-1 狙いの明確さ	3.93	4.02	4.06
II-2 難易度	3.50	3.41	3.44
II-3 講義要項との進み具合	4.01	4.09	4.13
II-4 進度	3.30	3.22	3.20
II-5 声の大きさ	3.96	4.05	4.11
II-6 教材等の効果	3.96	4.02	4.05
II-7 教室内の雰囲気	3.98	4.10	4.11
II-8 宿題・課題	3.74	3.80	3.76
II-9 理解しやすさ	3.69	3.83	3.78
II-10 見方・考え方が深まる	3.70	3.81	3.75
III 満足度	3.88	3.97	3.98

表3は学科別の平均値をまとめたものである。

I-1 学生の出席状況については3学科とも高い値であり、大きな差はない。I-2 ノート・メモでは会計学科が他の学科に比べ若干低いものの概ね良好である。I-3 予習・復習、I-5 質問については3学科とも低い値となっている。これらの状況に対する改善策は2. で述べた通りである。

II-1 狙いの明確さ、II-5 声の大きさ、II-6 教材等の効果、II-7 教室内の雰囲気についてはやや経営学科の値が低い。II-2 難易度とII-4 進度については3学科とも妥当という評価になっている。II-3 講義要項との進み具合については3学科とも高い値である。

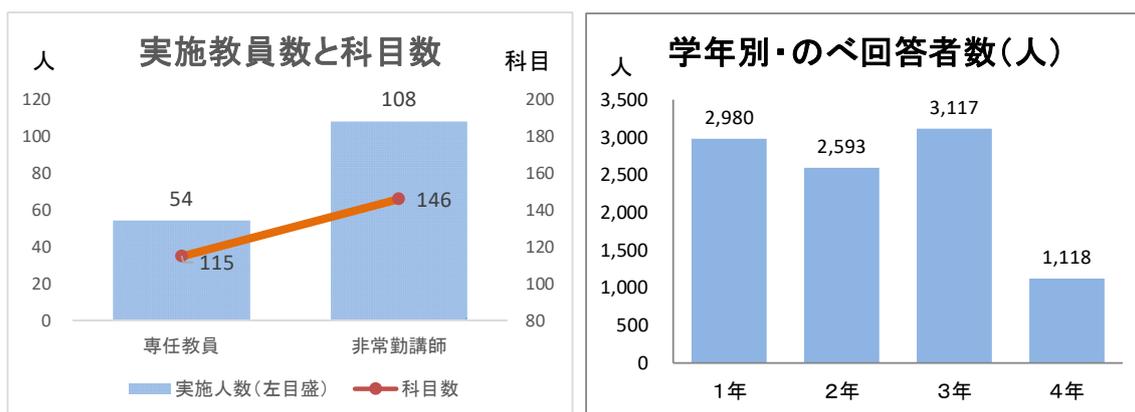
II-8 宿題・課題、II-9 理解しやすさ、II-10 見方・考え方が深まる、III 満足度については3学科間に大きな差はない。これらの状況に対する改善策は2. で述べた通りである。

2. 政経学部

(1) 実施状況－261科目について調査を実施

令和元年度「授業改善のための学生アンケート」は、令和元年6月17日から7月12日までの授業時間中に実施した。無記名アンケート（マークシート）を学生に配布し、記入回収した。政経学部には所属する専任教員54名および講師（非常勤）108名に協力依頼をし、全員からご協力を得た。対象科目は教員が任意に選定しており、専任教員が担当するもの115科目（1教員あたり平均2.1科目）、講師が担当するもの146科目（同1.4科目）であった。162名の教員から261科目に関する結果を得た。上記科目には外国語、教職ほかも含まれる。

アンケートの回答者数は、のべ人数ベースで1年生2,980名、2年生2,593名、3年生3,117名、4年生1,118名の合計9,839名（学年不明者31名を含む）である。1-3年生が多く4年生が少ない。昨年よりも3年生、4年生を中心に回答者数は1千名近く増えている。1科目あたりの回答数は37.7名（=9,839名÷261科目）である。なお、本調査は、昨年度には後期に実施したが、今年度は前期に実施している。



資料：令和元年度「授業改善のための学生アンケート」の結果をもとに作成

(2) アンケート項目

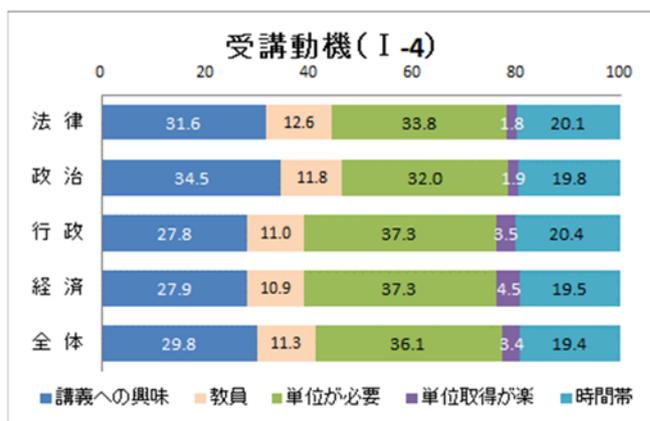
アンケート項目は表に示される通りであり、全部で20問を設問した。はじめに学生の出席態度について問い、続いて授業の進め方や内容に関して評価をさせ、総合的な満足度を問うた。さらに昨年度から学部独自設問として、4問を追加している

表 アンケート項目

I 受講する姿勢や動機について	
I-1	出席 (90%以上/80%以上/60%以上/40%以上/40%未満)
I-2	ノート (5段階評価、5が大、1が小)
I-3	予習復習 (4時間以上/2時間以上/1時間以上/30分以上/30分未満)
I-4	受講動機 (⑤興味/④教員/③単位が必要/②単位取得が楽/①時間帯)
I-5	授業時間以外での質問 (5段階評価、5が大、1が小)
II 授業の内容や進め方について	
II-1	授業の狙いや重要ポイントは明確か (5段階評価、5が大、1が小)
II-2	授業の難易度 (5段階評価、5が難しすぎる、1がやさしすぎる)
II-3	講義要項に沿った授業か (5段階評価、5が大、1が小)
II-4	授業の進捗 (5段階評価、5が速すぎる、1が遅すぎる)
II-5	話し方や声は聞き取りやすいか (5段階評価、5が大、1が小)
II-6	教材は内容理解に有効か (5段階評価、5が大、1が小)
II-7	教室内の雰囲気 (5段階評価、5が大、1が小)
II-8	宿題・課題は適切か (5段階評価、5が大、1が小)
II-9	内容は理解できたか (5段階評価、5が大、1が小)
II-10	ものの見方や考え方は深まったか (5段階評価、5が大、1が小)
III 総合的な満足度 (5段階評価、5が大、1が小)	
IV 政経学部による独自設問 (IV-4については留学生20名以上の科目のみ)	
IV-1	満足度 (選択式: 勉強したい内容、分かりやすい、ラク、宿題やテスト、時間帯)
IV-2	自分がすべきこと (選択式: 出席、聴講、宿題、復習、試験対策)
IV-3	質問方法 (選択式: 挙手、質問タイム、電子メール、研究室訪問、質問メモ)
IV-4	留学生の希望 (選択式: ゆっくり、板書、ふりがな、書き方指導、質問時間)
その他: 自由意見	

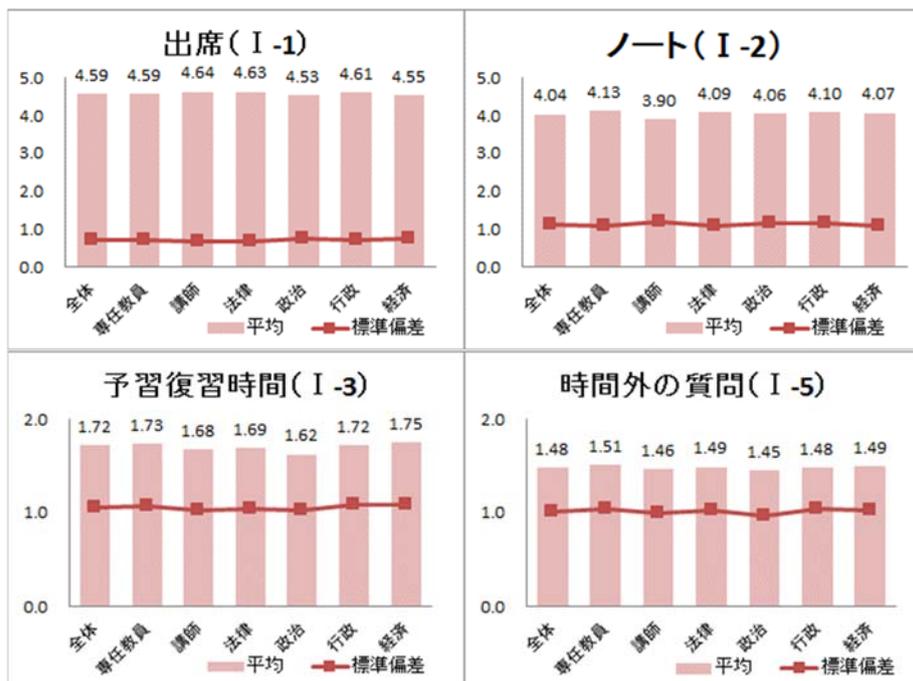
(3) 専門科目に関する集計結果－受講する姿勢や動機

以下では、政経学部における設置科目のうち専門科目に関する回答を見ていく。136科目について回答を得ている。設問I-4では受講動機について質問したが、「単位が必要」(36%)、「講義に興味がある」(30%)、「時間帯が空いている」(19%)が多く、「単位取得が楽」(3%)は少なかった。専門科目の分類(法律、政治、経済)別にみても回答は類似している。図には示さないが、回答傾向を昨年アンケートと比べると「時間帯が空いている」が減少する一方で、「講義に興味がある」が増えている。



資料: 令和元年度「授業改善のための学生アンケート」の結果をもとに作成

設問 I-1 では、出席状況について問うた。回答平均は 4.6 でありこれは出席率が 90%弱であることを意味する。標準偏差は 0.7 なので回答者の出席状況は総じて高いと判断される。設問 I-2 では、ノートの筆記の有無を設問した。回答平均は 4.0 であり、多くの学生は教員による口頭の説明や板書をノートに筆記している。設問 I-3 では、予習や復習に充てる時間について尋ねた。全体平均は 1.7 であり、これから逆算すると、1 講義あたりの予習復習は 30 分程度であり少ない。設問 I-5 は、授業時間外での先生への質問の有無である。全体平均は 1.5 に留まり、多くの学生は時間外の質問をしていない。これらの回答傾向は、いずれも昨年とほぼ同じであり、学修状況には大きな変化がなかったことが窺える。



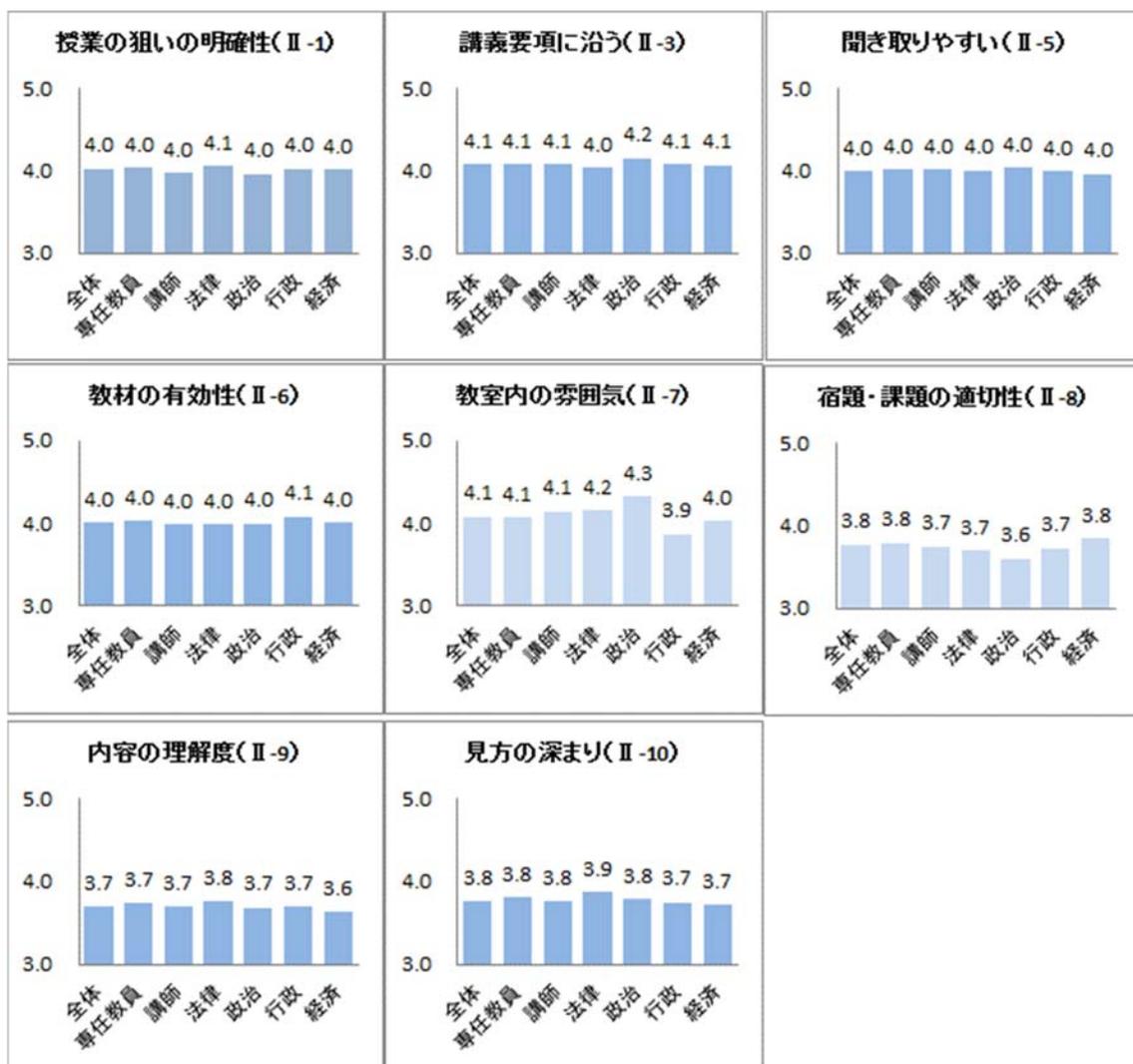
注 1：縦軸の数値は回答項目 (1-5) の平均値、数値が大きいほど好ましい傾向を意味する。

注 2：全体は総平均 (科目別の平均値をさらに集計したもの)、専任教員、講師は担当する教員タイプ、法律、政治、行政、経済は専門科目のタイプを示す。

資料：令和元年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

(4) 専門科目に関する集計結果—授業の内容や進め方に関する評価

設問 II-1 から設問 II-10 では、授業の各側面について学生から評価を得た。回答平均は 4.0 前後なので「そう思う」と考える学生が多かったことが見てとれる。担当講師のタイプ (専任教員/講師)、専門科目のタイプ (法律/政治/行政/経済) の差異はほとんど無く、学生からの評価は同じである。設問別にみても差異は少ないが、良いものとしては、「授業の狙いの明確性」「講義要項に沿っている」「聞き取りやすい」「教材の有効性」「教室の雰囲気」があり、不足するものには「宿題・課題の適切性」「内容がよく理解できた」「ものの見方や考え方が深まった」がある。これらの傾向も昨年に同じである。講義内容は評価しているが、学生自身が理解度や見方が深まったと感じる傾向はやや低い。



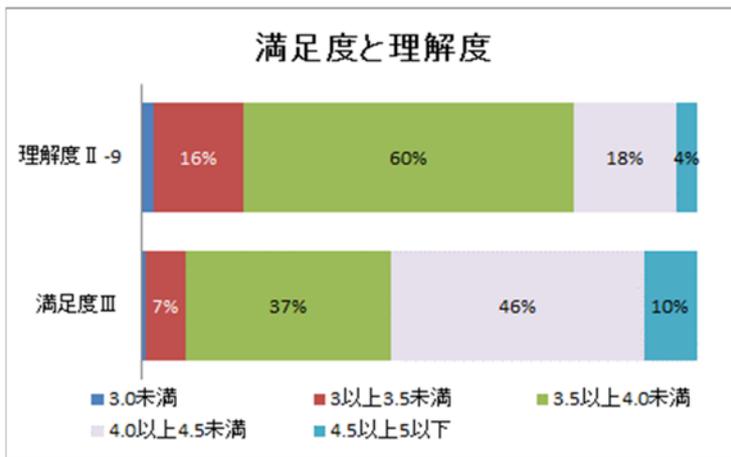
注1：縦軸の数値は回答項目（1-5）の平均値、数値が大きいほど好ましい傾向を意味する。

注2：全体は総平均（科目別の平均値をさらに集計したもの）、専任教員、講師は担当する教員タイプ、法律、政治、行政、経済は専門科目のタイプを示す。

資料：令和元年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

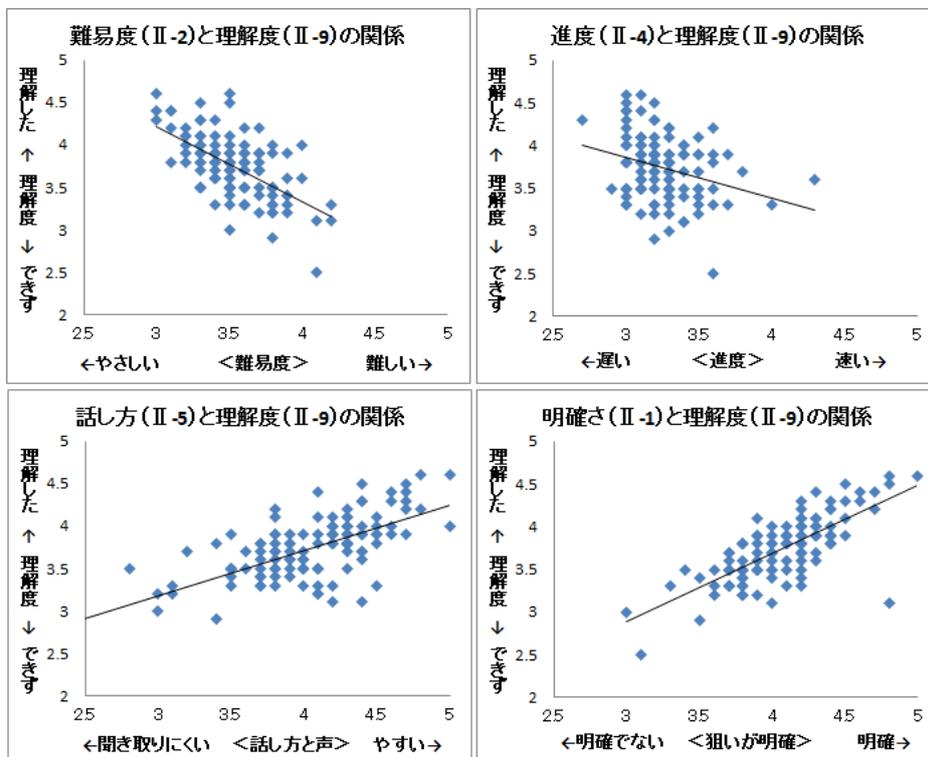
設問Ⅱ-9では「内容はよく理解できましたか」と質問した。ポイントが4以上であることは、当該科目において「強く思う」「そう思う」という回答が多かったことを意味するが、このような科目が総科目数に占める割合は2割強である。続いて当該科目のポイントが3以上4未満であることは「どちらとも言えない」とする回答が多かったことを意味するが、これが総科目数の6割を占めている。理解できないことは無いが十分に分かったわけでもなさそうである。

設問Ⅲでは「総合的に見て、この授業に満足していますか」と満足度を尋ねた。満足度の平均が4.0以上であった科目が全体の56%を占めている。多くの学生が授業に満足したことに「5：強く思う」「4：そう思う」と回答しなくては、科目における平均が4.0以上になることはないので、満足度が高い科目が多かったことが分かる。



注：専門科目に関する集計結果。科目ごとの平均点の分布を示した。
資料：令和元年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

「授業の理解度」について、それぞれ「授業の難易度」（設問 II-2）、「授業の進度」（設問 II-4）、「話し方」（設問 II-5）、「講義の狙いの明確さ」（設問 II-1）との散布図を作成してみた。授業が難しかったり、進度が速いと理解度が低下し、分かりやすい話し方や講義の狙いの明確性は、理解度を上昇させる傾向にある。



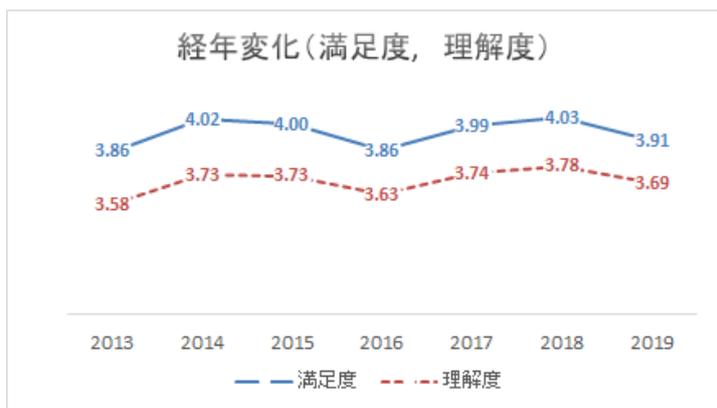
注 1：「授業の難易度」「授業の進度」「話し方と声」「講義の狙いの明確さ」について、それぞれ「授業の理解度」との相関図を作成したもの

注 2：専門科目に関する集計結果

資料：令和元年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

(5) 満足度ほかの経年変化

本年度(2019年)のアンケート結果を過去値と比較する。満足度(設問Ⅲ)については、過去7年間において3.9ないし4.0という平均値で推移しておりほぼ一定している。本年値は3.9とやや低下しているが、標準偏差は1.0なので満足度が有意に低下したとは言うのは早計である。理解度(Ⅱ-9)についても、やや減少しているがその程度は僅かである。

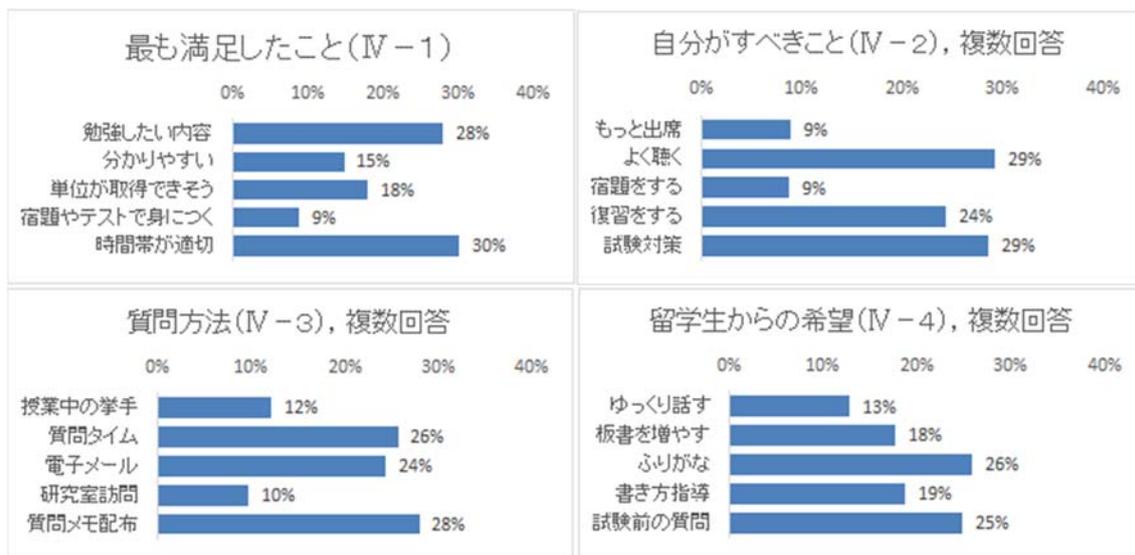


注：専門科目に関する集計結果

資料：平成25年度・令和元年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

(6) 政経学部による独自設問における回答結果

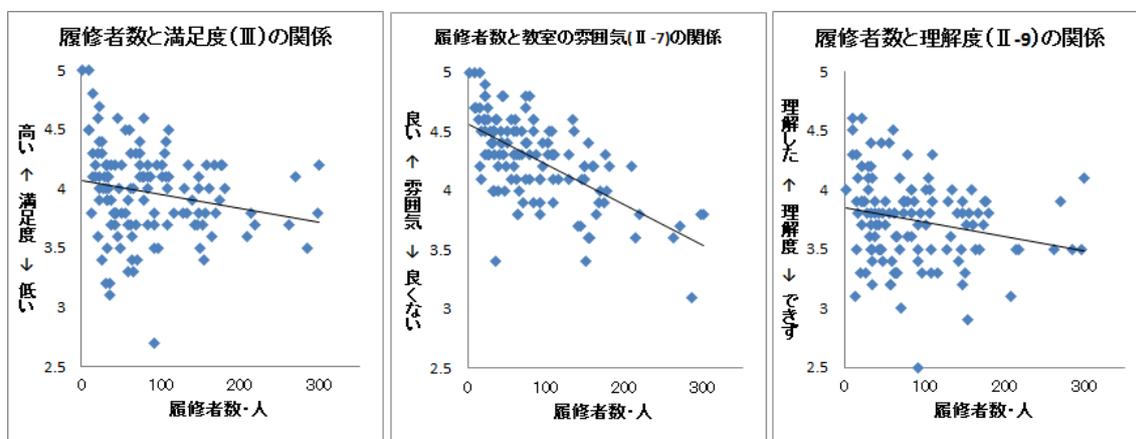
設問Ⅳ-1では、満足度の内容について具体的に尋ねた。「時間帯が適切」30%、「勉強したい内容」28%が上位にあることは昨年に同じであった。設問Ⅳ-2では、学生自身が取り組むべきことについて尋ねた。「授業をよく聴く」29%、「試験対策」29%「復習する」24%が多い。設問Ⅳ-3では、希望する教員への質問方法について尋ねた。「質問メモの配布」28%、「講義後の質問タイム」26%、「電子メール」24%が多い。設問Ⅳ-4は、留学生だけに質問した。「板書、教材へのふりがな」26%、「試験前の質問」25%が望まれている。



注：科目ごとに回答率を算出し、それらの総平均から全体傾向（専門科目のみ）を求めている。
資料：令和元年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

（7）いくつかの話題：履修人数と満足度の関係など

科目ごとに履修人数と満足度（Ⅲ）、教室の雰囲気（Ⅱ-7）、理解度（Ⅱ-9）の関係をプロットしてみた。履修人数が増えるにつれて、満足度の低下、教室内の雰囲気の悪化（私語等）、理解度の低下が引き起こされている。履修人数を70人未満グループと70人以上グループに2分したうえで、上記指標の平均値のグループ間差異に関するt検定を実施したところ、帰無仮説「差異が無い」は、満足度については有意水準5%、教室内の雰囲気については有意水準1%、理解度については有意水準15%で棄却されている。履修者数が多い講義室における講義運営の困難さが窺える。



資料：令和元年度「授業改善のための学生アンケート」結果をもとに作成

（8）今後の課題

本年度アンケートは過去傾向と同じであり、概ね満足すべき状況にあることを把握した。教員各位のご尽力の賜物であると深く感謝する次第である。また、昨年度から学部独自設問を追加したが、学生たちの授業への要望を把握することができた。一方、一部の学生は講義科目の選択において時間帯を重視していること、理解度が低下しがちな科目においては共通する問題点が存在することなどが把握された。これらの諸問題がよく理解され、今後の授業改善に結びつけられることが期待される。

3. 外国語学部

(1) 実施状況について

今年度「授業改善のための学生アンケート」を実施した外国語学部教員は、専任教員（特別非常勤講師を含む）が 42 名、講師（非常勤）が 43 名、実施率は、専任教員・講師（非常勤）ともに 100%であった。例年、100%あるいは 100%に近い実施率が続き、外国語学部教員の中に F D 活動への積極的な意識が根付いていると言える。

外国語学部の実施科目数は、専任教員は 76 科目、講師（非常勤）は 68 科目で、合計 144 科目であった。その内訳は、政経学部専門科目が 1 科目、外国語学部専門科目が 96 科目、教養科目・総合教育科目が 12 科目、外国語科目が 24 科目、教職・社教・日語科目が 5 科目、ゼミ・外書講読が 6 科目の合計 144 科目である。

アンケート回答数（延べ人数）は、1 年生が 992 名、2 年生が 889 名、3 年生が 552 名、4 年生が 147 名、無回答（学年・学科を記していないもの）が 39 名で、合計 2,619 名であった。

(2) 集計結果とその分析

① 学科目別（講義等科目） 平均値・標準偏差

大学全体の集計結果と比較しながら、外国語学部の集計結果を見ていく。

「外国語学部専門科目」に対する評価を設問項目別に数値で見えていくと、次のようなことがわかる。

I-1「学生の出席状況」の平均値は 4.69 で、大学全体の平均値である 4.64 を上回っている。昨年の 4.66 より学生の出席率が高くなっているといえる。

I-2「ノート・メモ」の平均値は 3.98 で、大学全体の平均値 3.98 と同じ数値を示している。

I-3「予習・復習」の平均値は 2.01 で、大学全体の平均値 1.80 を上回っている。昨年の 2.02 とほぼ同じ数値であるが、外国語の習得に必要な時間数としては十分とはいえない。

I-5「質問（オフィスアワー等）」は 1.55 で、大学全体の平均値 1.58 をやや下回っている。外国語学部の専門科目において、オフィスアワーも活用しようという姿勢がやや減少している。

II-1「狙いの明確さ」は 4.10 で、昨年の 4.15 よりやや下回っている。大学全体の平均値 4.01 より上回るが、専門科目の中で最も高いとは言えない。

II-3「講義要項との進み具合」は 4.21 で、昨年の 4.19 よりやや上回り、大学全体の平均値 4.09 よりも大きく上回っている。昨年に引き続き、学生の満足度が高いともいえるだろう。

II-5「声の大きさ」は 4.19 で、昨年の 4.26 より下回るが、大学全体の平均 4.04 よりは

上回る。

II-6「教材等の効果」は4.12で、昨年度の4.18より下回るが、大学全体の平均値4.03より上回っている。外国語学部の教員全体が真摯に教材を用いて授業をする姿がうかがえる。

II-7「教室内の雰囲気」は4.21で、大学全体の平均値4.08より上回っている。昨年の4.22よりやや下回っているが、良好な環境の中で授業が行われていることがわかる。

II-8「宿題・課題」は4.06で、大学全体の平均値3.82に比較すると高く、学生の授業外学習を促す授業デザインとなっている。

II-9「理解しやすさ」は3.99で、昨年の数値4.07よりも下回るが、大学全体の平均値3.77よりも高い数値を保持しており、学生の理解がしやすいように授業運営がなされていることがわかる。

II-10「見方・考え方が深まる」は3.89で、昨年の数値3.93より下回るが、大学全体の平均値3.78より高い。役に立つと思われる授業であるといえる。

III「満足度」は4.09で、昨年の数値4.16より下回るが、大学全体の平均値3.95より高く、外国語学部の専門科目において満足度が高い授業がなされているといえる。

II-2「難易度」とII-4「進度」は、上記の項目と異なり、評価が3になる回答が好ましいと判断されるが、それぞれ、3.42と3.24であり、大学全体の平均値がそれぞれ3.46と3.26であることに比較すると3に近い良好な数字となっている。

以上の集計結果により、外国語学部の教育にとって特に重要だと思われる項目、「狙いの明確さ」「講義要項との進み具合」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「宿題・課題」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」などは、学生たちからかなり高い評価を受けているが、昨年と比較してやや数値が下降している項目もある。

また、外国語においては0スタートや、その外国語についてバックグラウンドを持つなど様々なレベルの学生がいるため、高い評価を受けるのが難しいと思われる「難易度」についても、概ね良好な評価を得ている。

総合評価とも言える「満足度」は4.09で、昨年度の4.16よりやや下回っている。教員としては総合的な指標となる「満足度」を上げる努力を続けていくことが求められる。

②教員所属別評価

[専任教員に対する評価]

専任教員（教授、准教授、助教、特別非常勤講師）に対する評価では、I-1「学生の出席状況」が4.74(全体4.64)、I-2「ノート・メモ」が4.08(全体3.98)、I-3「予習・復習」が2.14(全体1.80)、I-5「質問（オフィスアワー等）」が1.66(全体1.58)、II-1「狙いの明確さ」が4.24(全体4.01)、II-3「講義要項との進み具合」が4.31(全体4.09)、II-5「声の大きさ」が4.27(全体4.04)、II-6「教材等の効果」が4.25(全体4.03)、II-7「教室内の雰囲気」が4.31(全体4.08)、II-8「宿題・課題」が4.14(全体3.82)、II-9「理解しやすさ」が4.12(全体3.77)、II-10「見方・考え方が深まる」が4.03（全体3.78）、III「満足度」が4.23（全

体 3.95) であり、全ての項目で平均値を超えており、いずれの項目も、昨年度の数值より上回っている。外国語学部の専任教員に対する評価は高いといえる。

また、3 の回答が適切であるという II-2「難易度」と II-4「進度」は、それぞれ 3.39(全体 3.46)、3.24(全体 3.26)であり、大学全体の中で外国語学部の専任教員が最も 3 に近く、学生の教員に対する満足度がかなり高いといえる。

[講師（非常勤）に対する評価]

外国語学部の講師(非常勤)に対する評価では、I-1「学生の出席状況」が 4.64(全体 4.64)、I-2「ノート・メモ」が 3.93(全体 3.98)、I-3「予習・復習」が 1.65(全体 1.80)、I-5「質問（オフィスアワー等）」が 1.41(全体 1.58)、II-1「狙いの明確さ」が 3.98(全体 4.01)、II-3「講義要項との進み具合」が 4.08(全体 4.03)、II-5「声の大きさ」が 4.06(全体 4.04)、II-6「教材等の効果」が 4.02(全体 4.03)、II-7「教室内の雰囲気」が 4.05(全体 4.08)、II-8「宿題・課題」が 3.86(全体 3.82)、II-9「理解しやすさ」が 3.83(全体 3.77)、II-10「見方・考え方が深まる」が 3.76(全体 3.78)、III「満足度」が 3.97(全体 3.95)であり、「講義要項との進み具合」「声の大きさ」「宿題・課題」「理解しやすさ」の項目で平均値を上回っていた。

また、3 の回答が適切であるという II-2「難易度」と II-4「進度」は、それぞれ 3.39(全体 3.46)、3.18(全体 3.26)であり、「難易度」「進度」については大学全体の平均とほぼ同じである。

講師（非常勤）の授業への評価は専任教員の授業への評価よりも低い位置にあるが、大学全体の平均値を上回る項目が昨年と同様にある。今後も、専任教員と講師（非常勤）は連携を密にしながら、より効果的な外国語教育ができるよう、さらに努力を重ねていかなければならないだろう。

③学生所属別評価（講義科目）

学科別の分析

講義科目に関する学生アンケートの回答を学科別に取り上げる。

I-1「学生の出席状況」

学科別の平均値は、英米語 4.73、中国語 4.65、スペイン語 4.66 で、英米語は全体の平均 4.64 を上回るが、中国語とスペイン語は全体の平均とほぼ同じ数値を示している。外国語習得のためには更なる積極的な出席を期待したい。

I-2「ノート・メモ」

学科別の平均値は、英米語 3.97、中国語 4.07、スペイン語 3.98 で、概ね高い数値である。外国語学部は会話の授業など、ノートやメモを取らない授業もあるので一概に必要なとは

言えないが、講義形式の授業においては適切に取るように教授する必要がある。

I-3 「予習・復習」

学科別の平均値は、英米語 1.82、中国語 2.05、スペイン語 1.83 で、全ての学科が全体の平均 1.80 より上回る。外国語学部の学生たちは、言語習得といった他学部の学生たちよりずっと予習・復習に時間をかけなければならないため、学習時間的に不十分な学生も多々いるため今後とも見守っていく必要がある。

I-5 「質問（オフィスアワー等）」

学科別の平均値は、英米語 1.31、中国語 1.73、スペイン語 1.59 だった。他項目の回答結果と比較すると、いずれもそれほど高くない。英米語学科は大学全体の平均値 1.58 より低くなっているが、オフィスアワーではなく、授業内もしくは授業直後に質問する学生が多いからであろう。

II-1 「狙いの明確さ」

英米語 4.10、中国語 4.00、スペイン語 4.04 で、英米語とスペイン語は大学全体の平均値 4.00 を上回っているが、中国語は平均と同じ。授業計画に沿った運営がなされるよう、引き続き確認していきたい。

II-3 「講義要項との進み具合」

昨年度も英米語 4.16、中国語 4.21、スペイン語 4.30 と高い数値であったが、今年度も英米語 4.23、中国語 4.17、スペイン語 4.16 で、スペイン語は大学全体の平均値 4.09 を大きく上回り、講義要項に沿った進み方をしていると言える。

II-5 「声の大きさ」

毎年、外国語学部が外国語という音声面にも力を入れる科目を有するために、特に高い評価を受けている項目である。今年度も、英米語 4.22、中国語 4.08、スペイン語 4.09 で、大学全体の平均値 4.04 よりもどの学科も上回る。

II-6 「教材等の効果」

この項目も、外国語学部の三学科は毎年比較的高い評価を受けている。今年度は、英米語 4.17、中国語 4.00、スペイン語 4.09 だった。大学全体の平均値 4.03 を上回るのは英米語学科とスペイン語学科である。

II-7 「教室内の雰囲気」

この項目も、毎年良い評価が得られている。今年度は、英米語 4.21、中国語 4.12、スぺ

イン語 4.07 であり、大学全体の平均値 4.08 よりほぼ上回っているが、スペイン語学科は昨年度をやや下回っている。

II-8 「宿題・課題」

英米語 4.08、中国語 3.87、スペイン語 3.98 で、全ての学科で大学全体の平均値 3.82 を上回るという結果であった。語学学習という毎日の積み重ねが必要な科目を主要科目として有する外国語学部としては、今後も宿題・課題の量や、その内容も精査していく必要があるだろう。

II-9 「理解しやすさ」

この項目でも、外国語学部は毎年比較的高い評価を受けている。今年度の平均値は、英米語 3.95、中国語 3.87、スペイン語 3.99 だった。大学全体の平均値 3.77 をいずれも上回る。外国語学部の各教員が創意工夫を凝らし、適切に教授していることを表す。

II-10 「見方・考え方が深まる」

学科別の平均値は、英米語 3.91、中国語 3.76、スペイン語 3.83 で、英米語とスペイン語は大学全体の平均値 3.95 よりやや下回っている。今後、言語の知識やスキルのみではなく、扱う内容への理解が深まるような授業プランを期待したい。

III 「満足度」

この項目もここ 5 年安定して高い評価が得られている。今年度の学科別の平均値は、英米語 4.08、中国語 4.00、スペイン語 4.07 だった。今年度は英米語学科、スペイン語学科の満足度が昨年度、一昨年度に続き高い。「満足度」という項目は、授業に対する総合評価でもあるので、外国語学部の教育は学生たちから概ね良い評価を得ている。

II-2 「難易度」

3 に近いほど良い値だと言われているこの項目における今年度の学科別の平均値は、英米語 3.38、中国語 3.55、スペイン語 3.34 だった。最も適切だと考えられる数値 3 から大きく逸脱しない結果となり、三学科とも概ね良好な評価を得ている。

II-4 「進度」

3 に近いほど良い値だと言われているこの項目における今年度の学科別の平均値は、英米語 3.17、中国語 3.39、スペイン語 3.19 だった。最も適切だと考えられる数値 3 に近く、全国平均 3.95 に比して、三学科とも良好な評価を得ている。

④ 学科目別の回答分析

外国語学部専門科目に対する回答の分析

各設問に対し、学生たちは①～⑤の段階で評価している（最高値は⑤、ただし「難易度」と「進度」は③が適切とされる）。どの項目で、満足のいく数値⑤や④が多くつけられているだろうかについて中心に見ていく。

I-1「学生の出席状況」は、⑤が 75.91%と最も多く、次いで④の 18.17%となっている。

I-2「ノート・メモ」は、⑤が 40.76%と最も多く、次いで④の 30.86%となっている。

I-3「予習・復習」は、①が 42.37%と最も多く、次いで②の 27.92%となっており、④は 5.82%、⑤は 3.77%と値が低い。予習・復習をしないで授業に臨む学生が多いことがわかる。

I-4「受講した動機」は、③「単位が必要だから」が 58.52%と最も多く、次いで⑤「時間帯が空いている」の 22.15%となっている。必修科目の時間的制限があるためやむを得ないが、講義内容による積極的な動機付けというよりは、受動的な動機により受講する学生が多いようだ。

I-5「質問（オフィスアワー）」は、①の 73.27%が最も多く、②が 9.95%、③9.09%がほぼ同割合となっている。授業中にわからない問題を解消できるためであろう。

II-1「狙いの明確さ」は、⑤の 44.08%が最も多く、次いで④の 29.97%となっている。

II-2「難易度」は、③の 55.23%が最も多く、次いで④の 31.31%となっている。

II-3「講義要項との進み具合」は、⑤の 48.05%が最も多く、次いで④の 28.27%となっている。適切だと感じている学生が多い。

II-4「進度」は、③の 73.19%が最も多く、次いで④の 17.05%となっている。

II-5「声の大きさ」は、⑤の 49.89%が最も多く、次いで④の 25.59%となっている。

II-6「教材等の効果」は、⑤の 45.76%が最も多く、次いで④の 28.57%となっている。

II-7「教室内の雰囲気」は、⑤の 47.88%が最も多く、次いで④の 30.06%となっている。

II-8「宿題・課題」は、⑤の 42.39%が最も多く、次いで④の 28.46%となっている。

II-9「理解しやすさ」は、⑤の 36.51%が最も多く、次いで④の 34.84%となっている。

II-10「見方・考え方が深まる」は、⑤の 34.81%が最も多く、次いで④の 30.49%となっている。

III「満足度」は、⑤の 43.17%が最も多く、次いで④の 31.55%となっている。

以上のことから、外国語学部全体としては、多くの項目で満足のいく数値⑤や④が多くつけられて概ね良好な評価を得ていることがわかる。

⑤学部設問項目

昨年度同様、今回のアンケートに外国語学部が独自に入れた設問項目は、次の2つである。

IV-1「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」

IV-2「このクラスの学生数は適切ですか」

「この授業で使う教室の大きさ、施設・設備などは適切ですか」に対する回答の平均値

は、専任教員の授業では4.44、講師（非常勤）の授業では4.29の値であった。

「このクラスの学生数は適切ですか」に対する回答の平均値は、専任教員の授業では4.42、講師（非常勤）の授業では4.20であった。前年とほぼ同じ値で、概ね良好な結果と言えよう。

以上の2項目は、少人数教育を中心とした外国語の授業で効果的に授業が行われる環境が整っているかどうかをチェックする重要な設問であるが、今年度も学生側からは満足できる評価が得られていると考えられる。

（3）授業改善に向けての今後の課題

以上、「授業改善のための学生アンケート」の集計結果を分析してきたが、今年度も外国語学部の数値は全般にわたって比較的安定した高い水準を維持していると言える。

特に「狙いの明確さ」「講義要項との進み具合」「声の大きさ」「教材等の効果」「教室内の雰囲気」「宿題・課題」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」など、外国語教授法の基本となる部分について、教員たちが工夫を重ね、それぞれの授業の中で実践し続けていることが、学生たちから良い評価を受けることにつながっていると思われる。

少人数の授業が比較的多い外国語学部の授業では、出席率も高く、教室内の良い雰囲気が保たれている。授業時間内だけでなく、休み時間を利用して研究室に足を運ぶ学生が増えていくことが望ましい。「質問をする」比率を上げていくためにも、学生の主体的な学びを促すことが今後の課題となるだろう。

外国語学部の学生の満足度が高いのは、授業中のみならず、留学相談、資格試験対策、就活相談、外国語弁論大会など、多方面で懇切丁寧な教育指導が行われていることとも関連があるだろう。今後も、教室内外でこうしたきめ細かな指導を続けることが、学生たちの力をさらに伸ばすことにつながるはずである。

一方で、昨年に比して若干数値を落としている項目もある。「狙いの明確さ」「教材等の効果」「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」「満足度」等がこれらの項目であるが、このような傾向が現れる要因を分析すると共に、客観的、全体的視野でカリキュラムを構築することが今後求められるであろう。外国語学部の課題は昨年同様に、様々な背景を持つ学生や学力差にどのように対応し、効果的な授業を行うかである。能力別のクラス編成によって、より学習効果が上がる体制は三学科とも一応整っている。しかし、それだけでは十分でなく、教員たちは絶えず学生の習熟度や学習到達度を細かくチェックすると同時に、目的を持たせ、どのレベルに於いても学ぶ意欲を上げる為の工夫をする必要がある。

また近年の教育改革に伴い、中学校、高等学校に於ける言語教育も大きく変化していることを鑑み、学内の授業評価に加えて、授業の内外を通じて寄せられる学生の意見を真摯に受け止め、外国語学部としてより良い教育の実践に努めていきたいと考える。

以上

4. 工学部

(1) アンケート実施状況について

今年度の授業評価アンケートは、前期（令和元年6月17日～7月12日）に実施された。昨年度、一昨年度と後期の実施が続き、2年ぶりに前期の実施となった。

実施教員数は、専任教員が49名中49名、講師（非常勤）が47名中47名で、昨年、一昨年と同様100%である。

アンケート実施科目数は158科目（専任：95、非常勤：63）で、科目数は昨年度と同じであったが、専任が2科目増加し、非常勤が2科目減少（専任：97、非常勤：61）している。前後期の違いがあるが、教員数と実施科目数がほとんど変わらず、一人あたりの実施科目数は、専任1.94科目、非常勤は1.34科目である。

アンケートに回答した延べ人数は5,816名（1年：2,070、2年：1,941、3年：1,539、4年：174、無回答：92）で、昨年の5,373名（1年：2,099、2年：1,615、3年：1,474、4年：140、無回答：45）に比べて大きく増加している。前後期の違いがあるため、比較は難しいが、科目数は増加しておらず、1科目当たりの受講学生が増えていることがうかがえる。

アンケートを実施した158科目の内訳は、専門の講義科目87（昨年85）、実験実習科目28（昨年32）であった。その他、教養科目8（昨年7）、外国語科目24（昨年23）、スポーツ・トレーニング7（昨年6）教職4（昨年5）であり、大きな変化は見られない。

以下、全体集計結果に基づき、工学部の専門科目に対するアンケート結果を分析し、所見及び今後の課題を指摘して総評としたい。

(2) 全体集計に基づく授業アンケート結果の分析

以下、昨年度までと同様に、各アンケート項目について講義科目を中心に考察する。

I. 受講の姿勢や動機

① 学生の出席状況（設問 I-1）

工学部専門科目のうち、講義科目の出席状況は4.68となっており、昨年の4.60と比べてわずかに上向きである。過去5年間の変化をしてみると4.70程度から、単調に減少し、昨年は4.60まで下がっていたが、今年は数年ぶりに持ちなおしている。大学全体のポイントが4.64であり、外国語科目に次いで高い値である。外国語学部と工学部は、100名以下の授業が多く、もともと教員側で出欠の状況把握がしやすいことと、カードリーダーによる出席管理がある程度定着し、学生側の意識が高まったこととがひとつの要因であると考えられる。

実験実習科目の出席状況は4.85で、昨年の4.75と比較しても高く、講義科目より約0.2ポイント高い。経年変化を見ても、講義科目が4.60～4.70で推移しているのに対し、4.70～4.85と毎年0.1ポイント以上上回っている。実験実習科目は、授業中の成果が求められ、

グループワーク等も多く、欠席のリスクが高いため、講義科目よりも出席に対する意識は高いといえる。

② ノート・メモ（設問 I-2）

ノートやメモを取っているかどうかについては、3.74 となっており、昨年の 3.70 からわずかに上がっている。全体平均は 3.98 であり工学部が最も低い値を示している。また、専任教員では 3.87 であるのに対し、非常勤では 3.51 で差がみられる。授業の際の提示資料が板書からパワーポイントなどの投影に変化し、その資料のハンドアウトの配布や、Black board への掲示が増え、「ノートを取る」行為は減少している。この傾向は今後さらに進むと予測できるが、「ノートやメモを取る」行為は、要約や要点をとらえる能力を高め、卒業後の社会生活の中では現状求められることが多いため、その習慣づけは必要と考える。そのため、授業の中で意識的にそれを促す教員側の工夫も必要と考える。

③ 予習・復習（設問 I-3）

講義科目における予習・復習については全体平均が 1.80 で全学的に 1～2 の低い値となっているが、工学部は 1.94 で外国語学部の 2.01 に次いで比較的高い。昨年度の 1.79 と比較して 0.15 ポイント高くなっている。予習・復習について、2015 年度から講義要項に予習・復習の項目が加えられ、その後も記載内容の改訂を進めた結果として、学生にも単位制度の実質化に対する意識が根付いてきたとも考えられるが、各科目 1 時間未満であり、さらなる努力が必要であろう。専任と非常勤を比較すると、専任は 1.97、非常勤は 1.77 となっており昨年同様 0.2 ポイントの差がある。予習復習を促す工夫を授業に組込む等の対策が必要と考える。

④ 受講動機（設問 I-4）

受講動機については、「単位が必要」が 65.3%で、昨年の 61.2%より 0.4 ポイント上回った。学科別の値を見てみると、機械 65.3%（昨年 59.6・一昨年 66.3）、電子 64.4%（昨年 59.4・一昨年 58.3）、情報 67.8%（昨年 62.3・一昨年 61.9）、デザイン 50.8%（昨年 52.3・一昨年 49.5）、基礎 74.4%（昨年 71.5・一昨年 69.0）となり、デザインが下がったのに対し、他は 5%程度増加している。単位が必要で授業を受けている意識が高い状況が示された。

2 番目は「講義への興味」で 16.8%（機械：14.0% 電子：19.1% 情報：14.3% デザイン：28.1% 専門基礎：12.0%）で昨年度の 10.4%を大きく上回った。昨年度 2 番目であった「時間が空いている」は 18.9%から 8.5%（機械：9.3% 電子：7.0% 情報：9.9% デザイン：7.6% 専門基礎：7.9%）へと大きく減少し、3 番目となった。

このことから、今年度は、単位が必要で履修しているが、講義に対する興味も持ったうえで受講している学生が増えており、単純に「時間が空いている」からという理由で受講している学生は少ない、ということが言える。特にデザインでは、「単位が必要」と答えた学生

は他学科に比べて約 15%少なく、「講義への興味」は最も高い値を示しこの傾向が強く出ている。「単位が必要」という回答は、ある意味当然であり、複数回答によるこの値の増加は大きな意味を持たないとする。「講義への興味」が増加し、「時間が空いている」が減少した点は好ましい傾向であり、学生の授業に対するモチベーションが高くなっている可能性が感じられる。

⑤ 質問（オフィスアワー等）（設問Ⅰ-5）

授業時間以外の質問については、講義科目で 1.74（昨年 1.63）と 0.1 ポイント上昇しているが、低い数値である。しかし全学平均の 1.58 と比べると高い。工学部の教員は授業のない日でも在室していることが多く、オフィスアワーに係わらず質問できる環境にある。そのため、専任教員で 1.77、非常勤で 1.58 と 0.2 ポイントの差が出ている。

Ⅱ. 授業の内容や進め方

① 狙いの明確さ（設問Ⅱ-1）

講義科目では 3.89（昨年 3.86）で全学平均の 4.01 と比較すると若干低い数値であるが、ここ数年微増傾向を示しており、シラバスの記載方法の改善等の成果があらわれていると考える。

実験実習科目では 4.11（昨年 4.10）で、高い値を示している。実験実習科目については、授業中に求められる成果がはっきりしているため、学生は講義科目と比較して狙いを把握しやすい。

② 難易度（設問Ⅱ-2）

難易度は、例年同様中間の 3 が適切で、小さいと簡単、大きいと難しいという意味を示す。今年は講義科目で 3.58（昨年 3.51）、実験実習科目で 3.70（昨年 3.69）となっており、いずれも昨年から上昇している。全学平均の 3.46 と比較しても高い値で、工学部の学生は授業の難易度が高いと感じている。講義科目では、ここ数年間は 3.50～3.53 の範囲で推移していたが、今年はこの範囲を超えた値となった。学生が適切と感じる難易度より多少レベルを上げた設定とすることは必要であるとするが、適正な数値の判断は難しい。進度との関係も考慮して目標数値を設定する必要がある。

③ 講義要項との進み具合（設問Ⅱ-3）

講義科目で 4.01（昨年 3.96）という値で、昨年から評価はわずかに上がっているが、全学平均の 4.09 と比較すると低い値となっている。講義要項に沿って授業を行うことが基本であるが、工学部の授業は比較的少人数で進められていることもあり、学生の状況に合わせて内容を調整するなど、その時のトピックを取り込む等の工夫も実施されていることが考えられ、現状特に大きな問題はないと思われる。

⑥ 進度（講義科目：設問Ⅱ-4、実験・実習科目：設問Ⅱ-3）

進度も、難易度と同様、3 が適切な進度で小さいと遅い、大きいと早いという意味を示す。今回は講義科目で 3.33（昨年 3.25）、実験実習科目で 3.45（昨年 3.48）という結果となった。ここ数年は講義科目で 3.3 前後、実験実習科目で 3.4～3.5 の間で推移しており、大きな変化はない。やや早く感じるという値と考えられ、先生方が適切な進度で授業を進めているということがわかる。前出の難易度が不適切であれば、進度も値が高くなると予想できるが、今のところ適切な範囲と考える。

⑦ 声の大きさ（設問Ⅱ-5）

講義科目で 3.93（昨年 3.90）実験実習科目で 3.90（昨年 4.06）という結果で、全学平均の 4.04 と比較すると、低い値である。昨年改善されていた実験実習科目で、再び低下している。学科別にみると、実験実習科目で最も高い値は機械の 4.13、最も低い値は情報の 3.55 でかなり大きな開きがある。講義科目ではこれほどの開きは見られないことから、PC 室等、一般教室以外での状況確認が必要と考える。

⑧ 教材等の効果（設問Ⅱ-6）

講義科目で 3.88（昨年 3.85）、実験実習科目で 3.91（昨年 3.95）となり、講義科目で微増、実験実習科目で微減となった。全学平均の 4.03 と比較して低い値であるが、いずれも 3.8～3.9 前後で増減を繰り返しており、大きな変化はない。授業内容を理解するのに授業中の教材が有効かどうかを問うものであり、後述のⅡ-9 の理解度と関連する。理解度と満足度を高めるのに必要な大きな要因の一つと考え、より分かりやすい内容となるように、常に見直してゆくことが重要であると考え。

⑨ 教室内の雰囲気（講義科目：設問Ⅱ-7、実験・実習科目：Ⅱ-8）

講義科目で 3.90（昨年 3.90）、実験実習科目で 3.93（昨年 3.98）となり、講義科目では同じ、実験実習科目では微減となった。この数年間大きな変動はないが、やはり全学平均の 4.08 と比較すると低い値である。この項目は単に私語をする学生の有無ではなく、アクティブラーニング等の導入をはじめとする授業形態の変化により、積極的な授業参加の雰囲気も評価の対象となっていると考えられる。工学部の実験実習科目では特に、活発な議論やグループワークを促す努力をすることも数値の向上につながると考える。

⑩ 宿題課題（設問Ⅱ-8）

講義科目についての設問で、宿題や課題の適切性は 3.83（昨年 3.75）、となり、約 0.1 ポイントの上昇がみられる。全学平均が 3.82 であり、講義科目についての宿題や課題については適切と考える。

⑪ 理解しやすさ（設問Ⅱ-9）

講義科目で3.51（昨年3.54）、実験実習科目で3.81（昨年3.79）となり、講義科目で微減、実験実習科目で微増している。全学平均が3.77であり、実験実習科目では平均を上回る値となっている。学科別にみると、講義科目ではデザインが最も高く（3.83）、次に電子システム工学科（3.65）が続く、実験実習科目では専門基礎科目の評価が最も高い（3.93）く、次にデザイン（3.87）が続く。特に専門基礎の実験実習科目は高い値となっており、分かりやすい実験実習が行われていることがうかがえる。専門基礎科目と情報工学科では、講義科目と実験実習科目の評価に大きな差が見られる。理解しやすさと満足度は関連性が高いため、特に講義科目において、前述の教材の有効性や声等、授業に対する改善を積極的に行い、理解しやすさを向上させてゆくことが重要であると考え。

⑨ 見方考え方が深まる（設問Ⅱ-10）

講義科目で3.50（昨年3.50）、実験実習科目で3.84（昨年3.92）となり、講義科目は同じ、実験実習科目では減少という結果となった。全学平均は3.78であり、理解しやすさと同様、実験実習科目では平均を上回っている。学科別にみると講義科目、実験実習科目ともにデザインが高い値（3.94, 4.01）を示している。専門基礎科目については、実験実習科目がデザインに次いで高い値（3.96）を示しているが、講義科目では3.37となっており、講義科目と同様に差が大きい。

講義科目で新しい内容を学修して知識を広げ、見方や考え方が深まっていくのが理想であるが、理解が追い付かず考えの深まりに繋がっていないケースが多いと予測できる。一方、実験実習科目においては、学修した内容について実験実習をとおして体験的に理解することが、自然な流れとして見方や考え方の深まりにつながっており、結果もそれを示している。講義科目の中でも、内容に応じてディスカッション等を通して体験的な理解を促し、見方や考え方を深めるなどの工夫が、数値の向上に有効であろうと考える。

Ⅲ. 満足度（総合的に見て、この授業に満足していますか）

満足度はこのアンケートの総合評価として用いられる最も重要な項目といえる。講義科目については平均3.72という値で、昨年の3.75からわずかに低下している。学科別にみると、高い順にデザイン3.96（昨年3.74）、電子3.87（昨年3.80）機械3.73（昨年3.77）、専門基礎3.61（昨年3.85）、情報3.56（昨年3.61）となっており、デザインと、電子が上昇、他は低下している。全体としては大きな変化はない。

同様に、実験実習科目については、平均3.87で昨年の3.93から低下している。学科別にみると、専門基礎科目3.99（昨年3.86）、デザイン3.94（昨年3.92）、電子3.83（昨年4.10）、機械3.75（昨年3.76）、情報3.69（昨年4.06）となり、専門基礎科目とデザインが上昇し、他は低下となっているが、こちらも大きな変化はみられない。

全学平均は、3.95 であり、講義科目、実験実習科目ともにこれを下回る結果となっている。「理解しやすさ」「見方考え方が深まる」の項目では、実験実習科目で全学平均を上回ったが、満足度では、平均より低い値となった。満足度はすべての項目に関する評価の積み重ねであると同時に、学ぶ内容、難易度にも大きく影響されると考える。難易度と進度の適切な設定と、理解しやすい授業の工夫、必要に応じた能力別クラス分けなど、改善を重ね、結果として満足度を向上させる必要がある。

IV. 学部等設問項目

以下の3項目を工学部の講義科目の設問項目として用意している。

① 宿題や課題への取り組み（設問IV-1）

専任教員で3.85（昨年3.72）となっており、昨年よりやや上昇している。共通設問（Ⅱ-8）で、宿題や課題の適切性は3.83（昨年3.75）となっており、教員は宿題や課題を適切に課し、学生は積極的にそれに応えていると自覚している。非常勤については3.49（昨年3.37）で専任の科目に対する取り組みより低い値である。

② 授業に対する質問（設問IV-2）

専任教員で2.41（昨年2.24）、非常勤2.27（昨年2.17）で、上昇してはいるが、昨年同様小さな値となっている。共通設問（Ⅰ-5）の時間外の質問（オフィスアワー等）については講義科目で1.74（昨年1.63）であったのと比較すると高いが、充分とは言えないと考える。授業中の質問は理解度を把握するうえでも重要である。講義科目での改善はなかなか難しい面もあるが、アクティブラーニング等、参加型授業の運営を検討することが今後さらに求められると予想され、専任、非常勤ともに発言や質問を促す授業の工夫が必要と考える。

③ 到達目標に対する度合い（設問IV-3）

専任教員で3.51（昨年3.40）、非常勤で3.32となっており、講義科目の満足度の3.72と比較すると、やや低い。学生が具体的な各授業の到達目標をきちんと把握していない可能性があることと、授業の途中でアンケートが実施されていることが低い値に留まっている要因と考える。講義科目で、到達目標について達成感を自覚することは難しい。こまめなレポートや小テストの実施とこれに対するフィードバックを実施するなどの工夫が必要であろう。

後述するが、実験実習科目の同様の設問（Ⅱ-10）「この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか」では、身に付いたという評価は3.91となっており、講義科目と比較して実感しやすい傾向があらわれている。

V. 実験実習科目独自の項目

実験実習科目独自の設問

I-2 事前準備／I-3 レポートの作成

II-4 説明方法／II-7 教材の適切性／II-10 知識・技術が身に着く
についてまとめる。

I-2 事前準備

事前準備については3.68で、平成27年度の3.36から年々着実に上昇している。学生は実験実習科目にきちんと事前準備をして臨んでいると自覚している。講義要項の記述や履修指導の徹底により、予習復習の必要性は理解しており、ある程度実行も伴ってきていると考える。しかし、学科別に見てみると、最も高い専門基礎では4.10、最も低い機械システム工学科では2.91となっており、差が大きい。

I-3 レポートの作成

レポートの作成については、4.19と高い値を示した。昨年の4.08と比較して0.1ポイント上昇している。学科別にみると、最も高いのが情報工学科の4.52で、最も低い電子システム工学科で3.95となっている。全体的に高い数値であるが、特に情報工学科の学生はレポートや課題にまじめに取り組んでいるという意識が高い。

II-4 説明方法

説明がわかりやすいかどうかという評価は、3.64で、昨年の3.76と比較して低下している。実験実習科目の説明は具体的な指示であるため、基本的にはわかりやすいはずである。しかし、機械システム工学科の3.82が最も高く、最も低いのは情報工学科の3.30で、どの学科も改善の余地がありそうである。

II-7 教材の適切性

適切性については、3.92(昨年3.98)で共通設問(II-6)教材の有効性3.91(昨年:3.95)とほぼ同等であった。いずれも昨年度と比較して、若干低下している。学科別にみると、最も高い機械システム工学科の4.10から、情報工学科の3.75まで比較的高い評価でまとまっていると考える。

II-10 知識・技術が身に着く

前述のとおり、「見方や考え方が深まる」(3.84)、「満足度」(3.87)に比べても高い3.91という値で、昨年と同等である。到達目標の達成度に対する評価と捉えることができ、実験実習という授業の性格上、具体的な成果がわかりやすいことがあらわれている。

(3) 今後の課題

授業アンケートのデータに基づき、工学部専門科目に対する数値の分析や考察を行った。全学平均と比較して、評価の低い項目が多い点は、工学部としての課題である。内容、授業形態、学生数等に違いがあるため、一概に比較はできないが、個々の項目について繰り返し見なおし、改善を重ねる努力は必要であろう。

そのうえで、ほとんどの項目で、昨年と比較して大きな変化は見られない。平成27年度からの変化の傾向を見ると、学生の自己評価（出席状況・ノートやメモ・予習復習など）は年々数値が高くなっており、満足度をはじめとする授業に関する評価はあまり変わらないか、どちらかという今年度は低めの評価になっている。実験実習科目の事前準備やレポート課題にまじめに取り組んでいるという自己評価は高いが、講義科目の予習復習の時間については十分な時間が費やされていないアンバランスもみられる。

講義科目と実験実習科目を比較すると、満足度や理解しやすさ等を含めて、全体的に実験実習科目の評価が高い。しかし、難易度と進度も実験実習科目のほうが高いと感じており、難易度・進度は必ずしも「3」が適切とはいえない。

今後の課題は昨年同様、下記の2点に集約される。

①学生の授業への取り組み姿勢に関する実質的な改善

先に述べたとおり、今年は特に学生の自己評価が高い傾向がみられた。しかし、予習復習に費やしている時間は充分とはいえない。このギャップを埋めることが必要である。

単位制度の実質化に対する教員の取り組みがある程度定着し、その成果が学生の姿勢や意識の変化につながっている部分もあると考える。シラバスの記載内容の共通化と見直し、具体的には教育の目的と到達目標の明記、15回の授業に関する概要の提示とこれに沿った授業の運営、予習復習時間の確保、成績評価の明確化は、教員と学生の双方に一定の意識的な効果をもたらしていると考えられる。今後はこれを実質的に高めていくための行動につなげる必要がある。まずは、教材や説明の方法等の工夫、参加型授業の運営などにより、理解度の向上を目指すことで、学生の意欲を引き出すことが必要であろう。

入試の多様化と定員の厳格化により、年内と年明けの入学者の学力差はさらに広がることが予測される。授業の難易度の設定はより困難になり、この点に関する工夫も求められる。

②満足度の改善

総合評価として用いられる最も重要な項目であるが、3.72（実験実習科目：3.87）という数値は全学の中で最も低い。理解度を高め、明確な目標設定とその目標に対する達成感を実感することが満足度の向上につながると考えられる。到達目標の達成度については学部設問項目としており、前述のとおり専任で3.51であり、決して十分な結果ではない。達成感を感じることでできる授業の工夫で、学生の意欲を引き出すことが必要であろう。

来年度のアンケート項目の見直しにより、これまでの難易度・進度・理解度・教材の有効性に加えて、内容に対しての興味・教員の意欲や熱意に対する問いが加えられる。これらの要素と満足感がどのように、どの程度の関係を示すのかについては結果を待つことになる。

以上

5. 国際学部

(1) 実施の状況

実施期間を令和元年6月17日(月)から令和元年7月12日(金)までの期間に設定し、専任教員(実施対象教員数36名)と講師〔非常勤〕(実施対象教員数45名)すべての教員がアンケートを実施した(実施率は専任教員、講師とも100%)。従来、国際学部では「原則開設科目全対象」としてアンケートを実施してきたが、昨年度より全学と足並みを揃えて、各教員が実施科目を選択する(但し、原則2科目以上)という形式で実施している。昨年度のアンケート実施科目数は152科目(専任教員:74科目/非常勤講師:78科目)であったが、今年度は140科目(専任教員:74科目/非常勤講師:66科目)の実施となった。

国際学部科目におけるアンケート結果は、英語群、地域言語群、基礎科目群、専門共通科目、専門コース科目の5群に分けたデータとして集計された。

アンケート回答数(延べ人数)は、1年生1,776人、2年生1,392人、3年生668人、4年生280人、無回答61人の4,177人であった。

(2) 学科目別の評価

① 授業の内容や進め方

専門科目(58科目)について、授業の内容や進め方に関する各項目の過去5年間における平均値を並べた。前年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けた。但し、「Ⅱ-2. 難易度」と「Ⅱ-3. 進度」の2項目は数値が「3.0」の回答が適切であると判断されるものであるため、3.0に近づく方向を「上昇」とした。参考のために、本年度における大学全体の平均値も付記してある。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	大学全体
Ⅱ-1. 狙いの明確さ	▼4.01	△4.05	▼4.03	△4.13	△4.19	4.01
Ⅱ-3. 講義要項との進み具合	□4.06	△4.07	△4.11	△4.17	△4.23	4.09
Ⅱ-5. 声の大きさ	▼4.14	▼4.09	△4.15	▼4.08	△4.19	4.04
Ⅱ-6. 教材等の効果	▼4.06	△4.09	□4.09	△4.10	△4.25	4.03
Ⅱ-7. 教室内の雰囲気	▼4.10	▼4.09	△4.20	▼4.18	△4.26	4.08
Ⅱ-8. 宿題・課題	△3.82	▼3.80	□3.80	▼3.67	△3.81	3.82
Ⅱ-9. 理解しやすさ	□3.88	△3.90	△3.92	△3.97	△4.06	3.77
Ⅱ-10. 見方・考え方が深まる	▼3.96	△4.06	▼3.99	□3.99	△4.13	3.78
Ⅲ. 満足度	△4.06	□4.06	△4.07	△4.11	△4.19	3.95

○回答「3.0」が適切である項目

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	大学全体
Ⅱ-2. 難易度	▼3.38	△3.36	△3.35	△3.38	△3.33	3.46
Ⅱ-4. 進度	▼3.19	▼3.24	△3.22	△3.23	△3.20	3.26

専門科目における評価は、前年度に比べ、すべての項目において向上している。また、「Ⅱ-8. 宿題・課題」以外すべての項目で、過去5年内で最も評価が高くなっている。但し「Ⅱ-8. 宿題・課題」は3点台で相対的に低く、この傾向は過去5年内で変わっていない。文科省が講義以外の時間に予習復習をしっかりと位置付けることを勧めていることもあり、課題として克服していくべき項目である。

授業の総合的な評価にあたる「Ⅲ. 満足度」は、教員の平均値としては十分に高いもので、かつ、ここ数年、4.0以上の高い数値を維持しながら微増している。学生の満足度を今後より高めていくには、単に講義の質を意識するのではなく、前述の「宿題・課題」の点などトータルで学生の学びの構成していく観点が改善されるべきものとして見えてくる。



② 受講する姿勢や動機

国際学部専門科目に関して、Ⅰ-1からⅠ-5までの各項目について、回答の多かった上位を挙げた。総じて見ると、学生たちは講義そのものへの取り組みは非常に良く、出席状況は良好であり、ノートも比較的しっかり取っている様子がうかがえる。

また、「受講動機」のトップは、昨年度は「単位が必要だから」であったが、今年度は「講義への興味」がトップとなった。この点、学生の知的好奇心や学びへの意欲が高まってきたことの表れととらえることができよう。

ただし、講義以外の時間での学習のあり方には課題がある。これは、もちろん予習・復習を課すことができていない教員の課題でもあるのだが、「授業さえ出ていけばよい」という学生の学びに対する消極性や軽視の表れにも見える。「質問」をする機会が極端に低いこともそれを裏付けていると言えよう。今後、一層学生の知的好奇心を刺激し、学びに対する意欲を引き出していくことが必要であろう。

- | | |
|-----------------|--|
| 「I-1. 授業への出席状況」 | (1) ⑤90%以上 (67.58%)
(2) ④80%以上 (23.48%) |
| 「I-2. ノート・メモ」 | (1) ⑤強くそう思う (41.05%)
(2) ④そう思う (26.22%) |
| 「I-3. 予習・復習」 | (1) ①0.5h未満 (57.91%)
(2) ②0.5h以上 (1h未満) (17.13%) |
| 「I-4. 受講動機」 | (1) ⑤講義への興味 (37.67%)
(2) ③単位が必要だから (34.12%)
(3) ④教員にひかれて (14.61%)
(4) ①この時間帯が空いている (10.42%)
(5) ②単位取得が楽だから (3.18%) |
| 「I-5. 質問」 | (1) ①全くそう思わない (70.79%)
(2) ③どちらとも言えない (10.44%) |

(3) 学部設問項目の評価

学部設問項目は、「授業の開始時間・終了時間」、「出欠席管理」、「授業中の私語」、「教室環境の適切さ」（「IV-4 この授業で使う教室の大きさ、施設・備品などは適切ですか」）、「教員による学習環境づくり」（「IV-5. 学生がいきいきと学べる環境づくりに教員が努めている」）の全5項目で実施した。IV-4の教室環境については、国際学部棟から学部が移転したことによるハード面での学習環境の変化をはかるものとして、そしてIV-5の学習環境については、学習環境づくりが教員によって積極的に行われているかどうかのソフト面に対する評価として設定したものである。また、昨今、教育機関におけるセクハラやアカハラと呼ばれるハラスメントが問題視されていることもあり、それを未然に防ぐためにも設定したという経緯がある。

評価の変化を見るため、過去5年間における各項目の平均値も並べてある。前年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けてある。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
IV-1. 授業の開始・終了時間					
専任教員	□4.54	□4.54	▼4.53	△4.58	△4.60
講師(非常勤)	▼4.52	△4.58	□4.58	□4.58	▼4.48
IV-2. 出欠席管理					
専任教員	△4.55	▼4.45	△4.50	▼4.47	△4.50
講師(非常勤)	▼4.57	△4.60	▼4.52	△4.60	△4.69
IV-3. 授業中の私語					
専任教員	▼4.11	▼4.06	△4.08	△4.14	▼4.10
講師(非常勤)	▼3.72	△3.92	▼3.70	△3.85	△3.98
IV-4. 教室環境の適切さ					
専任教員		4.28	△4.47	▼4.39	△4.50
講師(非常勤)		4.33	△4.38	△4.47	△4.51
IV-5. 教員による学習環境づくり					
専任教員				4.33	△4.41
講師(非常勤)				4.34	△4.39

ここでも根本的に改善を図らなければいけないほどの低評価は見られないが、あえて指摘すれば、「授業中の私語」に関する講師（非常勤）の数値が相対的に低いことであろうか。この点は昨年度も指摘されたことであり、相対的に低いながらも評価が向上しており、非常勤講師の先生方が改善に努めてくれたものと思われる。専任教員に比べ、非常勤講師の方が学生との関係性を構築するのに時間がかかり、なかなか注意しづらいという中で改善に努めてもらっていることに感謝したい。なお、今後も、非常勤講師との懇談会等で専任教員と遜色のないように遠慮せずに注意してもらうことを強調するなどしておきたいと思う。

昨年度より新しく設定した「IV-5. 教員による学習環境づくり」は、設定当初に危惧したハラスメントなどを示す結果がこの数値からは見られず、教員が学習環境づくりにそれなりに努めていると感じられる評価だった。ただ、そうとはいえ、ハラスメントは重大な問題なので、引き続き、そういったことが今後決して起こらないよう、数値に留意していかなければならない。

（４）教員所属別の評価

専任教員の科目（74科目）と講師（非常勤）の科目（66科目）について、各項目の3年間の平均値を並べた。昨年度よりも上昇した場合に△印を、低下した場合に▼印を、変化がなかった場合には□印を付けてある。

	専任教員			講師（非常勤）		
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
Ⅱ-1. 狙いの明確さ	△4.15	△4.22	△4.23	□4.04	△4.14	▼4.10
Ⅱ-3. 講義要項との進み具合	△4.18	△4.21	△4.27	△4.12	△4.18	▼4.15
Ⅱ-5. 声の大きさ	△4.26	▼4.17	△4.22	△4.18	▼4.15	△4.16
Ⅱ-6. 教材等の効果	△4.24	▼4.20	△4.30	△4.08	△4.11	□4.11
Ⅱ-7. 教室内の雰囲気	△4.25	△4.26	△4.31	▼4.09	△4.19	△4.24
Ⅱ-8. 宿題・課題	△3.94	▼3.79	△3.87	▼3.92	▼3.88	△3.94
Ⅱ-9. 理解しやすさ	△4.07	▼4.05	△4.10	▼3.96	△4.00	△4.04
Ⅱ-10. 見方・考え方が深まる	△4.07	▼4.05	△4.15	□3.90	△3.92	▼3.89
Ⅲ. 満足度	△4.19	▼4.18	△4.21	▼4.09	△4.14	△4.15

○回答「3.0」が適切である項目

	平成29年度	専任教員		平成29年度	講師（非常勤）	
		平成30年度	令和元年度		平成29年度	令和元年度
Ⅱ-2. 難易度	△3.31	△3.36	△3.34	△3.30	△3.31	△3.26
Ⅱ-4. 進度	△3.21	△3.23	△3.20	△3.17	□3.17	△3.15

専任教員に関しては、昨年度、下降傾向にあったが、今年度は全項目について改善され上昇した。「Ⅱ-8 宿題・課題」以外、全項目とも4.0以上の数値（「回答「3.0」が適切である項目」に関しては3に近い数値）であり、概ね評価できる。

講師（非常勤）の評価においても同様に概ね高い数値で評価していると思われる。しいて言えば、「見方・考え方が深まる」の項目が3点台で相対的に低くなっているため、学生たちに問いかけるなどして揺さぶる場面を入れるなど、より一層の改善を図ってもらう必要がある。非常勤講師の先生方にもこの授業評価をもとにした授業改善を繰り返しお願いしていく必要がある。

（5）分野別の評価

① 分野相互間の比較

英語群（20科目）、地域言語群（39科目）、基礎科目群（24科目）、専門共通科目（23科目）、専門コース科目（36科目）の5群について、相互に比較した。平均値が最も高いものに○印を、最も低いものに●印を付けてある。

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
Ⅱ-1. 狙いの明確さ	4.17	○4.35	●4.14	4.18	4.18
Ⅱ-3. 講義要項との進み具合	4.21	○4.37	●4.19	4.24	4.22
Ⅱ-5. 声の大きさ	4.33	○4.43	●4.18	4.19	4.19
Ⅱ-6. 教材等の効果	4.23	○4.37	●4.11	4.26	4.23

Ⅱ-7. 教室内の雰囲気	4.31	○4.50	●4.21	4.26	4.26
Ⅱ-8. 宿題・課題	4.16	○4.22	3.81	●3.79	3.83
Ⅱ-9. 理解しやすさ	○4.31	4.15	●3.91	4.02	4.06
Ⅱ-10. 見方・考え方が深まる	3.94	4.14	●3.86	○4.15	4.10
Ⅲ. 満足度	4.23	○4.41	●4.02	4.18	4.17

○回答「3.0」が適切である項目

	英語群	地域言語群	基礎科目群	専門共通科目	専門コース科目
Ⅱ-2. 難易度	○3.08	●3.46	3.39	3.34	3.34
Ⅱ-4. 進度	○3.04	●3.30	3.22	3.20	3.20

相対的に言語関連の科目（英語群／地域言語群）の評価が高く、基礎科目の評価はそれよりも若干低い傾向にある。とはいえ、おおむね4.0以上または4.0に近い数値であり、決して極端に低い数値ではない。基礎科目については今後さらに改善の努力をお願いしたい。

② 英語群

全項目を通じて総じて評価が高い。「声の大きさ」「教室内の雰囲気」「理解のしやすさ」などの評価の高さは教員自身による日々の努力の成果を反映した数字であろう。一方で「Ⅱ-10. 見方・考え方が深まる」の数値は最も低い。これは語学学習の場合はある程度仕方ないことであろう。また、「Ⅱ-1. 狙いの明確さ」もやや評価が低い。この点は、他の分野にも共通する傾向で、毎時授業における目標を示すなど改善を図る必要がある。

③ 地域言語群

今年度、分野相互間の比較においてもっとも評価が高かった。これは英語群とともに語学科目の傾向であり、特長でもあると思われる。学生自身が語学習得への高いモチベーションを持っていると思われること、語学の授業は専門科目よりも少ない人数で行われ、そのために授業が丁寧に行われていることがこの評価につながっていると考えられる。

高校まではほぼ触れていなかった地域言語はとっつきにくく、難解なものというイメージを浮かべやすいが、そのハードルを教員がうまく授業運営し、克服していると考えられる。もちろん、そういったマイナーな分野への興味関心を持つ国際学部生の気質もあるであろうが、学生のやる気を引き出す授業テクニックは学部の教員全体で共有すべきもので、そういう機会を今後積極的に作っていくことも大事であろう。

④ 基礎科目群

ほとんどの項目において、比較上、最低評価となっている。しかし上述したようにおおむね4.0以上または4.0に近い数値であり、有意な低評価とは言えないが、それでも今後

そうならないように努める授業運営が求められる。「理解しやすさ」「見方・考え方が深まる」の評価が低く、この2点について改善の必要があるが、一方で「教室内の雰囲気」は評価が高く、授業中の雰囲気や教員と学生との関係は悪くないと思われる。こうした良好な関係性を十分に活かしながらより一層理解しやすい授業、見方・考え方が深まる授業の展開を図る必要があるだろう。

⑤ 専門共通科目

「宿題・課題」がもっとも低い。一方、「見方・考え方が深まる」は他分野に対してもっとも高い。この点から専門性の高い授業が展開されているものと思われる。その授業内容を定着させていくためにも予習・復習は必須であり、今後改善を呼びかけていきたい。また「理解のしやすさ」が若干低めであるが、ほぼ4に近い数値であり、抜本的な改善が必要という状態ではない。但し「見方・考え方が深まる」の評価が高いように専門性が高い分、理解がしにくい部分もあるのだろう。今後は各教員の専門分野をより噛み砕いた表現で講義することが必要となろう。この点を改善していけば、かなり高い満足度を得られることになるであろう。

⑥ 専門コース科目

全般的に高い数値である。

これらを専門コース科目別の分析で見たものが下記である（講義自体の評価を見るため、「主専攻」ではなく、履修学生「全体」の数値の方を取ってある）。国際協力（12科目）、国際経済（12科目）、国際政治（10科目）、国際文化（6科目）、国際観光（7科目）、農業総合（11科目）、国際スポーツ（8科目）の7コースについて相互に比較した。平均値が最も高いものに○印を、最も低いものに●印を付けてある。

	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光	農業総合	国際スポーツ
Ⅱ-1. 狙いの明確さ	4.14	4.02	○4.28	4.08	●4.00	4.25	4.02
Ⅱ-3. 講義要項との進み具合	4.13	●4.08	○4.26	4.16	4.13	4.18	●4.08
Ⅱ-5. 声の大きさ	4.14	●4.02	○4.28	4.15	○4.07	4.23	4.14
Ⅱ-6. 教材等の効果	4.19	●4.04	○4.37	4.22	4.12	4.28	4.14
Ⅱ-7. 教室内の雰囲気	4.15	●4.07	○4.36	4.16	4.15	4.26	4.16
Ⅱ-8. 宿題・課題	●3.70	3.77	3.80	○3.81	3.71	3.77	3.74
Ⅱ-9. 理解しやすさ	●3.89	3.85	○4.13	4.03	○4.01	3.95	3.98
Ⅱ-10. 見方・考え方が深まる	3.96	●3.88	○4.18	4.07	○3.99	4.11	4.00
Ⅲ. 満足度	3.97	●3.96	○4.21	4.12	4.11	4.11	4.05

○回答「3.0」が適切である項目

	国際協力	国際経済	国際政治	国際文化	国際観光	農業総合	国際スポーツ
Ⅱ-2. 難易度	3.45	●3.47	3.32	○3.25	3.27	3.42	3.28
Ⅱ-4. 進度	3.24	●3.28	3.17	3.15	3.17	3.25	○3.13

全般的に 4.0 に近い数値であり、その点評価できる。最高評価は国際政治コースに、最低評価が国際経済コースに集中した。対象となった科目数にばらつきがあるため、誤差の範囲とも言えるが、この背景に何があるのか、分析し、共有できるといい。昨年度は国際経済コースがもっとも最高評価が高かったが、この変化は隔年減少なのか、あるいは他に要因があるのか、その分析も必要であろう。いずれにしても各コースの担当教員はさらに自身の授業について自己点検を行い、改善を図っていく必要がある。

(6) 評価と課題

全学で比較した場合、国際学部は「満足度」において、第 1 位の高い数値となっている。こうした高い評価は例年の傾向でもあり、継続して高評価を得ていることは評価できることだと考える。これに安心することなく、今後も不断に授業改善に取り組んでいきたい。

また、ここ数年の課題であるが、宿題・課題の提示が必ずしも十分ではないという問題がある。この点をどう改善していくのかが国際学部の課題の一つと言えよう。

この点を改善するために今年度、学部独自の FD ワークショップの中で新田目夏実国際学部教授に依頼し「ブラックボードを活用した学生へのフィードバックについて～「国際社会学」の授業実践」と題する講演及び質疑を行った。

新田目教授の実践は近年の学生の(1)「予習・復習」が少なく、(2)質問に来るなど教員との対話も少ない、という課題に対しブラックボード(以下 BB と略記)を活用し改善を図るという、まさに学部が抱えている課題に正面から挑戦する実践であった。(1)の「予習・復習」については、「反転」授業を行い、授業の最初にスマホから BB にアクセスさせ理解度テストを行う。(2)の学生との対話を促進するためには、BB の「日誌機能」を用いて、毎回、授業後にコメントを書かせた、などの取り組みであった。この実践により、「予習・復習」の状況も改善され、留学生も含め学生の理解度・疑問点の把握と個別の回答が可能になったというものであった。

また、この他に学部独自の FD ワークショップとして竹下正哲教授によるゼミ指導のあり方についての取り組みの報告と質疑も行っている。

こうした優れた実践を学部全体で共有することにより、今後、学部全体で予習・復習の状況改善、授業内容の一層の向上に取り組んでいきたいと考えている。

以 上

6. 教養教育科目

本節では教養教育科目の「授業改善のための学生アンケート」全体集計に対する「評価及び課題」を、(Ⅰ) アンケートの実施状況、(Ⅱ) 現状評価、(Ⅲ) 課題、(Ⅳ) まとめ、の順で述べる。

(Ⅰ) アンケートの実施状況

「教養教育科目・総合教育科目」のアンケート実施件数は102科目である。これは令和元年度後期開講の教養教育科目数136(文京93/八王子国際43)の75%に当たる。また詳細は後述するが、系列毎に見たアンケート実施科目数には、かなりのばらつきが見られる。

(Ⅱ) 現状評価

教養教育科目の現状を評価するにあたり、教養教育科目全体に関しては「1. 学科目別平均値(講義等科目)平均値・標準偏差」を参照し、また教養教育科目の各系列に関しては「6. 教養教育科目(1) 講義科目(群別)」のデータを参照する。以下、①学生の受講姿勢、②授業の内容・進め方、③学生の満足度、④難易度・進捗という順で所見を述べる。

A. 教養教育科目全体に関する現状評価

① 学生の受講姿勢

I-1「学生の出席状況」の項目は昨年の4.58から4.64へとややよくなった。またこの値は全学部の講義科目全体の平均値4.64と同じ値であり、全学部の専門科目や外国語科目、ゼミ・外書購読科目の中で中間値を示している。

I-2「ノート・メモ」の項目は昨年の3.66から3.81と改善したが、I-3「予習・復習」の項目は昨年の1.59から1.60と0.1ポイント改善した。I-5「質問」は昨年の1.45から1.51と改善した。

シラバスで「予習・復習」の明記が徹底されることになったため「予習・復習」の数値が来年度以降、より改善する可能性がある。とはいえ、これら「学生の受講姿勢」に関わる項目の値をさらによくするためには、教科書使用の徹底、小テストや中間テストの導入などの地道な取り組みの継続が必要であろう。大教室での授業が多い教養教育科目の「質問」の値を改善するには、授業の進行過程でこまめに質問の時間をとる、コメントシートを導入するなどのきめ細やかな対応が必要になってくるだろう。

② 授業の内容・進め方

「授業の内容・進め方」では、II-1「狙いの正確さ」が昨年の3.92から3.96に上昇し、II-3「講義要項との進み具合」も昨年の4.03から4.07に上昇した。II-5「声の大きさ」も昨年の3.94から4.03に上昇した。II-6「教材等の効果」も昨年の3.97から4.00に上昇した。II-7「教室内の雰囲気」も昨年の3.95から4.00に上昇した。II-8「理解しやすさ」は昨年の3.66から3.68に上昇した。しかし、II-9「見方・考え方が深まる」が

昨年の 3.75 から 3.74 と低下した。Ⅱ-10「宿題・課題」は昨年の 3.78 から 3.83 と上昇した。つまり「授業の内容・進め方」では、Ⅱ-9「見方・考え方が深まる」以外のすべての項目の値が改善した。

③ 学生の満足度

教養教育科目のⅢ「満足度」は、昨年の 3.91 から 3.97 と上昇した。この値は全学部の講義科目全体の平均値 3.95 を上回っているだけでなく、商学部専門科目の「満足度」3.85、政経学部専門科目の「満足度」3.91 を上回った。1 クラスあたりの受講者数が学部の専門科目と比して、圧倒的に多い教養教育の科目のこの数値は、教養教育科目を担当する教員の努力が結実したためであると思われる。さらに「満足度」の値が、平成 27 年度から 5 年連続上昇していることを今年も指摘しておく。「満足度」の値の維持、さらなる向上のための創意工夫が望まれる。

④ 難易度・進度

Ⅱ-2「難易度」は昨年と同じく 3.39 という値であった。これは講義等科目全科目の平均値 3.46 より若干低い値である。またⅡ-4「進度」は昨年の 3.22 から 3.20 となり、全体平均値 3.26 を下回った。このことから教養教育科目は、授業の進度はやや速めだが、学生の理解度に合わせた授業を実施していると判断できる。この二つの項目は、概ね適正の範囲内にあり、5 学部の専門科目と比較しても適正值により近い結果となっている。

B. 教養教育科目各群に関する現状評価

本年度、教養教育科目はカリキュラムの全体の見直しを行い「群」を廃止して、A～E の 5 系列での展開となった。さらに各科目の名称を学問分野のそれに近いものとするなどの変更（例～「哲学すること」→「哲学A」、「現代の哲学」→「哲学B」）を行った。以下、大教室での多人数授業の講義科目が中心の A 系列・B 系列・C 系列・E 系列の科目と、履修登録者数を 100 人以下に制限している D 系列の科目とを今年も分けて所見を記す。

○A 系列・B 系列・C 系列・E 系列について

A から C と E 系列が扱う分野の名称は以下の通りである。

A 系列（人間を考える）

B 系列（社会を考える）

C 系列（自然と環境を考える）

E 系列（学際）

各系列の現状を見ていくにあたり、あらかじめ留意しておくべき点がある。それは前述したように各系列のアンケート実施科目数にばらつきがあり、各系列を比較することの客観性が担保されにくいという点である。この問題は、ここ数年の評価においても指摘されているが、今年も同じ状況にある。アンケートの実施数が最も多いのは A 系列の 26 科目、その次が B 系列の 23 科目であるのに対し、アンケートの実施数が最も少ないのは E 系列の

2科目となっている（なお、E系列の科目は本年度からアンケートを開始した）。もっともこの事態は、教養教育科目のカリキュラムにおける配当科目数のアンバランスに基づいており、今後も改善される見込みはない。しかし、この状況をもってE系列の評価を行わないのも不公平なので、今年もすべての系列を対象として現状評価を行うこととする。なお、昨年度までの本レポートでは、各群の年度比較を行っていたが、今年度から群は廃止されて系列となったため、今年度は各系列の年度比較は行うことはできない。

① 学生の受講姿勢

I-1「出席状況」はB系列が最上位（4.64）で、E系列が最下位（4.54）であった。I-2「ノート・メモ」ではA系列が最上位（3.92）、E系列が最下位（3.60）であった。E系列の科目は、大教室で多くの受講生に対して行われる講義科目が多いため「出席状況」と「ノート・メモ」の項目においてこのような値が出たのではないかと考えられる。I-3「予習・復習」ではE系列が一転して最上位（1.69）であり、最下位はB系列（1.49）であった。この項目はすべての系列で1点台（平均1.47）であることから明らかなように、今年も教養教育科目では「予習・復習」を必要とする授業が少ないことがわかる。I-5「質問」ではE系列が最上位（1.51）、B系列とC系列が最下位（1.45）であった。しかし、教養教育科目全体（D系列を除く）の平均値は1.47であり系列間の差は少ない。

② 授業の内容・進め方

II-1「授業の狙い」はA系列とE系列が最上位（4.05）で、最下位はC系列（3.43）であった。D群を除いてこの値が4を超えたのはA系列とE系列のみであった。II-3「講義要項との進み具合」はA系列とE系列が最上位（4.12）、最下位はC系列（3.74）となっている。II-5「声の大きさ」ではA系列が最上位（4.18）、C系列が最下位（3.28）である。II-6「教材等の効果」ではE系列が最上位（4.15）、C系列が最下位（3.59）である。II-7「教室内の雰囲気」ではA系列が最上位（3.99）で、最下位はC系列（3.77）である。II-8「宿題・課題」ではE系列が最上位（3.69）、最下位はC系列（3.42）である。II-9「理解しやすさ」ではE系列が最上位（3.95）、C系列が最下位（3.12）で、II-10「見方・考え方が深まる」ではE系列が最上位（4.01）、C系列が最下位（3.29）となっている。

「授業の内容・進め方」では、今年からアンケートに参加したE系列の健闘が目立つ。これはE系列には、学生の関心が高いキャリア科目、防災科目が配当されていることによるのかもしれない。しかし、E系列のアンケート実施科目数が2科目と少ないので、このアンケートにおいて統計的に意味のあるデータが出ているのかについては不明である。また、人文科学系科目で構成されているA系列も健闘していると評価できる。一方で、自然科学系科目で構成されているC系列は苦戦している。C系列（旧7群、8群、9群）の苦戦は例年の傾向である。文系学部の多い本学の教養科目で、理科系のC系列の数値が低めに出ってしまうのは、致し方ないのかもしれない。

③ 学生の満足度

「満足度」はE系列が最上位（4.09）、第2位はA系列（4.06）であった。C系列が最

下位 (3.38) となっている。ここでも商学部、政経学部、外国語学部という文系学部の学生が多くを占める本学の事情を勘案する必要がある。

④難易度・進度

Ⅱ-2「難易度」が適正值 (3.00) にもっとも近いのもE系列 (3.15) であった。これに対して適正值からもっとも遠いのはC系列 (3.75) であった。この値から読み取れることは、自然科学系から成るC系列が、文系学部学生の占める割合が高い本学の学生にとっては、どうしても難しく感じられるということであろう。この傾向は昨年と比して変わらない。止むを得ない面もあるが、C系列担当者にとっては創意工夫が求められる課題であろう。Ⅱ-4「進度」では、適正值にもっとも近いのはB系列 (3.16) であり、適正值からもっとも遠いのはC系列 (3.30) である。この項目は各系列とも、ほぼ適正な範囲内に収まっていると判断できる。

○D系列について

①学生の受講姿勢

D系列は、日本語のコミュニケーション力を高める科目によって構成されている。D系列のⅠ-1「出席状況」は昨年の4.63から4.71と上昇した。一方でⅠ-2「ノート・メモ」は3.79という値であり、A系列の3.92という値よりも低くなった。Ⅰ-3「予習・復習」は1.74、Ⅰ-5「質問」は1.59と、それぞれ教養教育科目全体の平均値1.56、1.47よりも高い値を示している。

② 授業の内容・進め方

「授業の内容・進め方」では、D群はすべての項目で全系列中、最上位を占めている。この結果は、D系列の担当者の努力の結果であると同時に、履修者数を100人以下に制限して、演習型の授業を展開する同系列の各科目の特性がよく活かされた成果であると判断できる。この傾向は昨年と同じである。

③学生の満足度

Ⅲ「満足度」でもD系列は全系列中、最上位の4.36を示している。この結果についても上述のコメントが同様にあてはまると思われる。

(Ⅲ) 課題

以上の現状評価を踏まえた上で、教養教育科目に関する課題について述べる。そのさい、教養教育科目全体の課題と、各系列におけるそれとを分けて検討することにする。

A. 教養教育科目全体の課題

現状評価の項で触れておいたが、棒グラフで示された年度比較のデータ（「⑥教養教育科目」）から明らかなように、教養教育科目の改善の傾向はここ数年とほぼ同じである。商学部・政経学部の文京キャンパスへの全面移転の効果が定着してきたのではないかと推

測される。さらにこの傾向を継続させていくために文京キャンパスの教室に備えられている最新の設備のさらなる活用、大人数の履修生を相手にしたアクティブ・ラーニングの導入の工夫など、教養教育科目担当の教員の授業改善への取り組みを今後も継続して強化する必要がある。

本年度は商学部・政経学部の文京キャンパス移転の5年目にあたり、授業を取り巻く様々な諸環境（時間割、教室割など）の整備は完了した。つまり授業に関わるハードの問題は、クリアされたということである。八王子国際キャンパスの各教室における教育機器も新設や更新が完了した。今後は授業に関わるソフト、すなわち各教員の教育実践上の工夫がより一層求められるということであろう。恵まれたハードを活かす取り組みは待ったなしと言える。

「教室内の雰囲気」、「宿題・課題」といった項目は、比較的速やかに対処が可能ではないかと思われる。特に「宿題・課題」の項目は学生の「受講態度」の中の「予習・復習」の項目と関連する項目である。授業3回に1回は小さな課題を出すというようなことに取り組んだらどうであろうか。座してノートをとっておけばよいという旧態依然とした教室の了解を速やかに改める必要があるだろう。

B. 教養教育科目各系列の課題

以下、I-4「受講動機」のデータを読みながら、各系列の課題に言及したい。ここまでE系列の健闘について述べてきたが、E系列の「受講動機」の中で「講義への興味」という項目の値が、D系列を含むすべての系列の中で最下位（24.6）であることに注目したい。この値は、学生がE系列にそれほどの興味関心は無かったが、受講してみた結果、満足（4.09）したということを示している。E系列の科目を担当した教員の努力の賜物であろう。比較的、学生の満足度が高いE系列、D系列が「単位取得が楽」という項目で、それぞれ（9.0）（8.0）であり、C系列（3.9）と比して高い値であることも指摘しておく。A系列とB系列は多くの項目において中位である。

新しく登場したE系列の健闘は、この系列が「学際」系の科目で構成されていることによるのではないだろうか。そしてこのことは、教養教育の伝統的な枠組である人文科学（A系列）、社会科学（B系列）、自然科学（C系列）というカリキュラムの展開に疑問を投げかけているようにも思える。いずれにせよ、このことは大学における教養教育のブランド・デザインの問題であり、本レポートの趣旨とは直接の関係はないことではある。

(IV) まとめ

教養教育科目は大教室での大人数による講義が中心であり、この点で少人数・クラス別授業形態をとる専門科目群やゼミ科目と比して不利な条件を背負いながら、比較的健闘していると言える。昨年も記したことであるが、平成27年度の商学部・政経学部の文京キャンパスへの全面移転に伴い、教養教育科目のアンケート結果の分析も、「キャンパス別」という項目を加える必要も出てくるだろう。いずれにせよ、アンケートの結果のこのような分析を機会に、授業担当者には授業内容、内容の配列、授業の方法、教材さらには評価などにおいてさらなる創意工夫を求めたい。

6. 教養教育科目（外国語科目）

1. アンケートの実施状況

本年度の「授業改善のための学生アンケート」は平成年 30 年 6 月 17 日(月)から 7 月 12 日(金)に行われた。ここでの「外国語科目」とは、商学部、政経学部、外国語学部、工学部の 12 言語の授業を意味する。科目の内訳は、英語、アラビア語、ブラジル・ポルトガル語、中国語、フランス語、ドイツ語、韓国語、インド・パキスタン語、インドネシア・マレーシア語、ロシア語、スペイン語、日本語である。全体集計を見ると、専任、非常勤とも実施率は 100%であることから、各教員が本アンケートの重要性を認識していると言える。

2. 項目別における集計結果（設問項目別に全体の平均値と比較）

I-1 「学生の出席状況」

「Ⅲ全体集計」の「学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差」（以降、「Ⅲ」と言う。）では、昨年の平均値が 4.63 であったのに対し、今年は 4.73 と 0.1 ポイントのアップとなった。若干の改善と見ることができる。今年の全体の平均値 4.64（昨年の全体平均値 4.59）を上回っており、外国語科目の出席率は相対的に良好であると言える。

「Ⅳ コース・分野・学科別集計」の「外国語科目（商・政経・外国語・工学部、12カ国語）」（以降、「Ⅳ」と言う。）によれば、日本語の 4.81 が、最も高い値となった。昨年度の値（4.72）より+0.9 となっている。学習意欲の高い学生が増えていると考えてよいだろう。

I-2 「ノート・メモ」

「Ⅲ」では外国語科目は 4.14 となり、昨年の平均値 4.10 よりも 0.04 上回った。去年までは 2 年連続して下降していたが、回復が見られた。また今年も全体の平均値（3.98）を大きく上回っている。

ただし「Ⅳ」によれば、第二外国語が比較的高い数値を出しているのに対し、英語は 3.90 と全体平均値を下回り、IP 語も 3.80 と低い。改善の努力が望まれるが、この数値は、言語によるメソッドの違い（口頭練習重視か文法理論重視か）や使用教材のタイプ（書き込み式ドリル形式などの場合もありうる）によって変わってくるため、一概に授業評価として扱うことはできない。

I-3 「予習・復習」

今年度の「Ⅲ」の国語科目の値は 1.96 となっており、全体の平均値 1.80 と比較して 0.11 高い。本項目において、外国語科目が全体を上回るのは例年通りの結果である。また前年度の値が 1.80 であったので、若干の改善があったと考えられる。しかし 2.00 の値が毎回の予習・復習が 30 分以上であることを意味していることを考えると、学生たちの自習時間は 30 分を下回っているということで、依然として十分な値とは言えない。予習・復習の内容をより一層具体的に指示することが、求められる。

I-5「質問・オフィスアワー等」

今年度「Ⅲ」の値は 1.59 で、全体の平均値 1.58 と比較し、0.01 上回っている。前年度は全体の平均値を下回っていたので、若干の改善が見られる。昨年同様、全体の値を上回っているが、実体としては、ほとんど質問が行われていないことになる。「Ⅳ」によれば、その中でも日本語が 2.52 と突出して平均を上回っている。

留学生の積極性と日本人学生の消極的な（控えめな？）姿勢が、数値として表れている。同に、日本語担当教員のきめ細かな指導の表れでもあろう。

II-1「狙いの明確さ」

「Ⅲ」全体の平均値 4.01 に対し、外国語科目の平均値は 4.10 で高い。昨年の外国語科目は 4.11 であったため、若干だが下向きとなったが誤差の範囲であろう。外国語科目の教育目標が比較的明確であることをデータは示している。今後はさらなる向上を目指し、就職活動への生かし方や検定試験など、より一層具体的な情報提供を行っていく必要がある。

II-3「講義要項との進み具合」

「Ⅲ」全体の平均値が 4.09 であるのに対して 4.15 となり、全体を上回る結果となった。前年度は 4.22 であったので、-0.07 という結果になった。外国語科目の講義要綱は「担当複数」としてとりまとめ教員が代表して執筆することが多いので、他の科目に比べて講義要綱に準拠した授業運営は難しい。その点を考慮すると、良好な結果と言えよう。

II-5「声の大きさ」

全体の平均値 4.04 に対し、外国語科目の平均値は 4.13 となっており、0.09 上回っている。しかし昨年の外国語科目平均値は 4.19 であったため、前年を下回っている。外国語学習にとって、「声の大きさ」は発音練習等で重要な要素となるので、より高い数値を維持することを目標とすべきである。

II-6「教材などの効果」

外国語科目の平均値は 4.09 で、昨年同様、全体の平均値 4.03 を上回る結果となった。昨年の外国語科目の平均値は 4.16 なので、前年度比は-0.07 となった。しかし、他の科目に比べて外国語科目の教員は教材を有効に利用していると言えよう。

II-7「教室内の雰囲気」

外国語科目の平均値は 4.26 で、全体の平均値 4.08 を 0.18 上回った。昨年度の外国語科目は 4.27 だったので、前年度を下回った。外国語科目のクラスは小規模なため、専門科目や教養科目などの大規模クラスに比べると私語をする学生が少ないと考えられるが、その環境の優位性を生かし、さらに優良な学習環境を提供できるよう改善を続けていくべきであろう。

II-8「宿題・課題」

全体の平均値が 3.82 であったのに対し、外国語科目の平均は 4.02 であった。昨年の

値 4.05 と比較すると、-0.03 で若干下回った。継続的な学習の習慣を身につけることも外国語科目の目的の1つなので、学生たちが宿題・課題をしっかりとやるよう指導することは必須である。「IV」の外国語科目の平均 4.01 を下回る言語については、適切な宿題・課題を課すことが求められる。

II-9 「理解しやすさ」

「III」外国語科目の平均値が 3.96、全体の平均値 3.77 で、外国語科目が 0.19 上回っている。初めて学習する外国語において、理解しやすさは重要な項目となる。「IV」では 3.90 となり、昨年の外国語科目の平均値 3.94 から-0.04 と若干下回った。語学別では IM 語 (3.49)、ロシア語 (3.47) の値が低く、一層の改善が望まれる。

II-10 「見方・考え方が深まる」

「III」の外国語科目の平均値は 3.78、全体の平均値と同じであった。「IV」の外国語科目は 3.72 となり、前年 (3.74) 比-0.02 と下回った。言語別では、IP 語 (4.60)、日本語 (4.32) の値が高い。日本語は昨年度も評価が高く (4.22)、今年度はさらに+0.1 となった。異言語担当教員の間で経験交流の機会を設けることは意義があると思われる。

III 「満足度」

「III」の全体の平均値 3.95 に対し、外国語科目の平均値は 4.07 となり、0.12 上回ったが、前年度の 4.13 からは-0.06 下回った。また「IV」の外国語科目は前年 (4.08) 比-0.07 となり、やや下回った。4.00 を下回る 5 言語 (英語、中国語、ドイツ語、IM 語、ロシア語) については、全担当教員が現状を認識した上で、改善に取り組む必要がある。

3. 回答「3.0」が適切である項目

II-2 「難易度」

全体の平均値は 3.46 で、外国語科目は 3.40、外国語科目の前年 (3.37) 比は+0.03 である。この項目は値が低いほど難易度が下がることになるが、昨年 (3.37) と比較して外国語科目の難易度は若干上がったと考えられる。しかし、他の学科目と比べると外国語科目の難易度は低く認識されている。

II-4 「進度」

全体の平均値が 3.26 であったのに対し、外国語科目の平均値は 3.22 で前年 (3.19) 度比+0.03 である。他の学科目に比べ、外国語科目は進度が適切であると感じる学生が若干多いことがわかる。また「IV」の全体では 3.43 となり、前年度 (3.37) に比べ、外国語科目の授業の進度が速いと感じる学生がわずかではあるが増えたと言える。

「IV」 I-4 「受講動機」 回答の分布

多くの言語において、昨年度同様、「単位が必要」(65.2) の回答が多くのパセンテージを占めている。必修科目であるので当然の結果である。次に「講義への興味」が 21.3 と高く、全体の 2 割程度の回答なのは、学生たちが自分の興味や関心によって真剣に履修言語を

選んでいることの表れであろう。

4. 本年度の集計結果の評価について

①以下の項目のポイントが昨年度を上回った。

「Ⅲ」の平均値	平成30年度	⇒	令和元年度	差
I-1「学生の出席状況」	4.62	⇒	4.73	○(+0.11)
I-2「ノート・メモ」	4.10	⇒	4.14	○(+0.04)
I-3「予習・復習」	1.95	⇒	1.96	○(+0.01)
I-5「質問・オフィスアワー等」	1.58	⇒	1.59	○(+0.01)

(4/12項目)

「Ⅳ」の平均値	平成30年度	⇒	令和元年度	差
I-1「学生の出席状況」	4.63	⇒	4.72	○(+0.09)
I-2「ノート・メモ」	4.05	⇒	4.10	○(+0.05)
I-3「予習・復習」	1.91	⇒	1.93	○(+0.02)

(3/13項目)

「Ⅲ」「Ⅳ」とともに、「出席状況」、「ノート・メモ」、「予習・復習」の各項目がプラスとなっている。いずれも学生の学習への意欲の向上の現れと考える。本学に学習意欲の高い学生が集まってきていることの現れである。今後もこの追い風に甘んじることなく、さらなる改善を目指していきたい。

「質問・オフィスアワー等」の項目は、「Ⅳ」ではプラスであるが、「Ⅲ」では±0と横ばいである。大多数の授業を講師（非常勤）に依存している現状では、オフィスアワーを利用するのは難しいと考えられるが、オフィスアワーの制度について今後周知するよう努めなければならない。また、授業の最後などに余裕を持って質問しやすい時間を設けるなどの工夫も必要である。

② 昨年度のポイントを下回った、または同じ数値だったのは以下の項目である。

「Ⅲ」の平均値	平成30年度	⇒	令和元年度	差
Ⅱ-1「狙いの明確さ」	4.15	⇒	4.10	(△0.05)
Ⅱ-3「講義要項との進み具合」	4.22	⇒	4.15	(△0.07)
Ⅱ-5「声の大きさ」	4.23	⇒	4.13	(△0.10)
Ⅱ-7「教室内の雰囲気」	4.27	⇒	4.26	(△0.01)
Ⅱ-8「宿題・課題」	4.05	⇒	4.02	(△0.03)
Ⅱ-9「理解しやすさ」	3.98	⇒	3.96	(△0.02)
Ⅱ-10「見方・考え方が深まる」	3.80	⇒	3.78	(△0.02)
Ⅲ「満足度」	4.13	⇒	4.07	(△0.06)

「Ⅳ」の平均値	平成30年度	⇒	令和元年度	差
I-5「質問・オフィスアワー等」	1.57	⇒	1.57	(±0.00)
II-1「狙いの明確さ」	4.11	⇒	4.06	(△0.05)
II-3「講義要項との進み具合」	4.20	⇒	4.11	(△0.09)
II-5「声の大きさ」	4.19	⇒	4.07	(△0.12)
II-6「教材などの効果」	4.11	⇒	4.04	(△0.07)
II-7「教室内の雰囲気」	4.23	⇒	4.23	(±0.00)
II-8「宿題・課題」	4.01	⇒	3.99	(△0.02)
II-9「理解しやすさ」	3.94	⇒	3.90	(△0.04)
II-10「見方・考え方が深まる」	3.74	⇒	3.72	(△0.02)
III「満足度」	4.08	⇒	4.01	(△0.07)

以上、「Ⅲ」、「Ⅳ」とも多くの項目が前年度比マイナスとなっている。中でも「II-5 声の大きさ」の項目の後退が目立つ。外国語教育にとって教員の声は極めて重要なので、改善が急がれる。改善方法としては、授業中常に客観的に声の大きさや話す速度を自己点検し（一般的に、講義に夢中になると教員は早口になる傾向がある）、時々後方の学生に確認するなどしてはどうか。

5. 課題

課題は多い。さらなる改善のためにすべきことを、以下にまとめた。

- ① 問題のある学生がいた時、教員が叱る覚悟と勇気を持つこと。また、近年の受験生増に起因する偏差値の上昇から、真剣に学習に取り込む学生が増えたと思われるが、この機会を逃さず、大学全体が「まじめに勉強するのが当たり前」という風土を持つよう努力すべきである。
- ② 外国語科目にとって最も重要な「出席状況」が向上していることは評価できるが、今後はより一層、出席率を上げる工夫が必要。
- ③ 現在の学生はノートやメモを取ることが苦手な傾向にある。教員は「このくらいできて当たり前」という考え方を捨て、ノートをとるタイミングを示したり、ノートの取り方の実例を示すなどすることによって、学生がノートをとらなくてはならないような授業運営を工夫すべきである。
- ④ 「予習・復習」については、毎回の予習・復習の時間が依然として30分程度であるのは、明らかに少ない。専門科目の学習時間または個々の学生の生活状況も勘案しながら、現実的にどれ程より多くの学習時間を確保できるか検討する必要がある。また言語に触れる時間を増やすことの効果を、具体的なデータで示す必要があると考える。

- ⑤ 質問やオフィスアワーの問題は、多くの授業を講師（非常勤）に委託している現状では解決が難しい問題である。授業の最後の数分を質問時間に当てる、講師控室の場所を周知させることなどが当面の改善策として考えられる。また、オフィスアワーという概念自体がまだ広く認知されていない。根気強く継続的な周知の努力が必要である。
- ⑥ 取りまとめ教員が代表執筆する講義要綱を担当するすべての教員が目を通すように要請をする。
- ⑦ 教員の適切な声の大きさは語学にとって重要である。各教員が授業中、話しながら、速度や声の大きさを冷静に自己点検する努力が求められる。
- ⑧ 宿題や課題をもっと多く出して、やっけない場合にはペナルティを課すことによって、学生に家庭学習の習慣を持たせる。
- ⑨ 教員が一人で解説をし、和訳をするだけで完結する「教養」型の授業が依然として行われているのかもしれない。学生が目的言語をアウトプットする機会をなるべく増やすと同時に、グループで取り組む練習問題を採用するなど、アクティブ・ラーニングを取り入れるべきである。
- ⑩ 「満足度」については言語間でばらつきがあるので、個別の数字を各言語の担当責任者に周知し、低い言語に対しては改善を促す必要がある。
- ⑪ 「難易度」、「進度」については、「3.9～3.0」に値が収まっているので「適当・妥当である」と言ってよい。
- ⑫ I-4「受講動機」の回答の分布については、昨年度同様に消極的理由、すなわち「単位が必要」（平成30年度 68.8%、令和元年度 65.2%）が圧倒的に多くのパーセンテージを占めている。改善策としては大学のホームページで各言語や当該国・当該地域の文化などを紹介し、情報を提供するという方法が考えられる。
各学部（商・政経・国際）が編集している紹介冊子の内容をホームページに掲載できないだろうか。また、授業の様子や海外の提携大学、個人研修奨学金、海外研修の情報などを掲載し、新入生が入学前により多くの情報を得られるように工夫したい。
- ⑬ 全体的に前年度からポイントが下降している。上記（5-①～⑩）の具体的な対策以外に、各言語における担当教員ミーティングの場などを通して情報を共有し、各項目について具体的な対策を行っていくことが重要であると考える。

以上

6. 教養教育科目（スポーツ・トレーニング科目）

（1）実施状況

令和元年度の「授業改善のための学生アンケート」は6月17日（月）から7月12日（金）及び予備日として7月15日（月）から19日（金）で実施した。

スポーツ・トレーニング科目のアンケート内容は、講義科目や実験実習科目と異なり、体を動かす実技科目であることから独自の内容となっている。※参考資料「授業改善のための学生アンケート」実施要領・アンケート様式を参照

実施した授業科目は「トレーニング基礎演習」、「生涯スポーツ基礎演習」及び「生涯スポーツ応用演習A」で、教員10名（専任1名、講師9名）13件（クラス）となった。過年度は、平成27年度14件、平成28年度15件、平成29年度13件、平成30年度12件となっており、例年通りの実施件数となった。

回答数は、令和元年度は227件となり、平成30年度203件より24件のサンプル増となった。平成29年度234件、平成28年度193件、平成27年度193件であり過年度と比べ十分なサンプル数と言える。

（2）評価

本報告書に記載した「IVコース・分野・学科別集計」の6. 教養教育科目（3）スポーツ・トレーニング科目及び「III全体集計」の「学科目別回答の分析」（9）スポーツ・トレーニングの集計データを分析し、評価及び課題を示す。

I. 受講する姿勢や動機について

I-1 「学生の出席状況」

本年度の回答の平均値は4.75（標準偏差0.54）となり、10年間の平均は4.62となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.75	4.61	4.65	4.80	4.58	4.59	4.65	4.51	4.58	4.51	4.62

「III全体集計」の「学科目別回答の分析」（9）スポーツ・トレーニング（P36）で「出席率80%以上」と答えた学生は約94.7%となり、10年間の計の平均は90.7%となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
%	94.7	92.6	91.8	93.6	88.4	88.4	91.0	88.3	89.8	88.4	90.7

平成25年度までは国際学部を除く全学部が必修科目としていたが、平成26年度からは工学部のみが必修科目としている。直近10年間の数値にほぼ変化はないのであるが、本年度の調査は94.7%となり、平成30年度の92.6%、平成29年度の91.8%から漸増した数値となった。依然として工学部学生の授業出席に対する真面目な姿勢が窺える。必修科目であるから当然と言えば当然なのであるが、非常に高い出席状況であると言える。

I-2 「健康・運動への関心」

本年度の回答の平均値は 4.26（標準偏差 0.89）となり、10 年間の平均は 4.21 となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.26	4.05	4.30	4.26	4.13	4.23	4.27	4.21	4.15	4.20	4.21

10 年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	49.78	40.89	49.14	47.83	45.03	51.34	51.69	47.29	45.21	45.80
④そう思う %	31.28	28.57	32.33	33.60	31.41	26.82	28.98	30.65	33.28	34.35
合計	81.06	69.46	81.47	81.43	76.44	78.16	80.67	77.94	78.49	80.15

平成 30 年度の分析は 70%未満の学生しか自身の健康・運動に強い関心を持っていないという調査結果となったが、本年度の「⑤強く思う」と「④そう思う」の合計（以下、⑤+④と言う。）が 81%となり、過年度を越える水準まで回復している。

健康が生活の柱であることは言うまでも無く、80%超の水準を回復したことは、スポーツ・トレーニング科目の目標とする、「運動することの大切さを理解し、運動を実践する」また、「生涯に渡りスポーツ・運動を実践しようとする態度を養う」をよく理解し、健康と体力の保持増進に務める気構えが確立してきていると考えられる。今後もアンケート結果を 100%に限りなく近づける努力をしなければならない項目である。

I-3 「積極的参加」

本年度の平均値は 4.51（標準偏差 0.72）となり、10 年間の平均は 4.43 となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.51	4.40	4.48	4.53	4.52	4.40	4.48	4.37	4.30	4.35	4.43

10 年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	63.27	55.78	60.00	62.45	64.06	58.20	60.82	57.39	53.83	55.72
④そう思う %	25.66	29.65	29.57	29.64	25.52	27.34	29.13	29.55	33.22	31.67
合計	88.93	85.43	89.57	92.09	89.58	85.54	89.95	86.94	87.05	87.39

⑤+④は 89%となり平成 30 年度の 85%を約 3.5 ポイント回復している。

昨年度は、わずかに前年度から数値が減少していたが、今年度は回復している。積極的に授業に参加する意思を大勢の学生が継続して持っているようである。非常に良好なアンケート結果であると言えよう。

I-4 「受講動機の回答比率」

学科目別回答の分析において、「③単位が必要だから」が 56%と最も高かった。次いで「⑤

講義要項を読んで興味を持ったから」が26%で、③と⑤で82%を占めた。

工学部の必修科目であるため、③の数値が高くなることは当然であると思えるが、⑤の「講義要項を読んで興味を持ったから」の数値もかなり健闘したと考えられる。昨年度は③が54%、⑤が28%でトータル82%であった。「講義要項を読んで興味を持ったから」の数値が若干減ってしまったが、引き続き良い傾向であると思える。

II. 授業の内容や進め方について

II-1 「狙いの明確さ」

本年度の平均値は4.45（標準偏差0.72）となり、10年間の平均は4.35となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.45	4.33	4.27	4.51	4.34	4.37	4.36	4.33	4.25	4.33	4.35

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	57.71	52.48	50.00	58.10	53.13	54.41	53.30	51.32	44.56	50.65
④と思う %	30.84	32.18	30.17	34.39	29.17	30.65	31.30	31.58	39.53	33.53
合計	88.55	84.66	80.17	92.49	82.30	85.06	84.60	82.90	84.09	84.18

学科目別回答の分析では⑤+④が88%であり、10年間80%以上の高い水準を継続している。平成28年度は一気に92%と前年度を10ポイントも上回り、本年度も昨年度に比べ約4ポイント上回ったことから、「狙いの明確さ」についての学生の評価は非常に高いと考えられる。

II-2 「難易度」

この項目は、回答が「3.00」に近いほど妥当な評価とされている。本年度の平均値は3.14（標準偏差0.59）となり、ほとんどの学生が「ちょうど良い」と評価しており、良好な結果であると判断できる。また、この10年間の値は3.08から3.26の水準にあり、平均は3.15となっていることから、良好な状態が維持できていると考えられる。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	3.14	3.15	3.15	3.11	3.10	3.08	3.18	3.15	3.17	3.26	3.15

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
③ちょうど良い%	82.82	70.65	71.00	72.73	78.65	74.13	69.83	72.98	71.76	67.78

「③ちょうど良い」の占める率が10年間で68%から83%で推移しており、本年度は10年間で最も高い数値を示した。前年度より約12ポイント上昇したが、「⑤難しすぎる」及び「④やや難しい」の占める割合が26%であり、4分の1の学生が難しさを感じている点を分析し対処していきたい。

II-3 「進捗」

この項目は、回答が「3.00」に近いほど妥当な評価とされている。本年度の平均値は3.05（標準偏差0.38）となり、ほとんどの学生が「ちょうど良い」と評価しており、良好な授業の進め方であると判断できる。また、この10年間の値は3.05から3.19の水準にあり、平均は3.11となっていることから、良好な状態が維持できていると言えよう。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	3.05	3.13	3.13	3.15	3.14	3.05	3.15	3.09	3.06	3.19	3.11

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
③ちょうど良い%	94.71	87.13	84.91	83.86	88.02	85.82	82.94	89.12	86.91	83.07

「③ちょうど良い」の占める率が10年間で83%から95%で推移しており、II-2「難易度」と同じく、本年度は10年間で最も高い数値を示した。前年度より7.5ポイント上昇し、今年度は大変に良好な傾向を示した。今後も継続して高いアンケート評価が得られるよう鋭意努力していきたい。

II-4 「説明方法・分かりやすさ」

本年度の平均値は4.20（標準偏差0.90）となり、10年間の平均は4.19となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.20	4.21	4.14	4.22	4.20	4.17	4.15	4.22	4.11	4.23	4.19

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	48.67	48.51	44.16	48.03	48.96	51.91	45.75	48.04	40.66	48.48
④そう思う %	26.99	30.20	22.51	27.95	25.00	18.70	26.36	25.98	30.37	28.22
合計	75.66	78.71	66.67	75.98	73.96	70.61	72.11	74.02	71.03	76.70

⑤+④の占める割合が75%になっており、昨年から3ポイント下回る結果となった。しかしながら、この項目は平成29年度を除き70%以上の学生が「説明が分かりやすい」と回答していることから、良好な傾向が窺えられる項目である。しかし更なる教員自身の改善努力が必要な項目になっているとも考えられる。より良好なアンケートの数値を来年度は見せられるようにしたいものである。

II-5 「話し方や声の聞き取りやすさ」

本年度の平均値は4.63（標準偏差0.65）となり、10年間の平均は4.48となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.63	4.48	4.48	4.40	4.50	4.52	4.45	4.48	4.38	4.45	4.48

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	72.12	64.50	59.05	55.16	66.67	65.10	61.73	65.84	58.77	62.32
④そう思う %	19.03	22.00	22.84	30.56	18.23	23.14	23.30	23.47	27.43	26.39
合計	91.15	86.50	81.89	85.72	84.90	88.24	85.03	89.31	86.20	88.71

⑤+④の占める割合が91%になっており、昨年度から4.6ポイント上回る結果となった。昨年度に引き続き継続して設定目標値を大幅にクリアしている。大変に良い傾向である。教員各自の努力が実を結んだ結果と言えよう。スポーツ・トレーニング科目としては基本中の基本の項目である。今後とも継続して良い数値を記録していきたい。

II-6 「学生とのコミュニケーション」

本年度の平均値は4.51（標準偏差0.71）となり、10年間の平均は4.36となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.51	4.32	4.38	4.30	4.34	4.37	4.25	4.38	4.32	4.44	4.36

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	63.44	55.17	54.31	50.59	56.48	58.30	49.58	56.74	48.33	58.41
④そう思う %	24.67	26.11	25.86	30.83	23.32	23.94	29.78	26.59	33.61	27.83
合計	88.11	81.28	80.17	81.42	79.80	82.24	79.36	83.33	81.94	88.71

⑤+④の占める割合が88%を占めており、多くの学生が「学生とのコミュニケーション」の項目を高く評価している。今年度は昨年から6.8ポイント上回る結果となり、課題であった設定目標値85%をクリアすることが出来た。明確な目標値の設定と教員各自の努力の結果であると言えよう。

II-7 「リーダーシップ」

本年度の平均値は4.52（標準偏差0.74）となり、10年間の平均は4.40となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.52	4.31	4.34	4.38	4.42	4.42	4.36	4.42	4.36	4.46	4.40

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	64.76	53.73	51.29	51.79	62.50	59.39	54.08	56.85	52.18	60.00
④そう思う %	23.35	27.86	26.29	35.06	20.31	24.14	29.76	29.27	32.38	26.96
合計	88.11	81.59	77.58	86.85	82.81	83.53	83.84	86.12	84.56	86.96

⑤+④の占める割合が88%を占めており、多くの学生が教員のリーダーシップを評価し

ている。過年度からの課題であった設定目標値である 88%をクリアすることが出来た。「民主的・協動的リーダーシップ」は指導スキルには欠かせないものである。今後とも鋭意努力し、評価の向上を強く目指さなければいけない項目と捉えている。

II-8 「授業の雰囲気」

本年度の平均値は 4.50（標準偏差 0.71）となり、10年間の平均は 4.44 となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.50	4.37	4.37	4.43	4.55	4.42	4.42	4.48	4.37	4.46	4.44

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	61.95	54.68	51.29	56.13	68.75	60.54	55.93	58.80	51.76	59.91
④そう思う %	26.55	30.05	28.88	31.23	18.75	23.75	31.36	30.15	33.84	26.48
合計	88.50	84.73	80.17	87.36	87.50	84.29	87.29	88.95	85.60	86.39

⑤+④の占める割合は昨年度から 3.7 ポイント上昇した。非常に良い傾向である 80%台の高水準を維持し続けている。この項目に影響を与える要素は、学生間の集団力学、施設設備、必要備品などであると考えられるが、教員の指導スキルが最も影響する項目である。設定目標値は高く 90%である。しかし、未だにその設定目標値の達成はできていない。鋭意努力し、更に向上を目指す必要がある項目のひとつであると考ええる。

II-9 「理解しやすさ」

本年度の平均値は 4.48（標準偏差 0.73）となり、10年間の平均は 4.40 となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.48	4.34	4.36	4.40	4.44	4.41	4.38	4.37	4.37	4.41	4.40

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	61.23	53.69	50.21	55.34	59.07	59.39	53.73	55.09	51.00	56.09
④そう思う %	25.99	29.56	31.76	30.83	26.94	24.52	31.53	31.13	33.44	29.71
合計	87.22	83.25	81.97	86.17	86.01	83.91	85.26	86.22	84.44	85.80

⑤+④の占める割合が達成目標値としている 85%をクリアした。実技が中心の授業であるから「理解しやすさ」は当然のことであるとの認識もあろうが、トレーニングに関する知識には若干複雑な要素があり、説明に工夫が必要である。今後とも高い評価をキープしていくために、更に努力していかねばならない項目であろう。

II-10 「知識・技術が身につく」

本年度の平均値は 4.32（標準偏差 0.78）となり、10年間の平均は 4.27 となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.32	4.21	4.22	4.31	4.30	4.27	4.25	4.23	4.26	4.28	4.27

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	50.22	46.80	43.97	47.62	52.08	51.92	47.63	44.74	42.14	48.62
④そう思う %	33.04	32.02	31.03	36.90	27.08	26.92	32.20	37.59	40.13	33.09
合計	83.26	78.82	74.97	84.52	79.16	78.84	79.83	82.33	82.27	81.71

⑤+④の占める割合が平成28年度は85%という高い数値を記録したが、平成29年度は10ポイント減少した。しかし、平成30年度は若干上昇し、本年度は83%まで更に上昇したことから、高い評価を継続して得ていると考えられる項目である。平成28年度のように非常に高い評価を得られるよう、鋭意努力する必要がある。今後も継続して目標値80%をクリアしていきたいと考えている。

II-1-1 「健康・体力維持に役立つ」

本年度の平均値は4.44（標準偏差0.76）となり、10年間の平均は4.36となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.44	4.29	4.32	4.34	4.42	4.38	4.33	4.33	4.36	4.38	4.36

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	58.59	51.98	47.19	48.81	59.90	58.08	50.93	50.47	51.00	53.11
④そう思う %	28.19	29.70	33.77	37.30	23.44	25.77	33.79	35.08	33.61	32.42
合計	86.78	81.68	80.96	86.11	83.34	83.85	84.72	85.55	84.61	85.53

⑤+④の占める割合が近年は約80%前後の数値であったが、本年度は86%を越え、達成目標値85%をクリアすることが出来た。現在は目標値を85%に設定しているが、90%に目標値を設定し直すべきかもしれない項目である。この項目の評価は体育実技科目の生命線である。高い評価を得られ続けられるように今後とも鋭意努力していきたい。

III. 総合的に見て、この授業に満足していますか

本年度の平均値は4.48（標準偏差0.75）となり、10年間の平均は4.44となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.48	4.33	4.43	4.44	4.53	4.47	4.42	4.43	4.39	4.46	4.44

10年間の学科目別回答の分析データは次のとおりである。

回答／年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22
⑤強く思う%	61.78	56.16	56.90	56.57	65.63	64.23	59.22	60.04	55.48	59.94

④そう思う %	26.22	27.09	25.86	31.87	22.40	21.92	26.62	26.45	30.19	28.01
合計	88.00	83.25	82.76	88.44	88.03	86.15	85.84	86.49	85.67	87.95

「強くそう思う」及び「そう思う」の占める割合が、平成 28 年度まで 86%を超えていたが、平成 29 年度、平成 30 年度と 3 ポイント下回った。今年度は 88%と 5 ポイント上昇している。達成目標値は 90%であるが、未だに達成目標値は一度もクリアされていない。継続して総合的満足度を高められるよう鋭意努力していきたいと考えている。

IV. スポーツ・トレーニング用の独自の設問項目

IV-1 「希望種目」

本年度の平均値は 4.43 (標準偏差 0.83) となり、10 年間の平均は 4.36 となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.43	4.36	4.45	4.40	4.47	4.49	4.35	4.28	4.15	4.19	4.36

8 種類のスポーツ種目を選択できるように準備している。8 種類あれば十分に満足できる選択が必ずできるとは言い難いにしても、ほぼ希望のスポーツ種目が選択できるのではないだろうか。10 年間の平均である 4.36 はそれを物語っていると考えられる。なるべく希望種目が選べるように、継続してできる限りの配慮を考えていきたい。

IV-2 「時間帯」

本年度の平均値は 4.38 (標準偏差 0.92) となり、10 年間の平均は 4.22 となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	4.38	4.33	4.43	4.37	4.44	4.36	4.06	3.92	3.93	3.97	4.22

数値は高いが授業の主体となる工学部学生は必修科目として時間帯が設定されてしまっている。従って時間帯は学生の満足を十分には得ていないと考えている。特に国際学部は 1 時限目に体育実技の授業が設定されている。体育実技の時間帯としては相応しいとは思われない。現在の授業時間設定は工学部の必修科目ということを考えればやむを得ないものである。10 年間の平均 4.38 という高い評価を素直に受け入れても良いのかもしれない。

IV-3 「次年度の履修希望」

本年度の平均値は 3.64 (標準偏差 1.27) となり、10 年間の平均は 3.69 となった。

年度	R01	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平均
平均値	3.64	3.66	3.94	3.76	3.82	3.81	3.68	3.47	3.56	3.60	3.69

2 年次以降に体育実技「生涯スポーツ応用演習 (自由科目)」を履修したい学生の比率は良い傾向を示していると考えられる。「希望種目」「時間帯」の設問と同様に 1 年生のみに限定して調査する必要性は感じるが、④の「そう思う」に近い評価は、ほぼほぼ満足すべき数値であるように思われる。

(3) 課題

- ① 平成 17 年度の達成値を参考にして、平成 18 年度以降の「達成する目標値」を設定した(表 1 参照)。この数値は努力目標値であり決して絶対的目標値ではない。また数字の根拠となる理論も明確には説明できない。しかし、「努力目標数値」と考え、時間をかけて努力していくと根拠のある数値を見つめることができるであろうという前提のもとで設定している。「希望種目」「時間帯」「次年度履修希望」には「達成目標値」を設定してはいない。
- ② 表 1 の達成値はアンケートの調査項目で、「⑤強く思う、④そう思う」と回答した学生の割合である。但し、「難易度」「進度」については、「③ちょうど良い」と解答した学生の割合である。また、表の項目の「達成・未達成・増減」は、達成目標値を達成した項目は◎印、未達成は×印で表し、そして、今回の調査が前年度に比べて増加した場合は↑、減少した場合は↓、横這いは→で表している。数値は、小数点以下は四捨五入している。

表 1 「年度別達成値」と「達成目標値」の推移

	調査項目	年度別達成値								達成目標値	◎達成
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度		
I-1	学生出席状況	88%	91%	88%	88%	94%	92%	93%	95%	95%	◎↑
I-2	健康・運動関心	78%	81%	78%	76%	81%	81%	69%	81%	80%	◎↑
I-3	積極的参加	87%	90%	86%	90%	92%	90%	85%	89%	85%	◎↑
II-1	狙いの明確さ	83%	85%	85%	82%	93%	80%	85%	88%	80%	◎↑
II-2	難易度	73%	70%	74%	79%	73%	71%	71%	83%	80%	◎↑
II-3	進度	89%	83%	86%	88%	84%	85%	87%	95%	85%	◎↑
II-4	説明方法	74%	72%	71%	74%	76%	67%	79%	75%	75%	◎↓
II-5	話し方・声の大きさ	89%	85%	88%	85%	86%	82%	87%	91%	87%	◎↑
II-6	コミュニケーション	83%	79%	82%	80%	82%	80%	81%	88%	85%	◎↑
II-7	教員のリーダーシップ	86%	84%	84%	83%	87%	80%	82%	88%	88%	◎↑
II-8	授業の雰囲気	89%	87%	84%	88%	87%	80%	85%	86%	90%	×↑
II-9	理解しやすさ	86%	85%	84%	86%	86%	82%	83%	87%	85%	◎↑
II-10	知識・技術の習得	82%	80%	79%	79%	85%	75%	79%	83%	80%	◎↑
II-11	健康・体力維持	85%	85%	84%	83%	86%	81%	82%	87%	85%	◎↑
III	総合的な満足度	86%	86%	86%	88%	88%	89%	83%	88%	90%	×↑
IV-1	希望種目										
IV-2	時間帯										
IV-3	次年度履修希望										

総括

- ① 「達成目標値」をクリアした項目：13 項目（昨年度より 8 項目増）
- ② 「達成目標値」をクリアできなかった項目：2 項目（昨年度より 8 項目減）
- ③ 「達成目標値」に一層の努力を要する項目：「授業の雰囲気」「総合的な満足度」の 2 項目

備考

◆令和2年度の努力目標設定

平成30年度と令和元年度を比較すると、達成目標値をクリアした項目数が13項目に増加した。教員が共通意識を持ち、努力をした結果は数値に正確に表れると考えなければならない。つまり、各教員が鋭意努力し、工夫を重ねたという結果のあらわれであろう。今年度も気持ちを入れかえ更なる努力を続けて行き、達成目標値に未達成の項目2つの達成に向けて頑張りたい。

令和2年度も「体育教員室」に努力目標として「説明方法を改善しよう」のポスターを継続して掲示した。その結果か、この項目の学生の評価結果は平成30年度より設定目標値75%を連続して達成している。良い傾向であると考えられる。しかし、初心にかえり謙虚な姿勢でポスターを見直し、更に数値を上げる努力を継続して行きたい。

文京キャンパスにおける体育実技授業は平成27年度より教職科目履修者のみであったが、令和元年度より一般学生も履修可能となった。トレーニング場としては少々狭い空間ではあるが、素晴らしい施設が文京キャンパスには整えられている。教職科目履修者だけでなく一般学生の履修も可能になったことは一般学生にとっては喜ばしいことである。

◆討議のための参考資料として「表2」を作成した。「表1」の補完として利用できる

表2 「各年度の平均値の推移」

	調査項目	各年度の平均値									
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
I-1	学生出席状況	4.47	4.58	4.51	4.65	4.59	4.58	4.80	4.65	4.61	4.75
I-2	健康・運動関心	4.08	4.15	4.21	4.27	4.23	4.13	4.26	4.30	4.05	4.26
I-3	積極的参加	4.28	4.30	4.37	4.48	4.40	4.52	4.53	4.48	4.40	4.51
II-1	狙いの明確さ	4.23	4.25	4.33	4.36	4.37	4.34	4.51	4.27	4.33	4.45
II-2	難易度	3.20	3.17	3.15	3.18	3.08	3.10	3.11	3.15	3.15	3.14
II-3	進度	3.14	3.06	3.09	3.15	3.05	3.14	3.15	3.13	3.13	3.05
II-4	説明方法	4.02	4.11	4.22	4.15	4.17	4.20	4.22	4.14	4.21	4.20
II-5	話し方・声の大きさ	4.36	4.38	4.48	4.45	4.52	4.50	4.40	4.48	4.48	4.63
II-6	コミュニケーション	4.29	4.32	4.38	4.25	4.37	4.34	4.30	4.38	4.32	4.51
II-7	教員のリーダーシップ	4.32	4.36	4.42	4.36	4.42	4.42	4.38	4.34	4.31	4.52
II-8	授業の雰囲気	4.34	4.37	4.48	4.42	4.42	4.55	4.43	4.37	4.37	4.50
II-9	理解しやすさ	4.29	4.37	4.37	4.38	4.41	4.44	4.40	4.36	4.34	4.48
II-10	知識・技術の習得	4.13	4.26	4.23	4.25	4.27	4.30	4.31	4.22	4.21	4.32
II-11	健康・体力維持	4.22	4.36	4.33	4.33	4.38	4.42	4.34	4.32	4.29	4.44
III	総合的な満足度	4.34	4.39	4.43	4.42	4.47	4.53	4.44	4.43	4.33	4.48
IV-1	希望種目	4.09	4.15	4.28	4.35	4.47	4.47	4.40	4.45	4.36	4.43
IV-2	時間帯	3.80	3.93	3.92	4.06	4.36	4.44	4.37	4.43	4.33	4.38
IV-3	次年度履修希望	3.51	3.56	3.47	3.68	3.81	3.82	3.76	3.94	3.66	3.64

以上

7. 教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目

授業評価の対象となる教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座の科目数の内訳は、教職課程講座 25 科目、社会教育主事講座 7 科目、日本語教員養成基礎講座 4 科目である。このうち社会教育主事講座の 7 科目は教職課程の科目と重複しており、実質合計は 29 科目となっている。

「全体集計」の「学科目別（講義等科目）平均値・標準偏差」で集計した「Ⅲの満足度」について、3 講座の科目全体で見ると、今年度の平均値は 4.25 であった。これは、全学（946 科目）の平均 3.95 をかなり上回っている。また、昨年度の平均値 4.34 よりも若干低い数値となっている。これは、社会教育主事講座科目の平均値がやや低かったことによるものであり、他の 2 科目については改善がすすんでいるといえる。

教職課程・社会教育主事講座・日本語教員養成基礎講座科目の評価及び課題について

－「Ⅳ コース・分野・学科別集計」分析－

（1）教職課程について

I 受講する姿勢や動機について

I－1 教職科目全体での「学生の出席状況」については、平均値は 4.67

（標準偏差 0.62）であり、昨年度の 4.57（標準偏差 0.66）より高い。

出席状況は、90%以上の出席率が約 76%と一段と良好になる傾向が進んでいる。教職科目の履修学生の出席状況は、大多数の学生はほとんど休まず履修しているのが現状である。出席状況の良好な傾向は、大学全体の傾向でもあるが、教職科目については、教員免許を取得し教師を目指すという明確な目標があり、引き続き目的意識の高い学生が履修している状況を反映していると考えられる。近年の教職課程登録者の減少傾向も、履修学生の出席状況には影響していない。

他方で、運動部学生では、試合等でやむを得ない欠席もみられる。教職課程を履修する運動部学生は、卒業に必要な単位数を大幅に超える科目の履修のために頑張っているが、なかには、部活動のためと理由付けをして安易に欠席する学生も散見される。欠席届を提出すれば欠席の回数が多くてもよいと誤解している学生や、授業前に次回の授業の欠席届が授業担当者に提出されない場合もある。これらの点について、引き続き学期初めのガイダンスや、授業時に学生に注意を促すことが必要である。

I－2 「授業内容についてノートやメモをとるか」については、平均値は 4.12

（標準偏差 1.05）であり、昨年度の 4.06（標準偏差 1.13）よりも高くなっている。

ノートやメモをとる学生も「90%以上」及び「80%以上」と答えた学生の合計でみると昨年度と同様に約 73%である。さきの良好な出席状況とともに、教職課程履修学生の取り組み姿勢として評価できる。

もっとも、ノートもとらずにただ聴いているだけという学生の存在は、全学でも見られるようで、教職課程でも、そうした学生が若干いるのは事実である。授業の進め方は授業担当者によって多様であるが、中学校、高等学校で生徒にノートをとらせる指導をすることになる学生たちには、より積極的な取り組み姿勢を求めている。

I-3 「予習・復習」をするかについては、平均値は1.66（標準偏差0.93）であり、昨年度の1.71（標準偏差0.99）に比べてやや低下した。

これは全学の平均1.80と比べて数値が低いという数少ない設問項目である。「予習・復習」時間を「1時間以内」と答えた学生の割合が約80%、このうち「30分以内」は約56%で昨年度と変わらないことからすると、休まず出席はしてノートも取るが、授業外での学修があまり行われていない実態が浮き彫りになる。今後は過半数を占める「30分以内」の層とともに、中位層の増加に向けての改善が求められることになる。

学生からすると、各学部での学修に加えて、多くの教職科目を履修していることから、時間割には空き時間がない状況で、予習・復習に時間を割けていないといった弁明もあるかもしれない。しかし、生徒の学習を促す立場に立つ教員を目指す学生がこの状況では、問題であろう。授業担当者として、課題や宿題を、予習や復習を促すねらいも持たせて課すなど引き続き工夫を凝らす努力が求められている。

I-4 「受講の動機」については、③「単位が必要だから」が約68%となっており、昨年度の約75%から7ポイント余り低下したが、例年の通り圧倒的に高い。次いで、⑤「時間帯が空いている」が約16%（昨年度約14%）、④「単位取得が楽」が約8%（昨年度約7%）などとなっている。また、②「教員にひかれて」はほとんどいない。

教員免許取得のために学生が科目を履修している状況から考えて、③「単位が必要だから」が多いのは当然である。「教職論」など履修学生が多く、教科の種類にかかわらず履修が必要な教職科目については、同一科目を複数設置している場合があるが、多くの学生は必修科目の選択との兼ね合いで事実上選択の余地はないとも聞く。さらに、教科教育法のように、授業担当者が一人という科目も少なくないことからすると、②「教員にひかれて」を回答できるような選択肢がないのが現実である。もちろん、授業担当者が一人でも複数でも、学生の関心や意欲を喚起できる魅力ある授業づくりに邁進すべきことは言うまでもないことである。

教職課程事務局では、毎年、学生が学部の必修科目と重複するために教職科目を選択・履修できなくなるようなことのないよう腐心をしている。こうした事務局の努力には敬意を表す。時間割編成は毎年複雑さを増しているが、学生の利便性を図るべく、引き続き努力していきたい。

I-5 「質問に行く（オフィスアワー等）」については、平均値は1.48（標準偏差0.99）であり、昨年度（1.55、標準偏差1.01）、一昨年度に比べてやや後退傾向となっている。全学の平均値1.58と比べても低い。

質問の少なさは、今後も全学的な取組の中で改善する必要があるが、その一方で、教員志望の強い学生は、オフィスアワーなどに質問・相談に来る場合もあり、一部学生に対しては授業担当者あるいは教職専任教員が日常的に対応しているのも事実である。今後も、さらに、学生とのコミュニケーションを密にし、「履修カルテ」などを用いて相談等に気軽に応える関係を築くことが引き続き必要である。

II 授業の内容や進め方について

II-1 「授業の狙いの明確さ」については、平均値は 4.33（標準偏差 0.89）であり、昨年度の 4.34（標準偏差 0.86）とほぼ同程度である。

もともと教員免許取得を目指す教職課程の科目は狙いが明確であることに加え、学生も教職課程を履修しているという目的意識をもっており、授業の狙いは多くの学生に理解されていると考えられる。

II-2 「授業の難易度」については、平均値は 3.36（標準偏差 0.63）であり、昨年度の 3.34（標準偏差 0.65）とほぼ同水準である。

③「ちょうどよい」という学生は約 62%、④「やや難しい」は約 30%であり、昨年度の③約 64%、④約 26%と比べても、また「易しい」の回答がほとんどないことから、多くの学生が理解できる範囲内に収まっているといえることができる。

毎年、授業担当者は、履修学生の理解の状況を見定め、微調整を図りながら授業を進めている。今後も、授業の途中ででも学生の反応を見ながら、わかりやすい授業を心掛けていく基本姿勢を大切にしていきたい。

II-3 「講義要項に沿った授業」については、平均値は 4.42（標準偏差 0.77）であり、昨年度 4.30（標準偏差 0.85）よりもさらに高くなった。

これは、講義要項に沿って授業がなされている状況が定着しているといえる。

講義要項は、授業担当者が学生に示す授業進行の約束である。担当者複数で同一科目を行う場合も、授業開始前の摺り合わせができています。年間授業計画の作成が求められる中学校や高等学校の教員を目指そうとする教職課程履修の学生には、その意義を周知するためにも、講義要項に沿った授業の実施を引き続きすすめたい。講義要項をあまり読んでいない学生もいるようなので、学生への指導も徹底する必要があります。

II-4 「授業の進度」については、平均値は 3.12（標準偏差 0.51）であり、昨年度の 3.15（標準偏差 0.54）と比べてあまり大きな変化はない。

③「どちらとも言えない」が昨年度と同様に約 81%をしめている。II-2「授業の難易度」と関連する設問であるが、履修学生の多くは授業の進度に困難を感じることはない判断できる。

II-5 「話し方や声の聞き取りやすさ」については、平均値は 4.33（標準偏差 0.95）であり、昨年度 4.20（標準偏差 0.99）よりも上昇した。

II-4の設問（「授業の進度」）への肯定的な評価とも関連が深く、授業担当者が授業内で受講学生の様子を注視しながら授業を進めていることが窺える。

II-6 「教材等の有効性」については、平均値は 4.34（標準偏差 0.90）であり、昨年度の 4.22（標準偏差 0.99）よりも高くなっている。

授業担当者は、最新の教育情報を入手し、日々教材の工夫に努めている。また、資料プリントの配布のほか、映像資料やパワーポイントなど ICT機器の活用など様々な工夫

に努めている。引き続き、こうした方向での授業改善を維持していきたい。

Ⅱ－７ 「学習にふさわしい雰囲気」については、4.53（標準偏差 0.73）であり、昨年度の 4.46（標準偏差 0.79）よりもさらに上昇した。

「⑤とくにそう思う」も 67%に上っている。数ある設問の中でも平均値が高水準にあり、大学全体の平均値（4.08）と比べてもかなり高い。

教職課程科目の授業では、静謐な教育環境が保たれ、改善しているといえる。これは、比較的履修学生数が少ないうえに、教職の授業であることを授業担当者も学生に意識させ、学生もその意識をもって授業に臨んでいると考えられる。

Ⅱ－８ 「宿題・課題の適切さ」については、平均値が 4.13（標準偏差 0.99）であり、昨年度の 4.05（標準偏差 1.00）よりも高くなっている。

教職課程の科目では、レポートや指導案の作成を宿題・課題として課す担当者が多い。学生には負担と感ずることも予想されるが、数値を見ると、学生にはこうした宿題・課題が適切であると理解されていると考えることができる。

他方で、Ⅰ－３「予習・復習」の設問では、あまり予習・復習の時間をとっていないと回答している学生が多いことから、宿題・課題は予習・復習とは別だという意識をもっているであろう。予習・復習を意図した宿題の提示など、学修の定着に向けた工夫が引き続き求められる。

Ⅱ－９ 「学習内容の理解」については、平均値が 4.04（標準偏差 0.96）であり、昨年度の 4.13（標準偏差 0.95）よりもやや低下した。

理解していると肯定的に評価した（⑤+④の合計）学生は約 71%となっており、昨年度より 6 ポイント低下した。ただ、大学全体の平均値（3.77）、肯定的評価（⑤+④の合計、62%）よりも高く、憂慮すべき傾向とは必ずしも言えない。

Ⅱ－２「授業の難易度」やⅡ－４「授業の進度」などの設問ともかかわっていると考えられるが、引き続き履修学生が理解しやすい授業を目指してさらなる授業改善に精励することが求められる。もっとも、中学生や高校生ではない大学生の学びには、ただ理解しやすいだけではなく、課題を提示して学生の主体的な追究に委ねる手法もありうる。その場合でも、学生が宿題や復習などを通して理解を深める道筋を授業担当者が準備し、明示するなどの必要がある。

Ⅱ－10 「ものの見方や考え方が深まる」については、平均値は 4.18（標準偏差 0.91）であり、昨年度の 4.23（標準偏差 0.87）と比べてやや低下した。

大学全体の平均値 3.78 と比べても高く、おおむね良好な結果となっている。この設問は、教育観や指導観、教科観、生徒観といった「観」にかかわっている。「観」の深まりは、教職課程の科目指導にとって、また教員養成にとってきわめて重要な部分である。今後も、視野の広い、志の高い教員を目指して教職課程の指導を行っていきたい。

Ⅲ 「総合的な満足度」

「満足度」は、授業改善にむけての総合的な評価項目であるが、今年度の平均値は 4.30 (標準偏差 0.87) であり、昨年度の 4.31 (標準偏差 0.88)、一昨年度の 4.26 (同 0.85) と比べてもおおむね良好な結果であるといえる。

全体としては、教職課程の科目の授業に満足している学生が大半を占めていることがわかる。引き続き、一人でも多くの学生が満足できるような授業を目指して、工夫改善を行うよう心掛ける必要がある。

昨年度は一昨年度よりも数値の下回った設問がいくつかあったが、そのうち、I-2「授業内容についてノートやメモをとるか」、II-5「話し方や聞き取りやすさ」、II-6「教材の有効性」などは改善が図られた。授業担当者の工夫が奏功したものと評価できる。他方で、I-3「予習・復習」(1.80⇒1.71⇒1.66)、I-5「質問に行く」(1.68⇒1.55⇒1.48)については、ここ3年間で漸減傾向にある点は改善すべき課題として共有を図る必要がある。

今年度の教職課程は、文部科学省の教職課程再課程審査を経て新たに始動した。また若干の授業担当者の交替も行われた。こうした節目の時期にあって、本学の教職課程では、担当教員が目標を共有し、これまでの改善への努力を継続・発展させることが求められている。

第一に、授業担当者が授業時に個々の学生への指導の充実を図るだけでなく、年度初めの教職課程の全体ガイダンスを利用して、実際に教員を目指そうとする学生を増やすとともに、講義要項の確認を促したり、宿題や課題の意義について周知したりするなどのきめ細やかな学生指導をすすめる。

第二に、新学習指導要領に盛り込まれる「アクティブ・ラーニングの視点」(「主体的・対話的で深い学び」)に立った授業改善の趣旨を汲んで、教職課程科目の授業も講義一辺倒に偏らない授業改善を図る。

幸いなことに、今年度は新たに教壇に立った卒業生は多かった。また在学生にも、教職への強い意思をもつ学生が少なくない。今後も、本学に課せられた質の高い教職教育の実現を目指して、授業改善に引き続き邁進したい。

(2) 社会教育主事講座について

今年度は授業評価の実施科目が7科目であり、いずれも教職課程との共通科目が対象となっている。しかし履修学生のうち、社会教育主事を目指す学生はごくわずかである。

昨年度(3科目)は実施科目数が少なく、かつ対象数もかなり限定されていた。以上の理由から、細かい経年比較は意味がないが、今年度の数値から読み取れる傾向を示す。

I 受講する姿勢や動機について

I-1「学生の出席状況」は4.79(昨年度4.60)と良好である。I-2「授業内容についてノートやメモをとる」についても4.34(昨年度4.00)であった。I-4「受講の動機」は「単位が必要だから」が約61%、「講義への興味」約16%となっている。I-3「予習・復習」は1.66(昨年度1.60)、I-5「質問に行く(オフィスアワー等)」は1.29(昨

年度 1.20) となり、やや低い数値であった。

以上の数値から見る限り、学生は、出席はするが、積極的に授業に取り組んでいるとまではいえない面が窺える。

II 授業の内容や進め方について

II-1「授業の狙いの明確さ」は 4.21 であり、昨年度 (4.80) に比べてかなり低下した。

II-2「授業の難易度」は 3.44 (昨年度 3.80)、II-3「講義要項との進み具合」も 4.43 (昨年度 4.60)、II-4「授業の進度」は 3.14 (昨年度 3.00) とおおむね進め方についても良好と考えられる。II-5「話し方や声の聞き取りやすさ」は 4.39 (昨年度 5.00)、II-6「教材等の有効性」は 4.20 (昨年度 4.60)、II-7「学習にふさわしい雰囲気」は 4.53 (昨年度 5.00) となっており、昨年度に比べていずれも低下した。昨年度と同一条件での比較に難があり、一概に評価できない部分があるが、おおむね良好といえるのではない。

II-8「宿題・課題の適切さ」は 3.89 (昨年度 4.75)、II-9「学習内容の理解」は 3.80 (昨年度 4.20)、II-10「ものの見方や考え方が深まる」は 4.02 (昨年度 4.40) となっている平均値も、昨年度よりは低下しているが、先述した教職課程科目の評価も勘案すると、実際の授業場面において極端な変化が生じているとはいえないと考えられる。

III「総合的な満足度」も 4.11 (昨年度 4.40) となっており、大学全体の平均値 (3.95) と比べてもおおむね良好と考えられる。

今回の評価対象となった社会教育主事講座科目は、教職課程科目と重複している。重複しない社会教育主事講座科目は受講学生がごくわずかに留まるのが現状である。後者については、授業担当者は毎回の授業で一人一人の学生とコミュニケーションを取り、理解の状況を看取りながら授業を進めている。今後とも、引き続きこうした取組に努めていきたい。

(3) 日本語教員養成基礎講座について

日本語教員養成基礎講座の科目は全部で 12 あり、そのうち、「授業改善のためのアンケート」が実施されたものは、「日本語教育学概論」、「日本語学概論」、「日本語学各論 A」、「日本語教授法 A」の 4 科目であった（本講座のこれ以外の科目は、「日本語学各論 B」、「日本語学各論 C」、「日本語学各論 D」、「日本語学各論 E」、「日本語教授法 B」、「日本語教育教材論」、「日本語評価法」、「日本語実習」）。

アンケート結果を見ると、Ⅲ「総合的に見て、この授業に満足していますか。」の平均値が 4.57（標準偏差 0.61）であり、例年同様、総合的に見て、本講座の授業が高い評価を得ていることがわかる（選択肢は、5 が「強くそう思う」、4 が「そう思う」、3 が「どちらとも言えない」、2 が「そう思わない」、1 が「全くそう思わない」。ほかの設問についても、断りのないかぎり同様）。

以下、アンケート結果を項目別に順に見ていく。

I 「受講する姿勢や動機について」

I-1「あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。」については、平均値が 4.72（標準偏差 0.49）であり、I-2「あなたは授業での口頭説明や板書内容などについて、ノートあるいはメモをとっていますか。」については、平均値が 4.19（標準偏差 0.98）で、授業態度が熱心な受講生が多いことがうかがえる。

一方、I-3「あなたはこの科目について、毎回どのくらい予習あるいは復習をしていますか。」については、平均値が 2.04（標準偏差 1.09）であり、これは、あまり予習・復習をしていないか、していても 1 時間程度のものが多いことを示している（選択肢は、5 が「4h 以上」、4 が「2h 以上」、3 が「1h 以上」、2 が「0.5h 以上」、1 が「0.5h 未満」）。

また、I-5「授業時間以外に先生へ質問に行くこと（オフィスアワー等）がありますか。」については、平均値が 1.91（標準偏差 1.44）であり、多くの者が質問に行っていないことがわかる。ただし、質問に行く者がまったくいないわけではないようである（標準偏差がそれをうかがわせる）。

I-4「この授業を受講した動機はなんですか。」（複数回答可）については、「講義要項を読んで興味を持ったから」（46.2%）を選んだものが最も多く、続いて、「単位が必要だから」（30.8%）、「この時間帯が空いていたから」（13.8%）、「教員にひかれて」（6.2%）、「単位取得が楽だから」（3.1%）の順になっている。この結果を、教職課程と比べてみると、教職課程では、「単位が必要だから」（68.2%）が群を抜いて多く、大きく差が開いて、「この時間帯が空いていたから」（16.2%）、「単位取得が楽だから」（8.3%）、「講義要項を読んで興味を持ったから」（6.7%）と続くが、これに対して、本講座では、「単位が必要だから」の選択率が比較的低く、「講義要項を読んで興味を持ったから」の選択率が高いことがわかる。

この結果から、本講座の受講生は、必ずしも履修の必要があって授業をとっているわけではないようすがうかがえる。そもそも本講座に関しては、現時点では、講座を修了しても、それがすなわち日本語教員の資格として公的に認められるわけではない*。また、副専攻になっているわけでもない。それがこの回答に現れているように思うが、見方によっては、それでも、一定の受講生が集まり、比較的熱心に授業に参加し、授業の満足度も高い

というのは、本講座の需要の高さを物語るものではないかと思う。

*2019年現在、日本語教師の国家資格はない。それに代わるものとして、法務省・入国管理局（現・出入国在留管理庁）により「日本語教育機関の告示基準」が策定されているが、本講座は、この「告示基準」、およびその「解釈方針」に規定する日本語教員の要件として適当と認められるものにはなっていない（単位数や教育内容が足りない）。なお、日本語教員の公的資格については、2019年6月に、国内における日本語教育の機会の拡充や日本語教育の水準の維持向上等をめざす「日本語教育の推進に関する法律」が公布・施行され、これを受けて、現在、日本語教員の資格制度（「公認日本語教師」）の創設が検討されている。

II 「授業の内容や進め方について」

IIの設問については、いずれも評価が高く、本講座の授業が高い評価を得ていることがうかがえる。

細かく見ると、II-2とII-4以外の設問では、平均値が4.0を超えている（II-2とII-4とでは、選択肢3が「ちょうど良い」となる）。II-1「授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。」は平均値4.55（標準偏差0.68）、II-3「講義要項に沿って授業が行われていますか。」は平均値4.47（標準偏差0.74）、II-5「話し方や声は聞き取りやすいですか。」は平均値4.62（標準偏差0.60）、II-6「教材等（教科書・配布資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ）は授業内容を理解するのに有効ですか。」は平均値4.64（標準偏差0.63）、II-7「教室内は学習にふさわしい雰囲気には保たれていますか。」は平均値4.64（標準偏差0.52）、II-8「この授業は、宿題・課題等が適切に出されていると思いますか。」は平均値4.43（標準偏差0.84）、II-9「内容はよく理解できましたか。」は平均値4.30（標準偏差0.77）、II-10「この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。」は平均値4.40（標準偏差0.64）となっている。

一方、II-2「授業の難易度はどうですか。」と、II-4「授業の進度はどうですか。」については、選択肢3が「ちょうど良い」であるが、II-2の平均値が3.17（標準偏差0.48）で、II-4の平均値が3.06（標準偏差0.38）であることに示されるように、「ちょうど良い」を選んだ者が多く、ほとんどの者が難易度・進度ともに「ちょうど良い」と思っているようすがうかがえる（選択肢は、II-2は、5が「難しすぎる」、4が「やや難しい」、2が「やややさしい」、1が「やさしすぎる」、II-4は、5が「速すぎる」、4が「やや速い」、2が「やや遅い」、1が「遅すぎる」）。

以上をまとめると、本講座は、受講動機として「講義要項を読んで興味を持ったから」を選んだ者が最も多いことに見られるように、履修の必要性が必ずしも高くないにもかかわらず、出席状況やノート・メモとりの状況に見られるように、授業において真面目な者が多く、また、授業に対する評価も高いといえる。これには、担当教員の授業に対する工夫や努力によることも大きいのではないかと考える。ただし、予習・復習時間の少なさや、授業時間外に教員に質問に行くことの少なさに見られるように、授業以外の時間における学習が足りない点が問題点として挙げられる。

本講座は、2020年度より、国際日本語学科が新設されるのに連動して、「日本語教員養成講座」として、法務省・文化庁の定める日本語教員の要件を満たす単位数・教育内容のものに生まれ変わる予定である。さらに、近い将来創設されることが検討されている「公認日本語教師」の資格取得に向けた講座として、いっそう内容の充実が求められる。そのためにも、このアンケート結果を踏まえ、さらに授業の改善を図っていく必要があるだろう。そのための課題としては、受講生が授業内容をきちんと理解し、ものの見方や考え方をさらに深められるように、教員が授業の内容や教え方などについてさらに工夫し改善するのはもちろんのこと、宿題や課題を充実させるなどして、受講生に予習・復習の習慣化を促し、教員への質問なども積極的に行うように働きかけを行っていくことなどが挙げられるだろう。こういったことが、さらなる授業改善につながると思う。

以 上

参考資料

「授業改善のための学生アンケート」実施要領

アンケート様式

2019年度「授業改善のための学生アンケート」実施要領

1. 目的

教員の授業の改善に役立てること、並びに本学の教育の質の向上を図ること。

2. 対象科目

担当科目のうち、主要担当科目または、履修登録者数の多い科目（原則として履修登録者20名以上のもの）の中から2科目程度を選択し実施する。講師（非常勤）の場合は、1科目以上とする。

専門教育及び教養教育等（教職・社教・日語を含む）の両分野の科目を担当している場合は、それぞれ1科目以上を実施する。

3. 実施期間：令和元年6月17日（月） ～ 7月12日（金）
（予備日：7月15日（月） ～ 7月19日（金））

4. 実施科目の届出

教員は、実施届出用紙に必要事項（実施科目、実施日等）を記入し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。

5. アンケート用紙

アンケート用紙は、「講義等科目用」、「スポーツ・トレーニング科目用」、「工学部実験・実習科目用」の3種類とする。（添付のアンケート様式参照）

6. 実施当日の手順

(1) アンケート用紙及び回収用封筒を学務課・教員控室等から受け取る。

(2) 授業時間の一部を利用し、アンケートを実施・回収する。

アンケートの回収は、受講生個人を特定できないようにするため、受講生の協力を得て行う。アンケートの実施・回収、枚数の確認・枚数記載、および封筒の厳封は受講生によって行う。

(3) 回収用封筒に必要事項（アンケート枚数等）を記入し、実施日中に学務課・八王子学務課へ提出する。原則として後日提出は受け付けない。

7. 科目別集計表の作成

- (1) 集計作業は、外部の業者に委託する。
- (2) 実施科目については、科目別集計表を作成する。
- (3) 科目別集計表は、担当教員に学生が記入したアンケート用紙（自由意見欄を含む）とともに送付する。

8. 実施結果のとりまとめ

- (1) 担当教員は、科目別集計表の「科目別集計結果に対する所見」欄を作成し、学務課、八王子学務課、学長事務室のいずれかに提出する。
- (2) FD委員会は、実施結果報告書 第Ⅰ部 全体集計、第Ⅱ部 科目別集計を作成する。
- (3) 各学部FD委員会は、実施結果を分析し、報告書にまとめるにあたって、学部、学科、コース、分野等別において授業改善のための意見交換を行い、「今後の課題」の中でいくつかの「具体的な次年度の授業改善取組方針及び実施計画」を掲げる。

実施結果報告書第Ⅰ部の記載項目は、「Ⅱ実施状況」、「Ⅲ全体集計」及び「Ⅳコース・分野・学科別集計」をもとに、各学部等の「Ⅴ評価及び課題」をA4サイズ7枚程度（11,000字程度）にまとめる。

9. 活用方法

- (1) 実施報告書を教員に配布し、教員は自己の授業の改善に役立てる。
- (2) 各学部自己点検・評価委員会（または「FD委員会」）においてアンケートの結果をもとに、組織的に授業改善の方策を検討する。
- (3) 学長は、アンケートの結果をもとに、必要な改善策を検討する。

以 上

令和元年度 「授業改善のための学生アンケート」 工学部・実験・実習科目用 (案)

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をよりよいものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答え下さい。

授業科目等	担当教員名
-------	-------

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学年	1年	2年	3年	4年	その他										
	○	○	○	○	○										
学科	経営	国語	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	電子	情工	デザイン	国際	その他	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-3	授業の進捗はどうか。 ⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	⑤	④	③	②	①
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	⑤ 90%以上	④ 80%以上	③ 60%以上	② 40%以上	① 40%未満	II-4	説明は分かりやすいですか。	⑤	④	③	②	①
I-2	あなたはこの授業のために事前準備を行っていますか。	⑤	④	③	②	①	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	⑤	④	③	②	①
I-3	あなたはこの授業のレポート作成にまじめに取り組んでいますか。	⑤	④	③	②	①	II-6	教材等(実験機材・教科書・配付資料・板書・OHP・パワーポイント・ビデオ・模型)は授業内容を理解するのに有効ですか。	⑤	④	③	②	①
I-4	あなたの受講態度(遅刻状況、授業への集中度、私語の有無などの総合評価)はどうか。 ⑤非常に良かった ④良かった ③普通 ②悪かった ①非常に悪かった	⑤	④	③	②	①	II-7	教材(実験機材・テキスト・配付資料・OHP・ビデオ・模型など)の使用は適切ですか。	⑤	④	③	②	①
							II-8	教室内は学習にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	⑤	④	③	②	①
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	⑤	④	③	②	①	II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	⑤	④	③	②	①
II-2	授業の難易度はどうか。 ⑤難しすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさすぎる	⑤	④	③	②	①	II-11	この授業を通じてものの見方や考え方が深まりましたか。	⑤	④	③	②	①
							III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	⑤	④	③	②	①

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境(教室の大きさ・エアコン・照明・防音・備品など)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

令和元年度 「授業改善のための学生アンケート」 スポーツ・トレーニング用 (案)

このアンケートは、あなたの授業担当教員が学生諸君と共に授業をよりよいものにする目的で実施するものです。建設的な気持ちで、以下の問いにお答え下さい。

授 業 科 目 等	担 当 教 員 名
--------------	--------------

整理番号	授業科目分類コード	教員コード	曜日	時限	期別

※アンケートの回答はすべて5段階で評価して○に黒色の鉛筆で丁寧にぬりつぶしてください。

学 年	1年	2年	3年	4年	その他										
	○	○	○	○	○										
学 科	経営	国語	会計	法政	経済	英米	中国	スペイン	機械	電子	情工	デザイン	国際	その他	
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【選択肢の凡例】 5:強くそう思う 4:そう思う 3:どちらとも言えない 2:そう思わない 1:全くそう思わない

I	受講する姿勢や動機について	5	4	3	2	1	II-5	話し方や声は聞き取りやすいですか。	5	4	3	2	1	
I-1	あなたはこの授業にどれくらい出席していますか。	90%以上	80%以上	60%以上	40%以上	40%未満	II-6	教員と学生との友好的なコミュニケーションがありますか。	5	4	3	2	1	
								II-7	教員は授業運営に必要なリーダーシップを発揮していますか。	5	4	3	2	1
								II-8	この授業は身体活動にふさわしい雰囲気には保たれていますか。	5	4	3	2	1
I-2	あなたは自分の健康と運動・栄養・休息に関心を持っていますか。	5	4	3	2	1	II-9	授業の内容はよく理解できましたか。	5	4	3	2	1	
I-3	あなたはこの授業でやる気を持って積極的に取り組んでいますか。							II-10	この授業のテーマに関する知識あるいは技術が身につきましたか。	5	4	3	2	1
								II-11	この授業は学生生活及び健康・体力維持に役立ちましたか。	5	4	3	2	1
I-4	この授業を受講した動機はなんですか。最大3つまで挙げてください。(ただし、この科目が必修科目である場合は、回答の必要はありません。) ⑤講義要項を読んで興味を持ったから ④教員にひかれて ③単位が必要だから ②単位取得が楽だから ①この時間帯が空いていたから	5	4	3	2	1								
II	授業の内容や進め方について	5	4	3	2	1	III	総合的に見て、この授業に満足していますか。	5	4	3	2	1	
II-1	授業の狙いや重要なポイントは明確に示されていますか。	5	4	3	2	1	IV	学部等設問項目	5	4	3	2	1	
II-2	授業の難易度はどうですか。⑤難しいすぎる ④やや難しい ③ちょうど良い ②やややさしい ①やさしすぎる							IV-1	履修したスポーツ種目の選択と内容はあなたの希望にそっていましたか。	5	4	3	2	1
								IV-2	受講した時間帯は適切でしたか。	5	4	3	2	1
II-3	授業の進捗はどうか。⑤速すぎる ④やや速い ③ちょうど良い ②やや遅い ①遅すぎる	5	4	3	2	1	IV-3	次年度以降、あなたの好きな「生涯スポーツ応用演習」(自由科目)を履修したいですか。	5	4	3	2	1	
II-4	説明は分かりやすいですか。	5	4	3	2	1								

自由意見欄 (自由意見欄が不足する場合は、裏面に記入してください)

○この授業で良かった点は、なんですか。

○この授業で改善してほしい点があれば書いてください。

○この教室の環境(アリーナ・グラウンド・トレーニングルーム・更衣室・シャワールームおよび用具<ボール・ラケット等>)について意見や要望があれば具体的に書いてください。

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

令和元年度
授業改善のための学生アンケート報告書
—全体集計—
第I部
令和2年3月発行

編集・発行 拓殖大学 FD委員会
〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-4
電話 03-3947-7299 (学務部 学長事務室)